



取扱説明書

Offirio
オフイリオ プロジェクター

EB-X14

EB-W12

EB-X12

EB-S12

マニュアル中の表示の意味

• 安全に関する表示

取扱説明書および製品には、製品を安全にお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、絵表示が使われています。

その表示と意味は次のとおりです。内容をよくご理解いただいた上で本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

• 一般情報に関する表示

注意	本機の故障や損傷の原因になるおそれがある内容を記載しています。
	関連する情報や知っておくと便利な情報を記載しています。
	関連事項や、より詳しい説明を記載しているページを示しています。
	マークの前のアンダーラインの引かれた用語は、用語解説で説明しています。「付録 用語解説」をご覧ください。  「用語解説」 p.107
【表記名】	リモコンまたは操作パネルのボタン名称を示しています。 例：【戻る】ボタン
[メニュー名]	環境設定メニューの項目を示しています。 例： [画質調整]から[明るさ]を選びます。 [画質調整] - [明るさ]

マニュアル中の表示の意味 2

はじめに

本機の特長 7

機種別機能一覧	7
かんたん、楽に設置・投写・片付け	8
USBケーブルを接続して投写（USBディスプレイ）	8
本体の動きを検知して自動的にゆがみを補正	8
スライド式ヨコ補正	8
投写のための便利な機能	8
ワイド（WXGA）スクリーンで投写情報量をアップ（EB-W12のみ）	8
リモコンの便利な機能	9
書画カメラで手持ちの資料を拡大投写	9
充実したセキュリティー機能	9

各部の名称と働き 10

前面/上面	10
背面	11
底面	12
操作パネル	13
リモコン	14
リモコンの電池交換	16
リモコンの操作可能範囲	16

準備

設置する 18

いろいろな設置方法	18
設置方法	19
スクリーンサイズと投写距離の目安	19

接続する 21

コンピューターの接続	21
映像機器の接続	22

USB機器の接続	24
----------	----

基本的な使い方

投写する 27

設置から投写までの流れ	27
入力信号を自動検出して切り替える（入力検出）	28
リモコンで目的の映像に切り替える	29
USBディスプレイで投写する	29
動作環境	29
初めて接続したとき	30
アンインストール	32

投写映像を調整する 33

台形ゆがみを補正する	33
自動で補正する	34
手動で補正する	34
映像のサイズを調整する	38
映像の高さを調整する	38
水平傾斜を調整する	39
ピントのズレを補正する	39
音量を調整する	39
映り具合を選ぶ（カラーモードの選択）	40
オートアイリス（自動絞り）を設定する	41
投写映像のアスペクト比を切り替える	41
切り替え方法	41
アスペクトモードを切り替える	42

便利な機能

投写機能 45

コンピューターを使わずに投写する（スライドショー）	45
スライドショーで投写できるファイルの仕様	45
スライドショーの利用例	45
スライドショーの操作方法	46
選択した画像を投写する	48

フォルダー内の画像ファイルを連続投写する（スライドショー）	49
画像ファイルの表示設定とスライドショーの動作設定	50
映像と音声を一時的に消す（A/Vミュート）	51
映像を停止させる（静止）	51
説明箇所を指し示す（ポインター）	52
映像を部分的に拡大する（Eズーム）	53
リモコンでマウスポインターを操作する（ワイヤレスマウス）	54
ユーザーロゴの登録	55
セキュリティ機能	57
利用者を管理する（パスワードプロテクト）	57
パスワードプロテクトの種類	57
パスワードプロテクトの設定方法	57
パスワードの認証	59
操作を制限する（操作ボタンロック）	60
盗難防止用ロック	61
ワイヤーロックの取り付け方	61
監視と制御	62
ESC/VP21 コマンド	62
始める前に	62
コマンドリスト	62
通信プロトコル	62
環境設定メニュー	
環境設定メニューの操作	64
機能一覧	65
環境設定メニュー一覧	65
画質調整メニュー	67
映像メニュー	68
設定メニュー	69
拡張設定メニュー	71
情報メニュー（表示のみ）	72
初期化メニュー	73

困ったときに

ヘルプの見方	75
故障かなと思ったら	76
インジケーターの見方	76
インジケーターを見てもわからないとき	79
映像に関するトラブル	80
映像が表示されない	80
動画が表示されない（動画の部分だけが黒くなる）	81
自動的に投写が消える	81
この信号は本プロジェクターでは受けられません。と表示される	81
映像信号が入力されていません。と表示される	81
ぼやける、ピントが合わない、ゆがむ	82
ノイズが入る、乱れる	83
映像が切れる（大きい）、小さい、アスペクトが合っていない	83
色合いが違う	84
暗い	85
投写開始時のトラブル	85
電源が入らない	85
その他のトラブル	86
音が出ない・小さすぎる	86
リモコンで操作できない	86
メッセージやメニューの言語を変更したい	87
スライドショーで画像ファイル名が正しく表示されない	87

メンテナンス

各部の掃除	89
本機の掃除	89
レンズの掃除	89
エアフィルターの掃除	89
消耗品の交換方法	90
ランプの交換	90
ランプの交換時期	90

ランプの交換方法	91
ランプ点灯時間の初期化	93
エアフィルターの交換	94
エアフィルターの交換時期	94
エアフィルターの交換方法	94

付録

オプション・消耗品一覧	97
オプション	97
消耗品	97
スクリーンサイズと投写距離	98
EB-W12の投写距離表	98
EB-X14/EB-X12の投写距離表	99
EB-S12の投写距離表	101
対応解像度一覧	102
対応解像度	102
コンピューター映像（アナログRGB）	102
コンポーネントビデオ	103
コンボジットビデオ	103
HDMI入力端子からの入力信号（EB-X14/EB-W12/EB-X12のみ）	103
仕様一覧	104
本機仕様	104
外形寸法図	106
用語解説	107
一般のご注意	109
表記について	109
商標について	110
索引	111



はじめに

ここでは、本機の特長と各部の名称について説明しています。

機種別機能一覧

お使いの機種により使用できる機能が異なります。機種ごとの対応機能は下図を参照してください。

機能	EB-X14	EB-W12	EB-X12	EB-S12
USBディスプレイ	✓	✓	✓	✓
HDMI接続	✓	✓	✓	-
自動タテ補正	✓	✓	✓	✓
スライド式ヨコ補正	✓	✓	✓	✓
Quick Corner	✓	✓	✓	✓
スライドショー	✓	✓	✓	✓

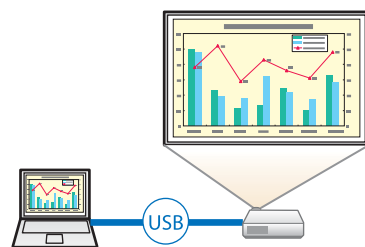
かんたん、楽に設置・投写・片付け

- コンセントの抜き差しで本機の電源をオン/オフ
- 大きなスクリーンにも短距離で投写可能
- レバー1つで簡単に高さを調整
- クールダウン不要ですばやく片付け

USBケーブルを接続して投写(USBディスプレイ)

コンピューターケーブルがなくても、USBケーブルを接続してコンピューターの画面を投写できます。

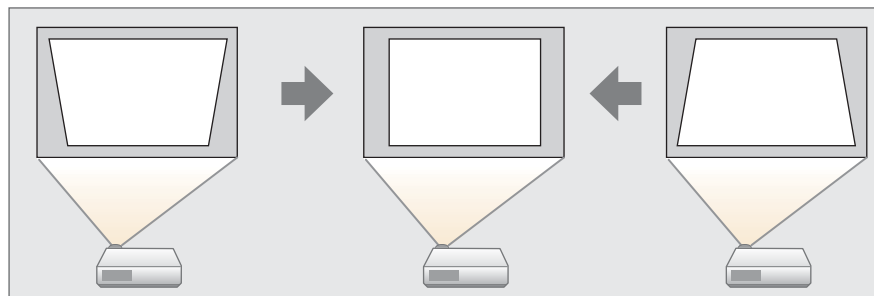
☛「USBディスプレイで投写する」 p.29



本体の動きを検知して自動的にゆがみを補正

プロジェクターを移動・設置したときに生じる投写映像のタテ方向の台形ゆがみを、自動的に補正して投写します。

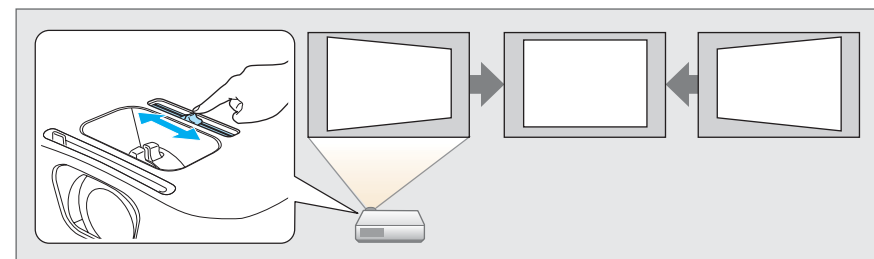
☛「自動で補正する」 p.34



スライド式ヨコ補正

投写映像のヨコ方向の台形ゆがみをすばやく補正できます。本機をスクリーンに対して平行に設置できないときに便利です。

☛「手で補正する」 p.34

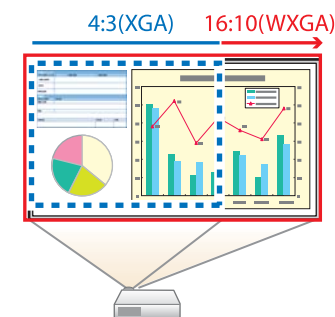


投写のための便利な機能

ワイド(WXGA)スクリーンで投写情報量をアップ(EB-W12のみ)

16:10のWXGAワイド液晶ディスプレイを搭載したコンピューター画像をそのままのアスペクトで投写できます。ホワイトボードなどの横長のスクリーンを有効に幅広く使えます。

☛「投写映像のアスペクト比を切り替える」 p.41



リモコンの便利な機能

投写映像の部分拡大など、リモコンを使って遠隔操作ができます。その他にも、プレゼンテーション中に便利なポインターや、コンピューター用のマウスとしてリモコンを利用できます。

☛ 「説明箇所を指し示す（ポインター）」 [p.52](#)

☛ 「映像を部分的に拡大する（Eズーム）」 [p.53](#)

☛ 「リモコンでマウスポインターを操作する（ワイヤレスマウス）」 [p.54](#)

書画カメラで手持ちの資料を拡大投写

オプションの書画カメラを使うと、紙資料や立体物も投写できます。オートフォーカスでピント合わせが不要です。また、デジタルズームで拡大投写ができます。

☛ 「オプション」 [p.97](#)

充実したセキュリティー機能

• 利用者を制限・管理するパスワードプロテクト

パスワードを設定して、本機を使用する人を制限・管理することができます。

☛ 「利用者を管理する（パスワードプロテクト）」 [p.57](#)

• 操作パネルのボタン操作を制限する操作ボタンロック

イベントや学校などで使用する際に本機の設定を無断で変更されたり、いたずらされるのを防止できます。

☛ 「操作を制限する（操作ボタンロック）」 [p.60](#)

• 多様な盗難防止の機構を装備

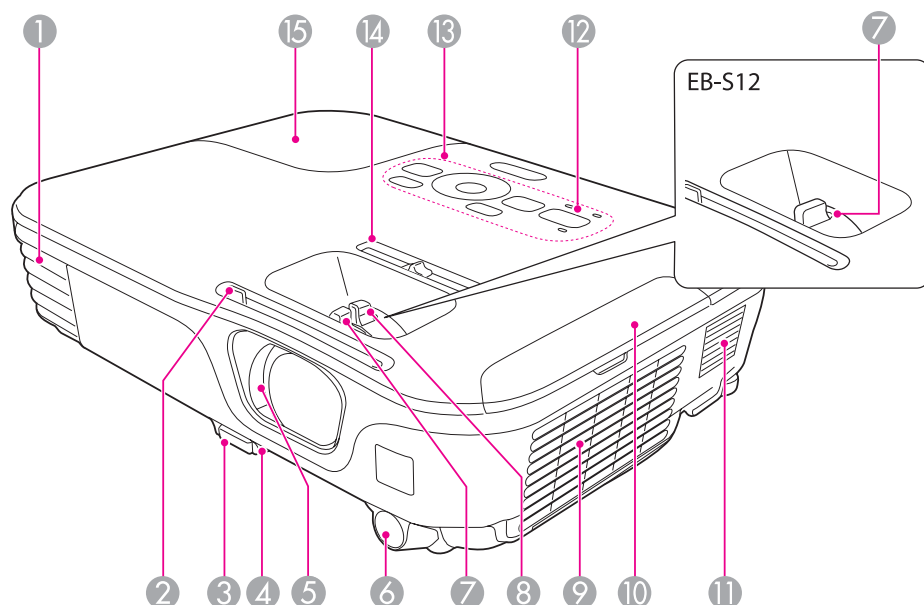
本機には機器そのものを持ち出されないように、次の機構が備わっています。

- セキュリティースロット
- セキュリティーケーブル取付け部

☛ 「盗難防止用ロック」 [p.61](#)

本書では断りがない限りEB-W12のイラストを用いて説明しています。

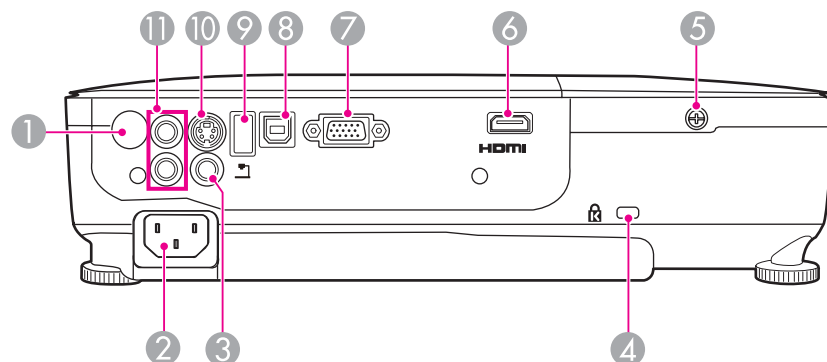
前面/上面



名称	働き
① 排気口	本機内部を冷却した空気の吐き出し口です。 ⚠ 注意 投写中は手や顔を排気口に近づけたり、変形など、熱による悪影響を受けるものを排気口の近くに置かないでください。
② スライド式レンズカバー操作部	ツマミをスライドさせてレンズカバーの開閉をします。

名称	働き
③ フットレバー	フットレバーを押して、フロントフットを伸縮させます。 ☛「映像の高さを調整する」 p.38
④ フロントフット	机上設置時に、フットを伸ばして映像の高さを調整します。 ☛「映像の高さを調整する」 p.38
⑤ スライド式レンズカバー	本機を使用しないときに閉じて、投写レンズを保護します。投写中に閉めると映像と音声を消すことができます。 ☛「映像と音声を一時的に消す（A/Vミュート）」 p.51
⑥ リモコン受光部	リモコン信号を受信します。
⑦ フォーカスリング	映像のピントを合わせます。 ☛「ピントのズレを補正する」 p.39
⑧ ズームリング (EB-X14/EB-W12/EB-X12のみ)	映像のサイズを調整します。 ☛「映像のサイズを調整する」 p.38
⑨ 吸気口 (エアフィルター)	本機内部を冷却するための空気を取り込みます。 ☛「エアフィルターの掃除」 p.89
⑩ エアフィルターカバー	エアフィルターカバーの開閉時に操作します。 ☛「エアフィルターの交換」 p.94
⑪ スピーカー	音声を出力します。
⑫ インジケーター	本機の状態を確認します。 ☛「インジケーターの見方」 p.76
⑬ 操作パネル	本機の操作をします。 ☛「底面」 p.12
⑭ ヨコ補正スライダー	投写映像のヨコ方向の台形ゆがみを補正します。 ☛「手動で補正する」 p.34
⑮ ランプカバー	ランプ交換時に、このカバーを開けて中のランプを交換します。 ☛「ランプの交換」 p.90

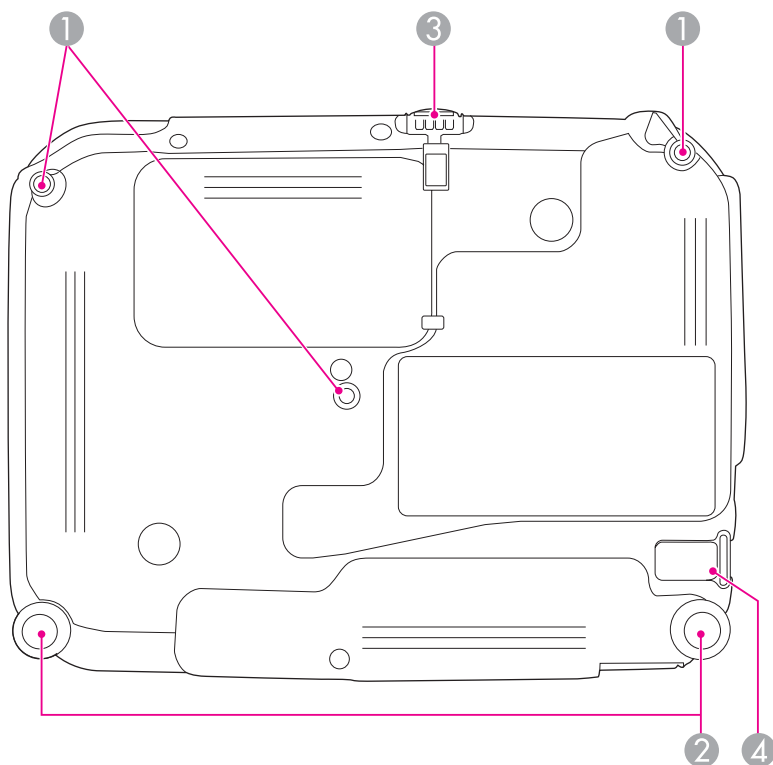
背面



名称	働き
① リモコン受光部	リモコン信号を受信します。
② 電源端子	電源ケーブルを接続します。 ☛「設置から投写までの流れ」 p.27
③ ビデオ入力端子	ビデオ機器のコンポジットビデオ信号を入力します。
④ セキュリティースロット	Kensington社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応したセキュリティースロットです。 ☛「盗難防止用ロック」 p.61
⑤ ランプカバー固定ネジ	ランプカバーを固定するネジです。
⑥ HDMI 入力 端子 (EB-X14/EB-W12/EB-X12のみ)	HDMIに対応したビデオ機器やコンピューターの信号を入力します。本機はHDCP▶▶に対応しています。 ☛「接続する」 p.21
⑦ コンピューター入力端子	コンピューター映像信号やビデオ機器のコンポーネントビデオ信号を入力します。

名称	働き
⑧ USB(TypeB)端子	- USBケーブルでコンピューターと接続して、コンピューターの映像を投写します。 ☛「USBディスプレイで投写する」p.29 - ワイヤレスマウス機能を使うときに、USBケーブルでコンピューターと接続します。 ☛「リモコンでマウスポインターを操作する（ワイヤレスマウス）」p.54
⑨ USB(TypeA)端子	- USBメモリーやデジタルカメラを接続し、画像ファイルをスライドショーで投写します。 ☛「コンピューターを使わずに投写する（スライドショー）」p.45 - オプションの書画カメラを接続します。
⑩ S-ビデオ入力端子	ビデオ機器のS-ビデオ信号を入力します。
⑪ 音声入力端子	コンピューター入力端子、S-ビデオ入力端子、ビデオ入力端子に接続した機器の音声を入力します。

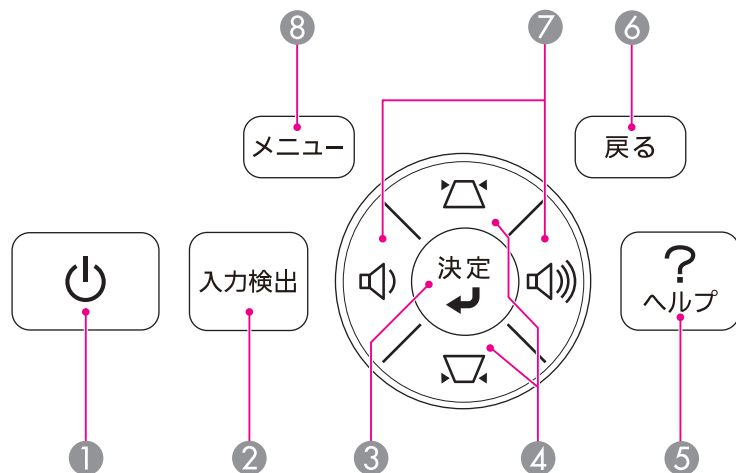
底面



名称	働き
① 天吊り固定部(3箇所)	天井から吊り下げて使うときに、オプションの天吊り金具を取り付けます。 ☛「設置する」 p.18 ☛「オプション」 p.97
② リアフット	机上設置時に、フットを伸縮させて水平方向の傾きを調整します。 ☛「水平傾斜を調整する」 p.39

名称	働き
③ フロントフット	机上設置時に、フットを伸ばして映像の高さを調整します。 ☛「映像の高さを調整する」 p.38
④ セキュリティーケーブル取付け部	市販の盗難防止用ワイヤーロックをこの部分に通して施錠します。 ☛「ワイヤーロックの取り付け方」 p.61

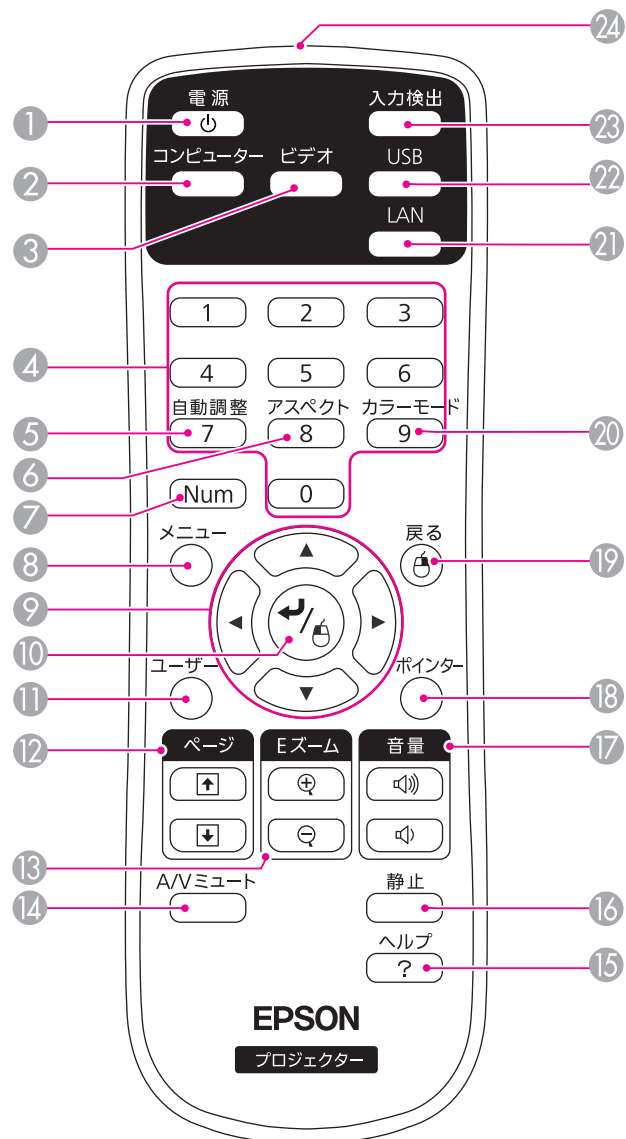
操作パネル



名称	働き
① 【  】ボタン	電源をオン/オフします。 ☛「設置から投写までの流れ」 p.27
② 【入力検出】ボタン	映像信号が入力されている入力端子からの映像に切り替えます。 ☛「入力信号を自動検出して切り替える（入力検出）」 p.28
③ 【決定】ボタン 【  】	- 環境設定メニューやヘルプを表示中に押すと、項目を決定したり、1つ下の階層に進みます。 - コンピューター入力端子から入力しているアナログRGB信号を投写中に押すと、トラッキング・同期・表示位置を最適な状態に自動調整します。
④ 【  】【  】ボタン	- 台形補正画面を表示して、タテヨコ方向の台形補正をします。 ☛「手動で補正する」p.34 - 環境設定メニューやヘルプを表示中に押すと、メニュー項目や設定値を選択します。 ☛「環境設定メニューの操作」p.64 ☛「ヘルプの見方」p.75

名称	働き
⑤ 【ヘルプ】ボタン	トラブルの対処方法を示すヘルプを表示/終了します。 ☛「ヘルプの見方」p.75
⑥ 【戻る】ボタン	- 実行中の機能を終了します。 - 環境設定メニュー表示中に押すと、1つ上の階層に戻ります。 ☛「環境設定メニューの操作」p.64
⑦ 【  】【  】ボタン または【ワイド】【テレ】ボタン	- EB-X14/EB-W12/EB-X12の場合 【】音量を下げます。 【】音量を上げます。 ☛「音量を調整する」p.39 - EB-S12の場合 【ワイド】：投写映像のサイズが大きくなります。 【テレ】：投写映像のサイズが小さくなります。 ☛「映像のサイズを調整する」p.38 - 台形補正画面の表示中は、ヨコ方向の台形補正をします。 ☛「タテヨコ補正」p.35 - 環境設定メニューやヘルプを表示中に押すと、メニュー項目や設定値を選択します。 ☛「環境設定メニューの操作」p.64 ☛「ヘルプの見方」p.75
⑧ 【メニュー】ボタン	環境設定メニューを表示/終了します。 ☛「環境設定メニューの操作」p.64

リモコン



名称	働き
① 【 電源 】ボタン	本機の電源をオン/オフします。 ☛「設置から投写までの流れ」 p.27
② 【 コンピューター 】ボタン	コンピューター入力端子からの映像に切り替えます。
③ 【 ビデオ 】ボタン	- EB-X14/EB-W12/EB-X12の場合 押すたびに、S-ビデオ入力端子、ビデオ入力端子、HDMI入力端子からの映像に切り替えます。 - EB-S12の場合 押すたびに、S-ビデオ入力端子、ビデオ入力端子からの映像に切り替えます。
④ テンキーボタン	パスワードを入力します。 ☛「パスワードプロテクトの設定方法」 p.57
⑤ 【 自動調整 】ボタン	コンピューター入力端子から入力しているアナログRGB信号を投写中に押すと、トラッキング・同期・表示位置を最適な状態に自動調整します。
⑥ 【 アスペクト 】ボタン	押すたびに、アスペクトモードが切り替わります。 ☛「投写映像のアスペクト比を切り替える」 p.41
⑦ 【 Num 】ボタン	パスワードや数字を入力するときに、このボタンを押しながらテンキーボタンを押します。 ☛「パスワードプロテクトの設定方法」 p.57
⑧ 【 メニュー 】ボタン	環境設定メニューを表示/終了します。 ☛「環境設定メニューの操作」 p.64
⑨ 【 環境設定メニュー 】ボタン	- 環境設定メニューやヘルプを表示中に押すと、メニュー項目や設定値の選択を行います。 ☛「環境設定メニューの操作」p.64 - スライドショーで投写しているときは、画像ファイルの送り/戻し、回転などをします。 ☛「スライドショーの操作方法」p.46 - ワイヤレスマウス機能時は、ボタンを押すと、押した方向にマウスポインターが移動します。 ☛「リモコンでマウスポインターを操作する（ワイヤレスマウス）」p.54

名称	働き
⑩ 【↶】ボタン	- 環境設定メニューやヘルプを表示中に押すと、項目を決定したり、1つ下の階層に進みます。 ☛「環境設定メニューの操作」 p.64 - ワイヤレスマウス機能時は、マウスの左ボタンとして機能します。 ☛「リモコンでマウスポインターを操作する（ワイヤレスマウス）」 p.54
⑪ 【ユーザー】ボタン	環境設定メニューの項目のうちよく使われる5項目から任意に項目を選択して、このボタンに割り当てることができます。ボタンを押すと割り当てたメニュー項目の選択/調整画面が直接表示されるのでワンタッチで設定/調整の変更が行えます。 ☛「設定メニュー」 p.69 初期設定では[明るさ切替]が割り当てられています。
⑫ 【ページ】ボタン 【⏮】【⏭】	以下のときに、PowerPointファイルなどのページを送り/戻しします。 - ワイヤレスマウス機能時 ☛「リモコンでマウスポインターを操作する（ワイヤレスマウス）」 p.54 - USBディスプレイ時 ☛「USBディスプレイで投写する」 p.29 スライドショーで投写しているときは、画像ファイルを送り/戻しします。
⑬ 【Eズーム】ボタン 【⏏】【⏏】	投写サイズを変えずに映像を拡大/縮小します。 ☛「映像を部分的に拡大する（Eズーム）」 p.53
⑭ 【A/Vミュート】ボタン	- 映像と音声を一時的に遮断/解除します。 ☛「映像と音声を一時的に消す（A/Vミュート）」 p.51 - 約5秒間押し続けると、設置モードを次のように切り替えることができます。 [フロント] ↔ [フロント・天吊り] [リア] ↔ [リア・天吊り]

名称	働き
⑮ 【ヘルプ】ボタン	トラブルの対処方法を示すヘルプを表示/終了します。 ☛「ヘルプの見方」 p.75
⑯ 【静止】ボタン	映像を一時停止/解除します。 ☛「映像を停止させる（静止）」 p.51
⑰ 【音量】ボタン 【🔊】【🔊】	【🔊】音量を下げます。 【🔊】音量を上げます。 ☛「音量を調整する」 p.39
⑱ 【ポインター】ボタン	投写中の映像にポインターが表示されます。 ☛「説明箇所を指し示す（ポインター）」 p.52
⑲ 【戻る】ボタン	- 実行中の機能を終了します。 - 環境設定メニューを表示中に押すと、1つ上の階層に戻ります。 ☛「環境設定メニューの操作」 p.64 - ワイヤレスマウス機能時は、マウスの右ボタンとして機能します。 ☛「リモコンでマウスポインターを操作する（ワイヤレスマウス）」 p.54
⑳ 【カラーモード】ボタン	押すたびにカラーモードが切り替わります。 ☛「映り具合を選ぶ（カラーモードの選択）」 p.40
㉑ 【LAN】ボタン	本機では使用しません。
㉒ 【USB】ボタン	押すたびに、以下の映像に切り替えます。 - USBディスプレイ - USB(TypeA)端子に接続した機器からの映像
㉓ 【入力検出】ボタン	映像信号が入力されている入力端子からの映像に切り替えます。 ☛「入力信号を自動検出して切り替える（入力検出）」 p.28
㉔ リモコン発光部	リモコン信号を出力します。

リモコンの電池交換

使い続けているうちに、リモコンの反応が遅くなったり、操作できなくなったときは電池の寿命が考えられます。新しい電池と交換してください。交換用の電池は単3形マンガンあるいはアルカリ乾電池2本を用意してください。単3形マンガンあるいはアルカリ乾電池以外の電池は使用しないでください。

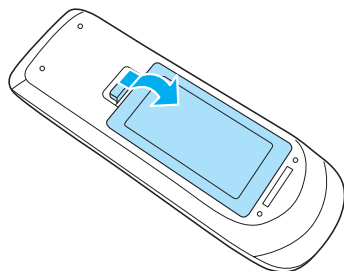
注意

電池を取り扱う前に、以下のマニュアルを必ずお読みください。

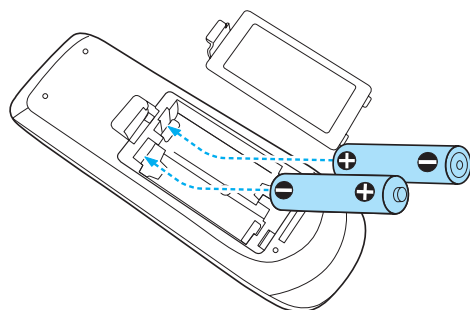
☞ [「安全にお使いいただくために」](#)

1 電池カバーを外します。

電池カバーのツメを押さえながら、上へ持ち上げます。



2 新しい電池と交換します。

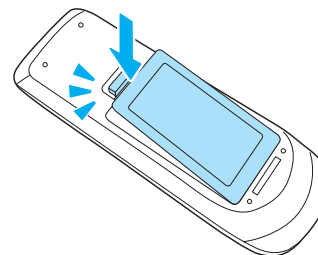


⚠ 注意

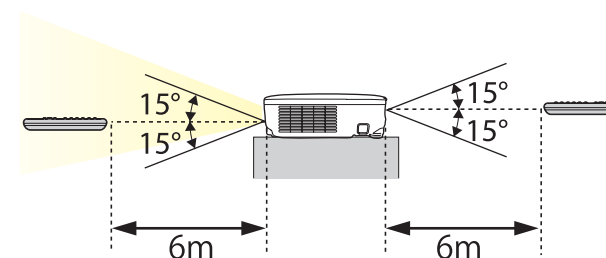
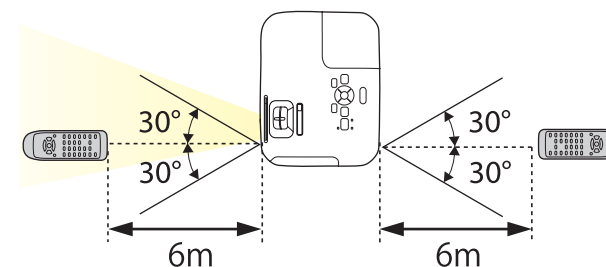
電池ホルダー内の表示を確認し、(+)(-)を正しく入れてください。

3 電池カバーを取り付けます。

カチッと音がするまでカバーを押し込みます。



リモコンの操作可能範囲





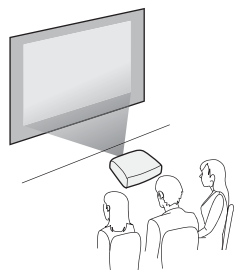
準備

ここでは、本機の設置方法と投写機器の接続方法について説明します。

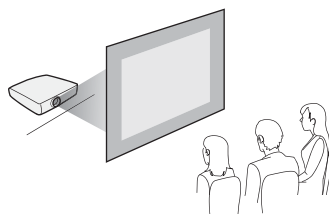
いろいろな設置方法

本機の投写方法は、次の4種類があります。設置場所の条件に合わせて設置してください。

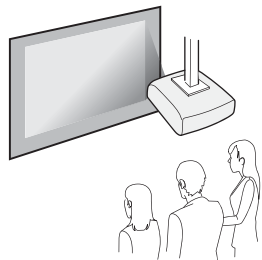
- 正面から投写する(フロント投写)



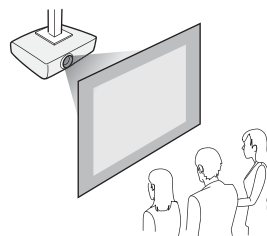
- リアスクリーンへ裏側から投写する(リア投写)



- 天吊りして正面から投写する(フロント・天吊り投写)



- 天吊りしてリアスクリーンへ裏側から投写する(リア・天吊り投写)



⚠ 警告

- 天井への取り付け(天吊り設置)工事は、特別な技術が必要となります。正しく工事が行われないと、落下によりけがや事故の原因となります。
- プロジェクターの天吊り固定部に、ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などが付着するとケースが割れ、プロジェクターが落下し事故やけがの原因となります。
天吊り設置や天吊り金具の調整に際しては、ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などを使用しないでください。

注意

- 本機を縦置き状態にして投写しないでください。故障の原因となります。
- 本機の吸気口・排気口をふさがないでください。吸気口・排気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

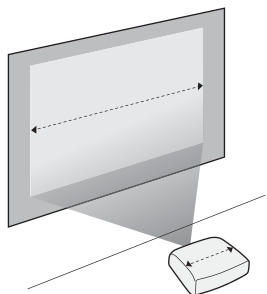


- 天吊りするには、オプションの天吊り金具が必要です。
☛ 「オプション」 [p.97](#)
- 設置モードの初期設定は[フロント]です。[フロント]から[リア]に切り替えるには、環境設定メニューで設定します。
☛ [拡張設定]-[設置モード] [p.71](#)
- リモコンの【A/Vミュート】ボタンを約5秒間押し続けると、設置モードを次のように切り替えることができます。
[フロント] ↔ [フロント・天吊り]
[リア] ↔ [リア・天吊り]

設置方法

プロジェクターは以下のように設置してください。

- スクリーンに対して平行にします。
スクリーンに対して斜めに設置すると、投写映像が台形にゆがみます。
- 水平に置きます。
傾けて設置すると、投写映像も傾きます。



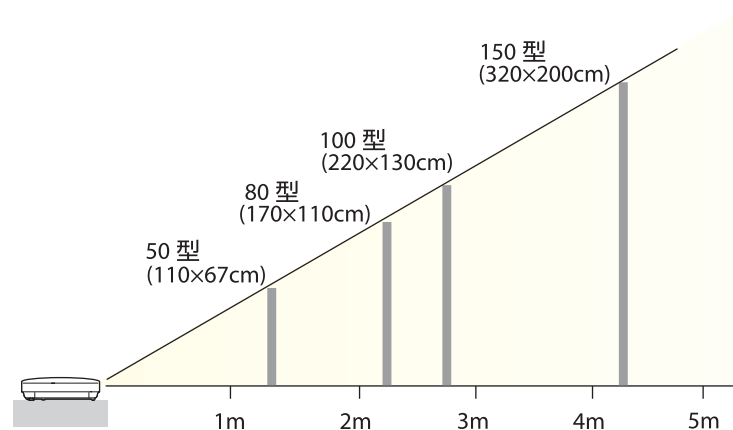
- 本機を平行に設置できないときは、以下を参照してください。
☛ 「台形ゆがみを補正する」 [p.33](#)
- 本機を水平に設置できないときは、以下を参照してください。
☛ 「水平傾斜を調整する」 [p.39](#)
☛ 「台形ゆがみを補正する」 [p.33](#)



台形ゆがみを補正すると、投写映像のサイズが小さくなります。

16 : 10スクリーンサイズ

EB-W12の場合



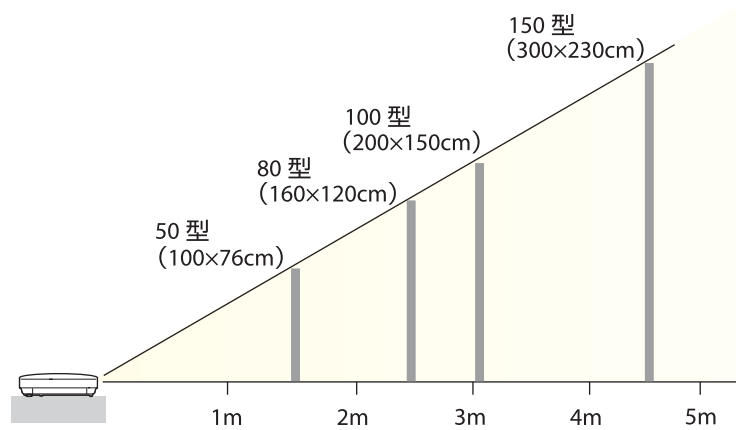
スクリーンサイズと投写距離の目安

本機からスクリーンまでの距離により投写サイズが決まります。下図を参照して、適切なサイズで投写できる位置に本機を設置してください。下図は、ズームを最大にしたときの最短投写距離の目安です。投写距離の詳細は以下を参照してください。

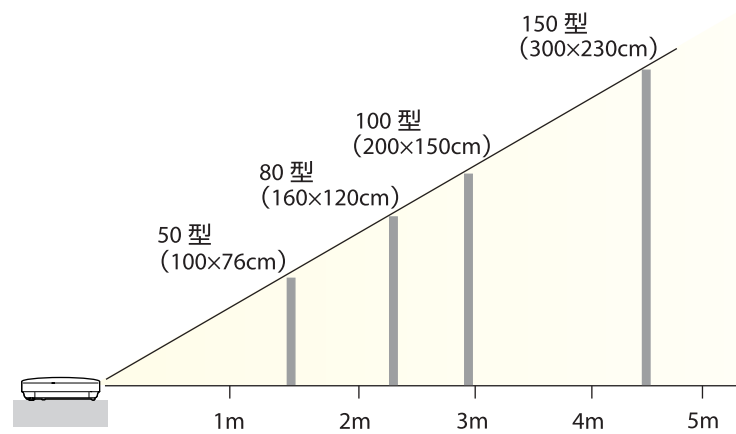
- ☛ 「スクリーンサイズと投写距離」 [p.98](#)

4：3スクリーンサイズ

EB-X14/EB-X12の場合



EB-S12の場合



イラストはEB-X14/EB-W12/EB-X12のものです。

接続する機器により、端子名称、位置や向きが異なります。

コンピューターの接続

コンピューターの映像を投写するには、以下の方法で接続します。

① 同梱のコンピューターケーブルを使用するとき

コンピューターのディスプレイ出力端子と本機のコンピューター入力端子を接続します。

音声を本機のスピーカーから出力するには、市販のオーディオケーブルで、コンピューターの音声出力端子と本機の音声入力端子を接続します。

② 同梱のUSBケーブルを使用するとき

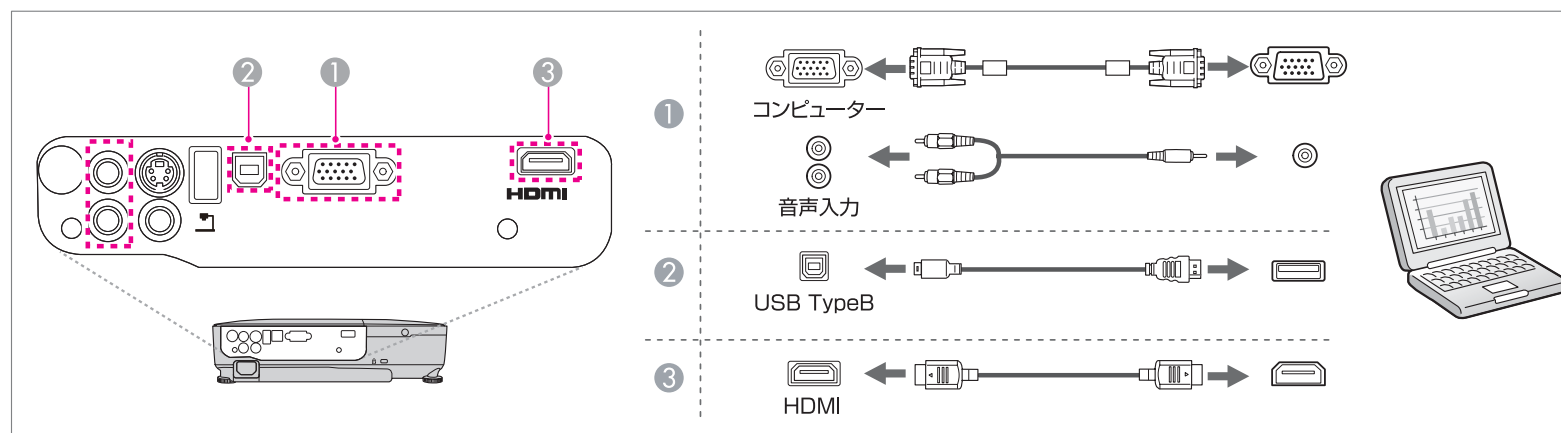
コンピューターのUSB端子と本機のUSB(TypeB)端子を接続します。

映像の投写と同時に、コンピューターの音声も転送できます。

③ 市販のHDMIケーブルを使用するとき(EB-X14/EB-W12/EB-X12のみ)

コンピューターのHDMI端子と本機のHDMI入力端子を接続します。

映像の投写と同時に、コンピューターの音声も転送できます。



本機は、USBケーブルでコンピューターと接続してコンピューターの映像を投写できます。この機能をUSBディスプレイと呼びます。

☛ 「USBディスプレイで投写する」 [p.29](#)

映像機器の接続

DVDプレーヤーやVHSビデオなどの映像を投写するには、以下の方法で接続します。

① 市販のビデオケーブルまたはS-ビデオケーブルを使用するとき

映像機器のビデオ出力端子と本機のビデオ入力端子を接続します。

または、映像機器のS-ビデオ出力端子と本機のS-ビデオ入力端子を接続します。

音声を本機のスピーカーから出力するには、市販のオーディオケーブルで、映像機器の音声出力端子と本機の音声入力端子を接続します。

② オプションのコンポーネントビデオケーブルを使用するとき

☛「オプション」[p.97](#)

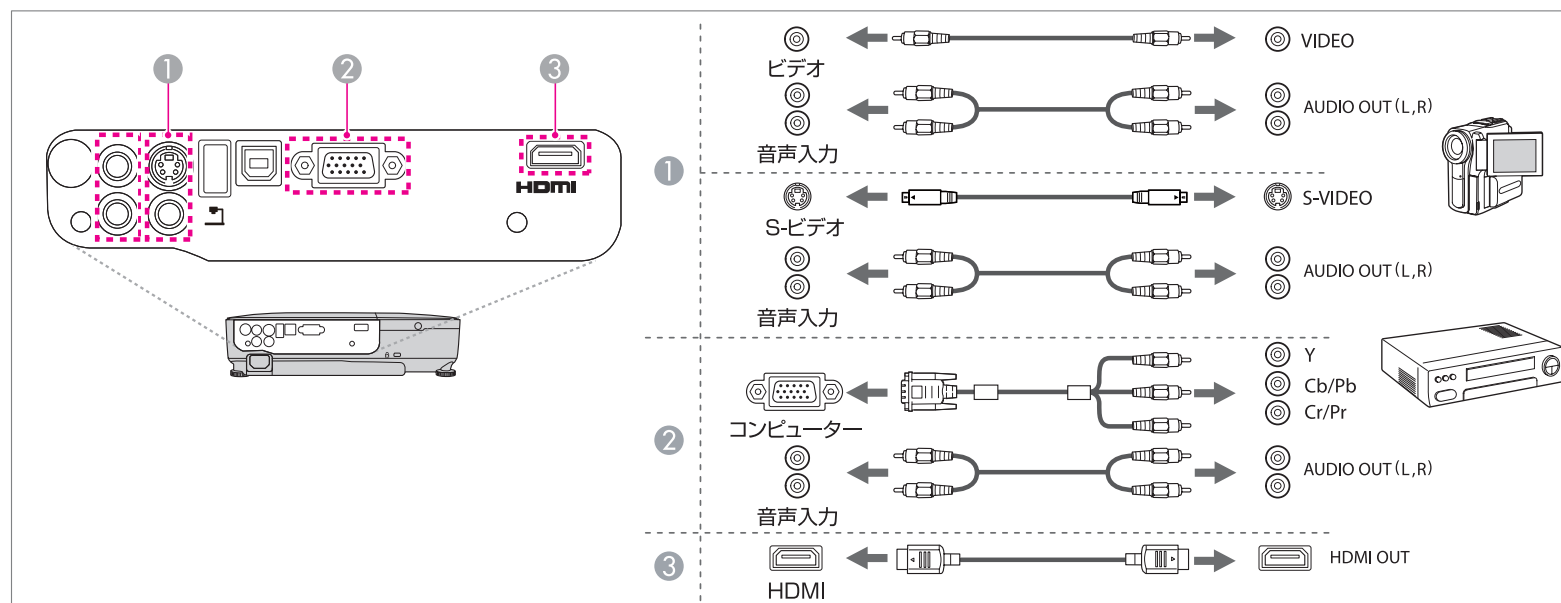
映像機器のコンポーネント出力端子と本機のコンピューター入力端子を接続します。

音声を本機のスピーカーから出力するには、市販のオーディオケーブルで、映像機器の音声出力端子と本機の音声入力端子を接続します。

③ 市販のHDMIケーブルを使用するとき(EB-X14/EB-W12/EB-X12のみ)

映像機器のHDMI端子と本機のHDMI入力端子を接続します。

映像の投写と同時に、映像機器の音声も転送できます。



注意

- 接続機器の電源が入った状態で接続すると、故障の原因となります。
- プラグの向きや形状が異なった状態で無理に押し込まないでください。機器の破損や故障の原因になります。

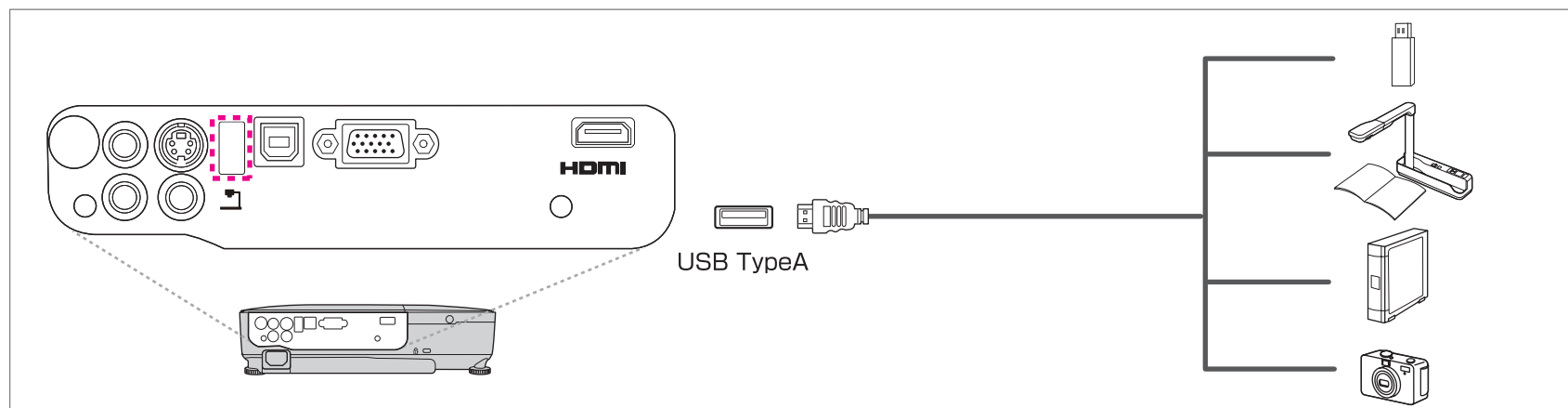


- 接続する機器が特有の端子形状をしているときは、その機器に同梱またはオプションのケーブルで接続してください。
- 市販の2RCA(L・R)/ステレオミニピンオーディオケーブルを使うときは、「抵抗なし」と表記されているものをお使いください。

USB機器の接続

USBメモリー、オプションの書画カメラ、USB対応のハードディスクやデジタルカメラなど、USB機器を接続できます。

USB機器に同梱のUSBケーブルで、USB機器と本機のUSB(TypeA)端子を接続します。



USB機器を接続したときは、USBメモリーやデジタルカメラ内の画像ファイルをスライドショーで再生します。

☛ 「スライドショーの利用例」 [p.45](#)

他の入力端子からの映像を投写中に書画カメラを接続したときは、リモコンの【USB】ボタンを押すか、操作パネルの【入力検出】ボタンを押して、投写映像を書画カメラの画像に切り替えます。

☛ 「入力信号を自動検出して切り替える（入力検出）」 [p.28](#)

注意

- USBハブを使用すると、正しく動作しません。デジタルカメラやUSB機器を直接本機に接続してください。
- USB対応のハードディスクを接続して使用する際は、必ずハードディスクに付属のACアダプターを接続してください。
- デジタルカメラやハードディスクの接続には、各機器に同梱のUSBケーブルをお使いください。
- USBケーブルの長さは、3m以下のものをお使いください。ケーブル長が3mを超えると、スライドショーが正しく動作しないことがあります。

USB機器の取り外し方

投写終了後は、本機からUSB機器を取り外します。デジタルカメラやハードディスクなどは、各機器の電源をオフにしてから取り外してください。

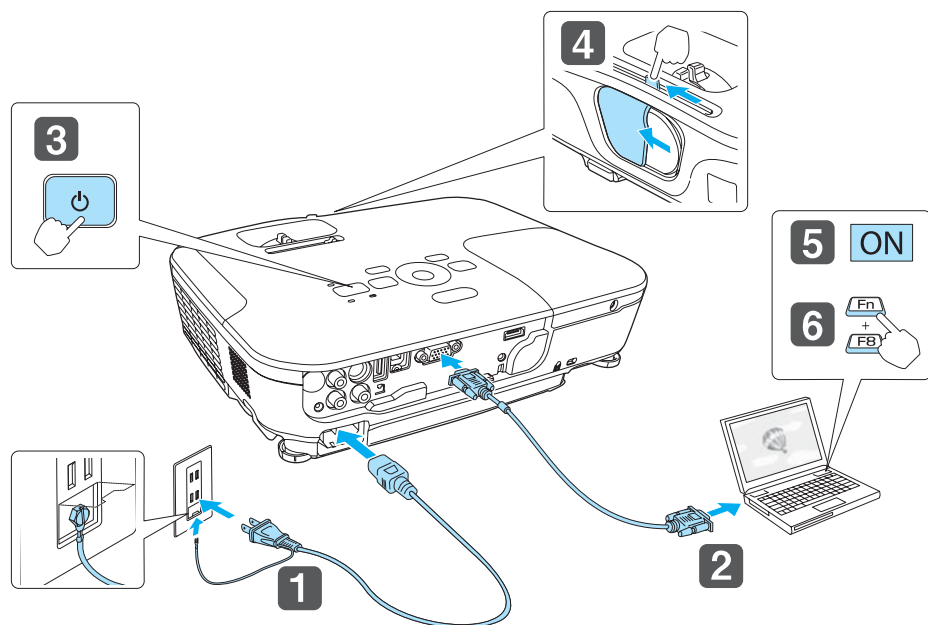


基本的な使い方

ここでは、映像の投写方法と映像補正方法について説明しています。

設置から投写までの流れ

コンピューターをコンピューターケーブルで接続して、映像を投写する手順を説明します。



1 本機とコンセントを電源ケーブルで接続します。

警告

必ず接地接続を行ってください。

接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

2 本機とコンピューターをコンピューターケーブルで接続します。

3 本機の電源を入れます。

4 レンズカバーを開けます。

5 コンピューターの電源を入れます。

6 コンピューターの画面出力先を切り替えます。
ノート型コンピューターを使用するときは、コンピューター側の画面出力切り替えが必要です。

Fnキー（ファンクションキー）を押したまま△/□キーを押します。



使用するコンピューターにより、切り替え方法が異なります。コンピューターの取扱説明書を参照してください。

映像が投写されないときは、以下の方法で投写する映像を切り替えます。

- 操作パネルまたはリモコンの【入力検出】ボタンを押します。
☛ 「入力信号を自動検出して切り替える（入力検出）」 [p.28](#)
- リモコンから目的の入力端子のボタンを押します。
☛ 「リモコンで目的の映像に切り替える」 [p.29](#)



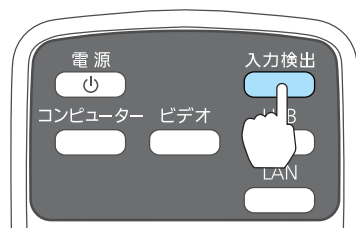
映像が正常に投写されたら、必要に応じて投写映像を補正してください。

- ☛ 「台形ゆがみを補正する」 [p.33](#)
- ☛ 「ピントのズレを補正する」 [p.39](#)

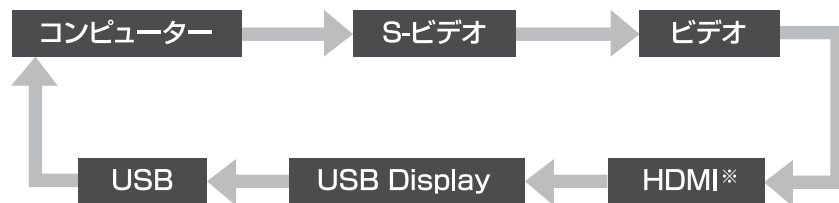
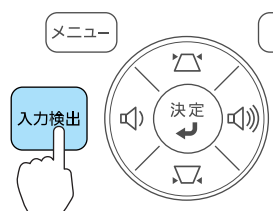
入力信号を自動検出して切り替える(入力検出)

【入力検出】ボタンを押して、映像信号が入力されている入力端子の映像を投写します。

リモコンの場合



操作パネルの場合



※(EB-X14/EB-W12/EB-X12のみ)

複数の機器を接続しているときは、目的の映像が投写されるまで【入力検出】ボタンを繰り返し押します。

ビデオ機器を接続しているときは、再生状態にしてから操作を開始してください。



映像信号がなにも入力されていないときは、以下の画面が表示されます。

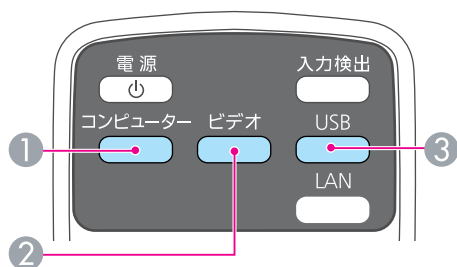
例：EB-X14/EB-W12/EB-X12



リモコンで目的の映像に切り替える

以下のリモコンのボタンを押すと、目的の映像に直接切り替えることができます。

リモコン



- ① コンピューター入力端子からの映像に切り替えます。
- ② 押すたびに、以下の入力端子からの映像に切り替えます。
 - S-ビデオ入力端子
 - ビデオ入力端子
 - HDMI入力端子 (EB-X14/EB-W12/EB-X12のみ)
- ③ 押すたびに、以下の映像に切り替えます。
 - USBディスプレイ
 - USB(TypeA)端子に接続した機器からの映像

USBディスプレイで投写する

本機は、USBケーブルでコンピューターと接続してコンピューターの映像を投写できます。

映像の投写と同時に、コンピューターの音声も転送できます。

USBディスプレイを実行するには、環境設定メニューの[USB Type B]を[USB Display]に設定します。

☞ [拡張設定] - [USB Type B] [p.71](#)

動作環境

Windowsの場合

OS	Windows 2000※1	
	Windows XP※2	Professional 32ビット Home Edition 32ビット Tablet PC Edition 32ビット
	Windows Vista	Ultimate 32ビット Enterprise 32ビット Business 32ビット Home Premium 32ビット Home Basic 32ビット
	Windows 7	Ultimate 32/64ビット Enterprise 32/64ビット Professional 32/64ビット Home Premium 32/64ビット Home Basic 32ビット Starter 32ビット
CPU	Mobile Pentium III 1.2GHz以上 推奨：Pentium M 1.6GHz以上	

メモリー容量	256MB以上 推奨：512MB以上
ハードディスク 空き容量	20MB以上
ディスプレイ	640x480 以上、1600x1200 以下の解像度 16ビットカラー以上の表示色

※1 Service Pack 4のみ

※2 Service Pack 1を除く

Mac OSの場合

OS	Mac OS X 10.5.x Mac OS X 10.6.x
CPU	Power PC G4 1GHz以上 推奨：Core Duo 1.83GHz以上
メモリー容量	512MB以上
ハードディスク 空き容量	20MB以上
ディスプレイ	640x480以上、1600x1200以下の解像度 16ビットカラー以上の表示色

初めて接続したとき

初めて接続したときは、ドライバーのインストールが必要です。インストールはWindowsとMac OSで手順が異なります。



- 次回接続時はドライバーのインストールは不要です。
- 他の入力端子からの映像を投写しているときは、入力ソースをUSB Displayに切り替えます。
- USBハブを使用すると、正しく動作しません。直接本機に接続してください。

Windowsの場合

- 1** USBケーブルで、コンピューターのUSB端子と本機のUSB(TypeB)端子を接続します。



Windows 2000またはWindows XPの場合、再起動の確認メッセージが表示されることがあります。[いいえ]を選択します。

Windows 2000の場合

[コンピュータ] - [EPSON PJ_UD] - [EMP_UDSE.EXE]の順にダブルクリックします。

Windows XPの場合

自動的にドライバーのインストールが開始します。

Windows Vista/Windows 7の場合

ダイアログが表示されたら、[EMP_UDSE.exeの実行]をクリックします。

- 2** 使用許諾画面が表示されたら、[同意する]を選択します。

3 コンピューターの映像が投写されます。

コンピューターの映像が投写されるまでに、しばらく時間がかかることがあります。コンピューターの映像が投写されるまではUSBケーブルを抜いたり、本機の電源を切ったりせずにそのままの状態でお待ちください。

4 終了するときはUSBケーブルを取り外します。

USBケーブルを取り外すときは、[ハードウェアの安全な取り外し]は必要ありません。



- 自動的にインストールされないときにはコンピューターで[マイコンピュータ] - [EPSON_PJ_UD] - [EMP_UDSE.EXE]の順にダブルクリックします。
- 万一、投写されないときにはコンピューターで[すべてのプログラム] - [EPSON Projector] - [Epson USB Display] - [Epson USB Display Vx.xx]の順にクリックします。
- Windows 2000搭載のコンピューターをユーザー権限でお使いのときは、Windowsのエラーメッセージが表示され使用できないことがあります。この場合は、Windowsをアップデートして最新の状態にしてから再度、接続し直してください。
詳細は、お買い上げの販売店または以下に記載の連絡先にご相談ください。
☞ [『お問い合わせ先』](#)

Mac OSの場合

1 USBケーブルで、コンピューターのUSB端子と本機のUSB(TypeB)端子を接続します。

FinderにUSBディスプレイのセットアップフォルダーが表示されます。

2 [USB Display Installer]アイコンをダブルクリックします。

3 画面の指示に従って、インストールを進めます。

4 使用許諾画面が表示されたら、[同意する]を選択します。

管理者権限のパスワードを入力して、インストールを開始します。

インストールが完了すると、DockとメニューバーにUSBディスプレイのアイコンが表示されます。

5 コンピューターの映像が投写されます。

コンピューターの映像が投写されるまでに、しばらく時間がかかることがあります。コンピューターの映像が投写されるまではUSBケーブルを抜いたり、本機の電源を切ったりせずにそのままの状態でお待ちください。

6 終了するときは、メニューバーまたはDockの[USB Display]アイコンから[切断]を選択します。その後にUSBケーブルを取り外します。



- FinderにUSBディスプレイのセットアップフォルダーが自動的に表示されないときは、コンピューターで[EPSON PJ_UD] - [USB Display Installer]の順にダブルクリックしてください。
- 万一、投写されないときにはDockの[USB Display]アイコンをクリックします。
- Dockに[USB Display]アイコンがないときは、アプリケーションフォルダーの[USB Display]をダブルクリックします。
- Dockの[USB Display]アイコンから[終了]を選択すると、次回USBケーブル接続時にUSBディスプレイが自動起動しなくなります。

アンインストール

Windows 2000の場合

- 1** [スタート] - [設定] - [コントロールパネル]の順にクリックします。
- 2** [アプリケーションの追加と削除]をダブルクリックします。
- 3** [プログラムの変更と削除]をクリックします。
- 4** [Epson USB Display]を選択して、[変更/削除]をクリックします。

Windows XPの場合

- 1** [スタート] - [コントロールパネル]の順にクリックします。
- 2** [プログラムの追加と削除]をダブルクリックします。
- 3** [Epson USB Display]を選択して、[削除]をクリックします。

Windows Vista/Windows 7の場合

- 1** [スタート] - [コントロールパネル]の順にクリックします。
- 2** [プログラム]の[プログラムのアンインストール]をクリックします。
- 3** [Epson USB Display]を選択して、[アンインストール]をクリックします。

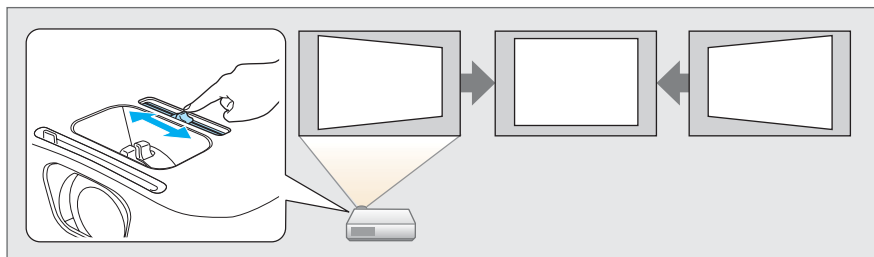
Mac OSの場合

- 1** [アプリケーション] - [USB Display] - [Tool]の順にダブルクリックします。
- 2** [USB Display UnInstaller]を実行します。

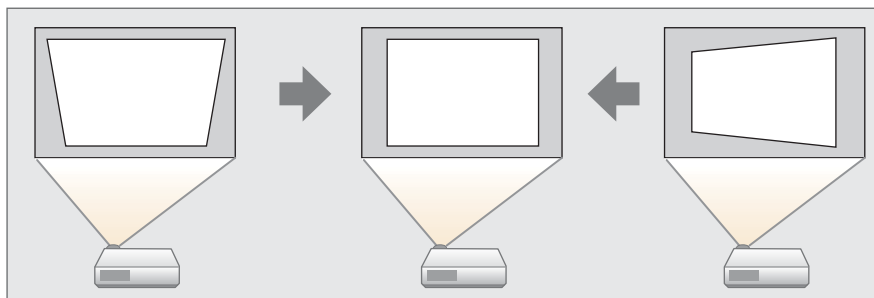
台形ゆがみを補正する

投写映像の台形ゆがみを補正するには、以下の方法があります。

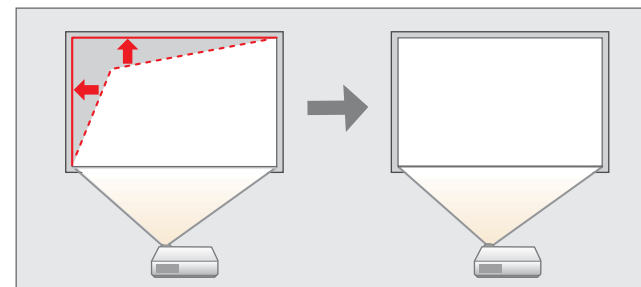
- 自動で補正する(自動タテ補正)
タテ方向の台形のゆがみを自動的に補正します。
- 手動で補正する(スライド式ヨコ補正)
ヨコ方向の台形のゆがみをヨコ補正スライダーで補正します。



- 手動で補正する(タテヨコ補正)
タテ方向とヨコ方向の台形ゆがみを個別に補正します。



- 手動で補正する(Quick Corner)
4つのコーナーを個別に補正します。



台形ゆがみを補正すると、投写映像のサイズが小さくなります。

自動で補正する

自動タテ補正

本機を設置したときや、移動したり傾けたときなど、プロジェクターが動きを感知すると、投写映像のタテ方向の台形ゆがみを自動的に補正します。この機能を自動タテ補正といいます。

プロジェクターが動きを感知してから約2秒間静止すると、調整用の画面が表示された後に投写映像が補正されます。

自動タテ補正で投写映像を正しく補正できる条件は、以下のとおりです。

補正角度：上下約30°



- 自動タテ補正が機能するのは、[設置モード]で[フロント]を選択しているときのみです。
☛ [拡張設定]-[設置モード] [p.71](#)
- 自動タテ補正を機能させたくないときは、[自動タテ補正]を[オフ]に設定してください。
☛ [設定]-[台形補正]-[タテヨコ]-[自動タテ補正] [p.69](#)

手で補正する

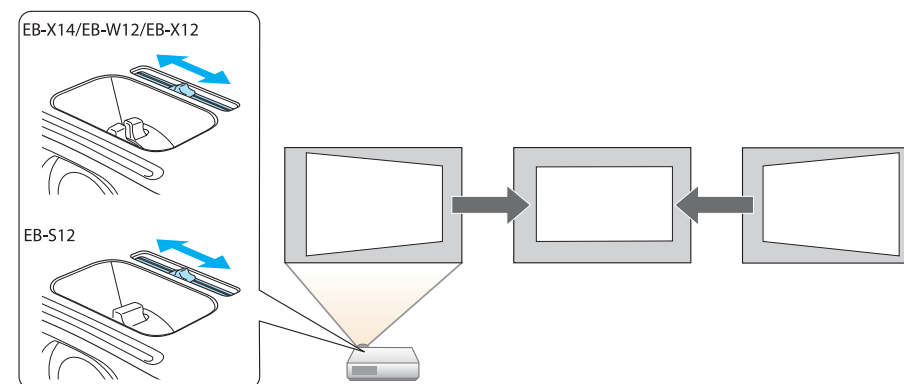
台形ゆがみを手動で微調整します。

タテヨコ補正で投写映像を正しく補正できる条件は、以下のとおりです。

補正角度：左右約30°/上下約30°

スライド式ヨコ補正

ヨコ補正スライダーを左右に移動させ、ヨコ方向の台形ゆがみを補正します。

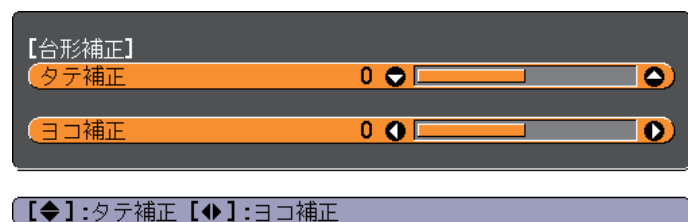


- スライド式ヨコ補正を使用するときは、[スライド式ヨコ補正]を[オン]に設定してください。
☛ [設定]-[台形補正]-[タテヨコ]-[スライド式ヨコ補正] [p.69](#)
- ヨコ方向の台形ゆがみは、タテヨコ補正でも補正できます。

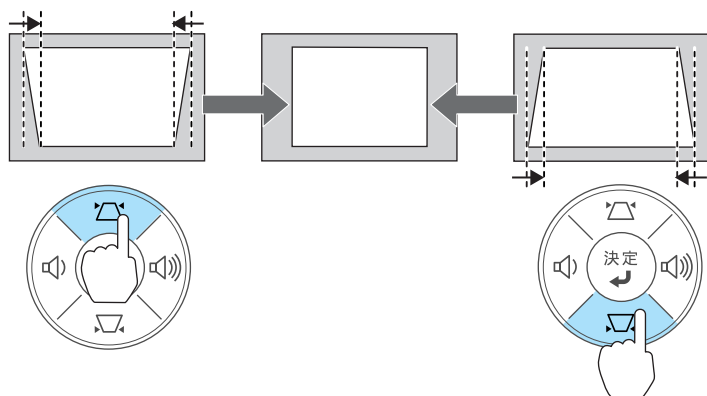
タテヨコ補正

タテ方向とヨコ方向の台形ゆがみを個別に補正します。

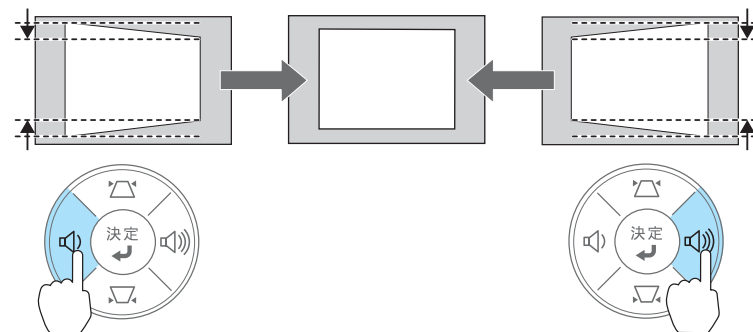
- 1 投写中に操作パネルの【▽】【△】ボタンを押して、台形補正画面を表示します。



- 2 下記のボタンを押して、台形ゆがみを補正します。
タテ補正は【▽】【△】ボタンを押します。



ヨコ補正は、【◀】【▶】ボタンまたは【ワイド】【テレ】ボタンを押します。



タテヨコ補正は環境設定メニューからも設定できます。
 ➡【設定】-【台形補正】-【タテヨコ】 p.69

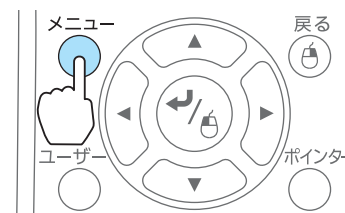
Quick Corner

スクリーンに合わせて投写映像の4つのコーナーを個別に補正します。

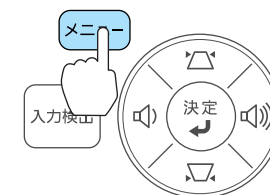
- 1 投写中に【メニュー】ボタンを押します。

➡「環境設定メニューの操作」 p.64

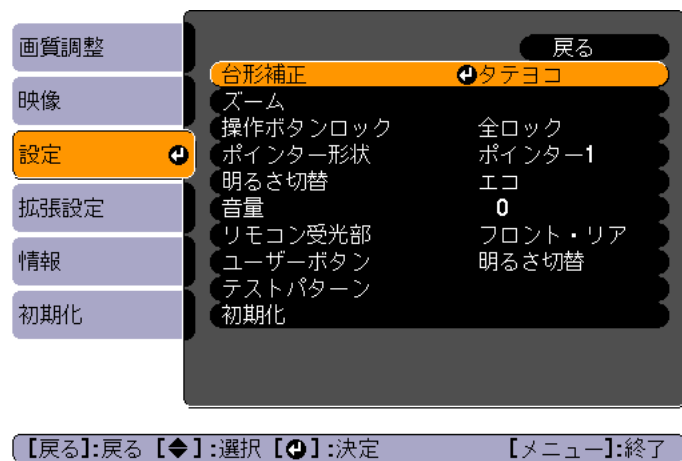
リモコンの場合



操作パネルの場合



2 [設定]から[台形補正]を選択します。



3 [Quick Corner]を選択し【↵】ボタンを押します。



4 補正するコーナーをリモコンの【△】【▽】【◀】【▶】ボタン、または操作パネルの【▽】【△】【◀】【▶】(または【ワイド】【テレ】)ボタンで選択して、【↵】ボタンを押します。

- 5** リモコンの【】【】【】【】ボタン、または操作パネルの【】【】【】【】(または【ワイド】【テレ】)ボタンでコーナーの位置を補正します。

【】ボタンを押すと、手順4の画面が表示されます。

補正中に「これ以上調整できません。」と表示されたときは、グレーの三角で示す部分が補正量の限界に達したことを示しています。



- 6** 手順4と5を繰り返して補正が必要なコーナーすべてを補正します。

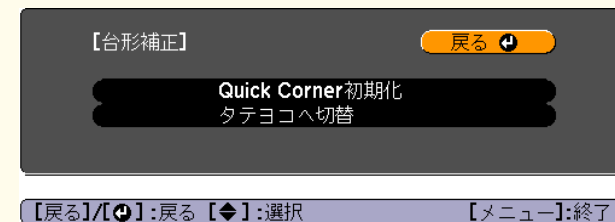
- 7** 補正を終了するには、【戻る】ボタンを押します。

【台形補正】を【Quick Corner】に変更したので、以降は操作パネルの【】【】ボタンを押すと手順4のコーナーを選択する画面が表示されます。操作パネルの【】【】ボタンを押したときにタテヨコ補正をしたいときは、【台形補正】を【タテヨコ】に変更してください。

☛ 【設定】-【台形補正】-【タテヨコ】 p.69



手順4のコーナーを選択する画面で【戻る】ボタンを約2秒間押し続けると、以下の画面が表示されます。



【Quick Corner初期化】：Quick Cornerで補正した結果を初期化します。

【タテヨコへ切替】：補正方法を【タテヨコ】に切り替えます。

☛ 「設定メニュー」 p.69

映像のサイズを調整する

EB-X14/EB-W12/EB-X12の場合

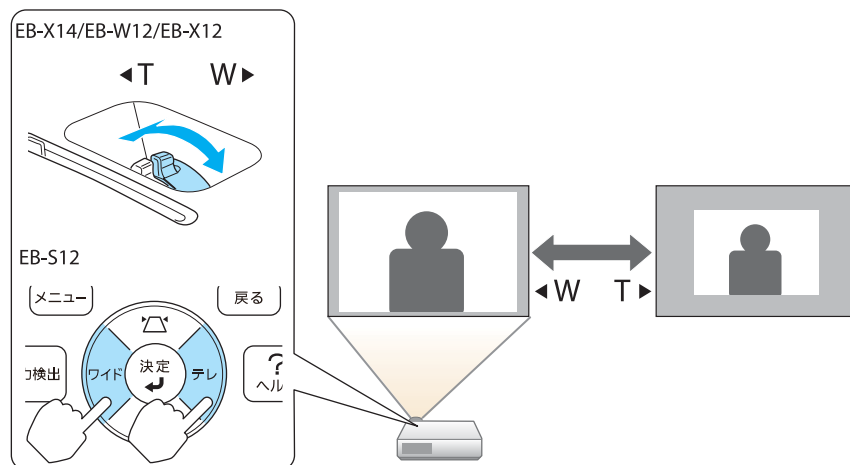
ズームリングを回して、投写映像のサイズを調整します。

EB-S12の場合

操作パネルの【ワイド】【テレ】ボタンで調整します。

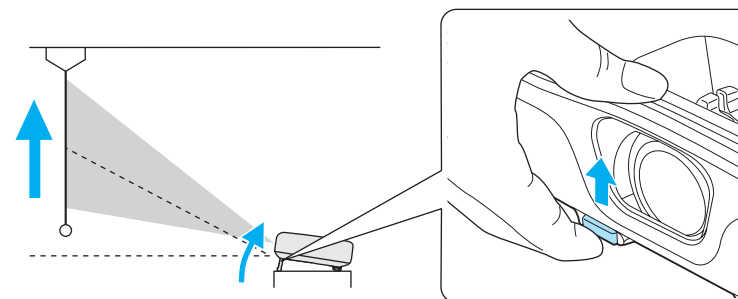
ワイド：投写映像のサイズが大きくなります。

テレ：投写映像のサイズが小さくなります。



映像の高さを調整する

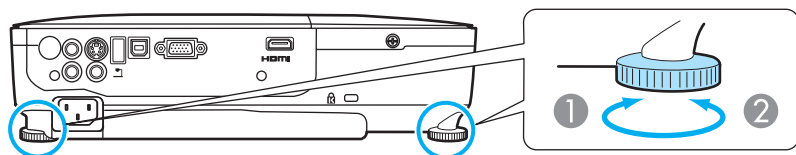
フットレバーを押して、フロントフットを伸ばします。最大12度まで傾けて、映像の高さを調整できます。



傾斜角度が大きくなると、ピントが合いにくくなります。傾斜角度が小さくなるように設置してください。

水平傾斜を調整する

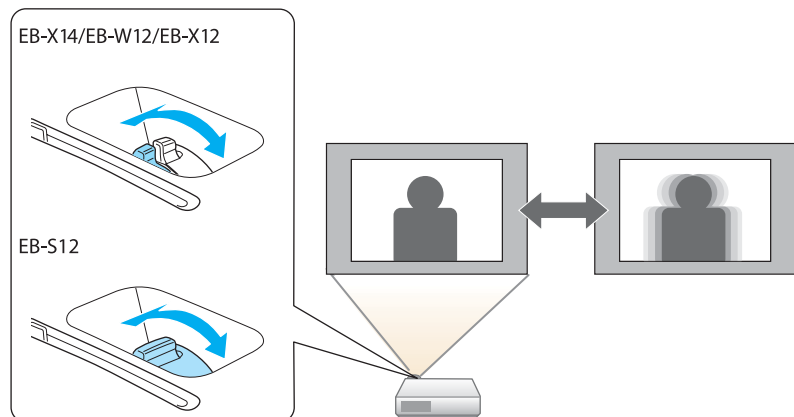
リアフットを伸縮して本機の水平方向の傾きを調整します。



- ① リアフットを伸ばします。
- ② リアフットを縮めます。

ピントのズレを補正する

ピントのズレを補正するには、フォーカスリングで調整します。

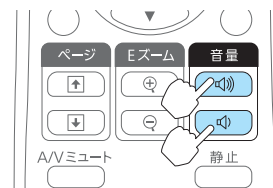


音量を調整する

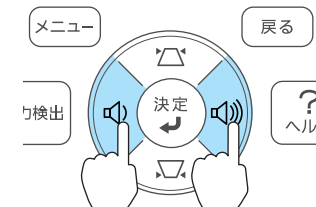
音量を調整するには、以下の方法があります。

- 操作パネルまたはリモコンの【音量】ボタンを押して調整する。
【🔊】音量を下げます。
【🔊】音量を上げます。

リモコンの場合



操作パネルの場合 (EB-X14/EB-W12/EB-X12のみ)



- 環境設定メニューから調整する。

🖱️ [設定]-[音量] [p.69](#)

⚠️ 注意

初めから音量を上げすぎないでください。
突然大きな音が出て、聴力障害の原因になることがあります。電源を切る前に音量(ボリューム)を下げておき、電源を入れた後で徐々に上げてください。

映り具合を選ぶ(カラーモードの選択)

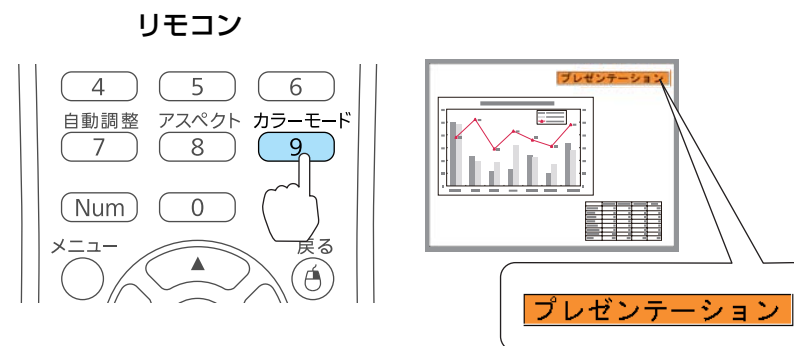
投写時の環境に応じて次の設定から選択するだけで、簡単に最適な画質で投写できます。モードによって投写の明るさが変わります。

モード名	使い方
ダイナミック	明るい部屋での使用に最適です。一番明るいモードで、暗部の階調表現に優れています。
プレゼンテーション	明るい部屋で、カラーの資料を使ってプレゼンテーションを行うのに最適です。
シアター	暗い部屋で、映画を楽しむのに最適です。自然な色合いの映像になります。
フォト※1	明るい部屋で、写真などの静止画像を投写するのに最適です。鮮やかで、コントラストのある映像になります。
スポーツ※2	明るい部屋で、テレビ番組などを楽しむのに最適です。鮮やかで、臨場感のある映像になります。
sRGB	sRGB▶に準拠した映像になります。
黒板	黒板(緑色)に投写しても、スクリーンに投写したときのような自然な色合いの映像になります。
ホワイトボード	ホワイトボードを使ってプレゼンテーションを行うのに最適です。

※1 RGB信号入力時と入力ソースがUSB Display/USBのときのみ選択できます。

※2 コンポーネントビデオ信号入力時と、入力ソースがビデオ/S-ビデオのときのみ選択できます。

【カラーモード】ボタンを押すたびに画面上にカラーモード名が表示され、カラーモードが切り替わります。



カラーモードは環境設定メニューからも設定できます。

☞ [画質調整]-[カラーモード] p.67

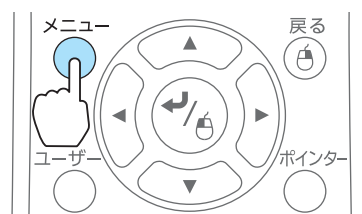
オートアイリス(自動絞り)を設定する

表示される映像の明るさに合わせて、光量を自動的に設定することで、奥行きと深みのある画像が楽しめます。

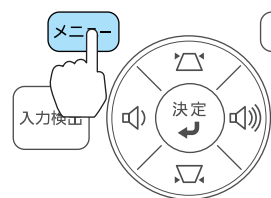
1 【メニュー】ボタンを押します。

☞ 「環境設定メニューの操作」 p.64

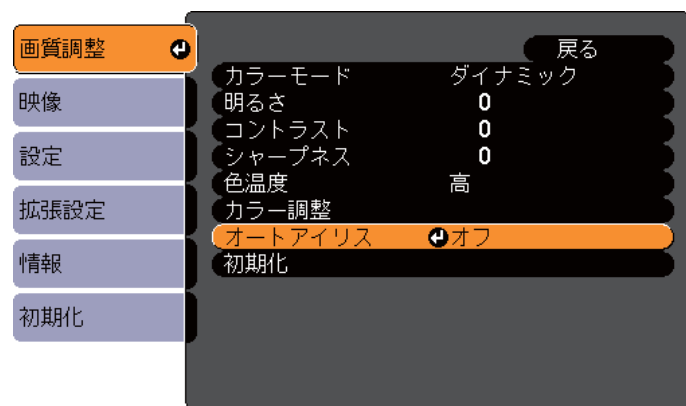
リモコンの場合



操作パネルの場合



2 【画質調整】から【オートアイリス】を選びます。



【戻る】:戻る 【◆】:選択 【⏏】:決定 【メニュー】:終了

3 【オン】を選択します。

設定値はカラーモードごとに保存されます。

4 【メニュー】ボタンを押して設定を終了します。



【カラーモード】が【ダイナミック】または【シアター】に設定されているときに限り、オートアイリスの設定ができます。

投写映像のアスペクト比を切り替える

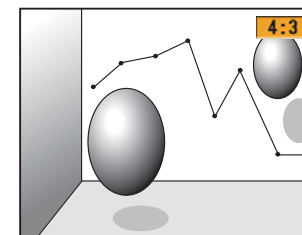
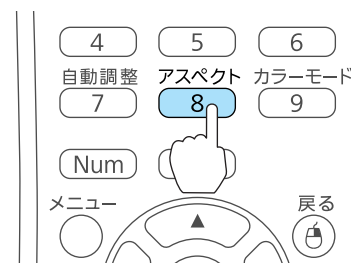
入力信号の種類、縦横比、解像度に合わせて、投写映像の[アスペクト比](#)を切り替えます。

投写している映像の種類により、選択できるアスペクトモードは異なります。

切り替え方法

リモコンの【アスペクト】ボタンを押すたびに画面上にアスペクトモード名が表示され、アスペクト比が切り替わります。

リモコン



アスペクト比は環境設定メニューからも設定できます。

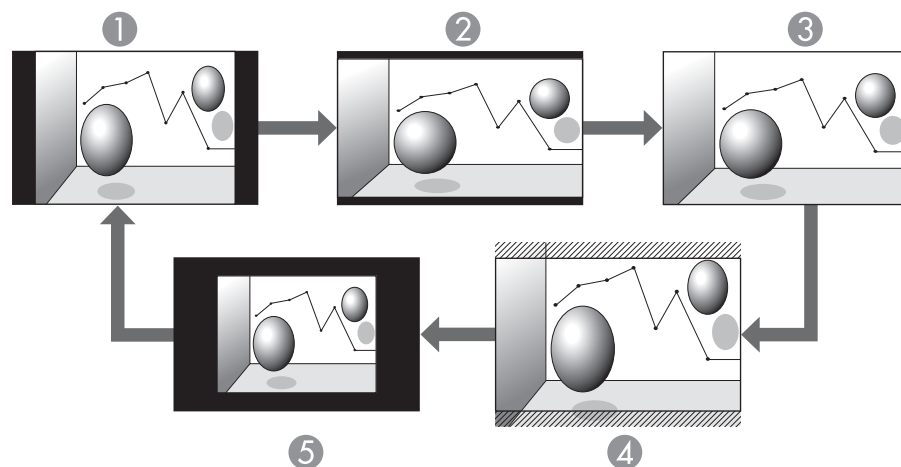
☞ 【映像】-【アスペクト】 p.68

アスペクトモードを切り替える

ビデオ機器の映像またはHDMI入力端子からの映像を投写しているとき(EB-W12の場合)

【アスペクト】ボタンを押すたびに、アスペクトモードが、[ノーマル]または[オート]、[16:9]、[フル]、[ズーム]、[リアル]の順で切り替わります。

例：1080p信号入力時(解像度1920x1080、アスペクト比16:9)



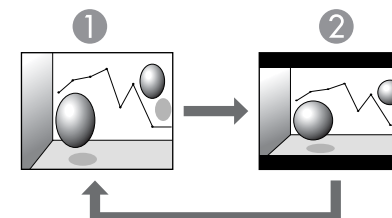
- ① ノーマルまたはオート
- ② 16:9
- ③ フル
- ④ ズーム
- ⑤ リアル

ビデオ機器の映像を投写しているとき(EB-X14/EB-X12/EB-S12の場合)

【アスペクト】ボタンを押すたびに、アスペクトモードが、[4:3]、[16:9]の順で切り替わります。

720p/1080i信号入力時に[4:3]に設定すると、ズーム4:3表示(映像の左右をカットした表示)になります。

例：720p信号入力時(解像度1280x720、アスペクト比16:9)

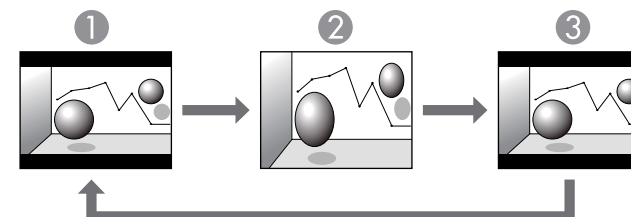


- ① 4:3
- ② 16:9

HDMI入力端子からの映像を投写しているとき(EB-X14/EB-X12の場合)

アスペクトボタンを押すたびに、アスペクトモードが、[オート]、[4:3]、[16:9]の順で切り替わります。

例：1080p信号入力時(解像度1920x1080、アスペクト比16:9)

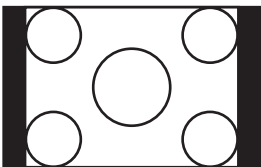
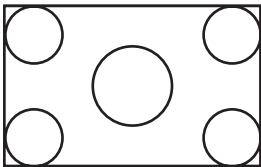
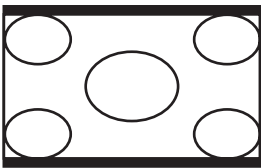
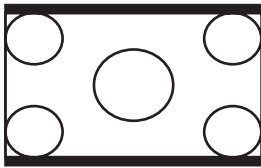
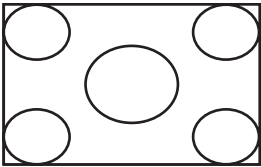
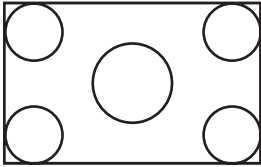
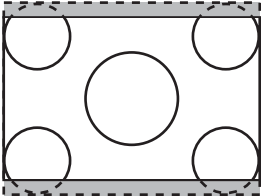
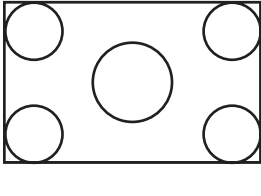
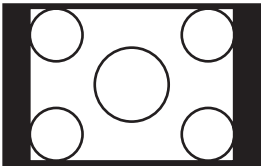
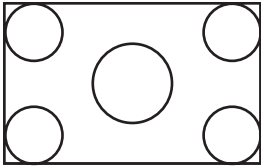


- ① オート
- ② 4:3
- ③ 16:9

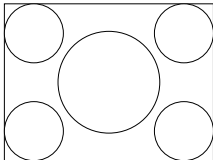
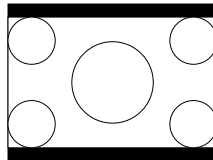
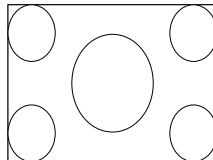
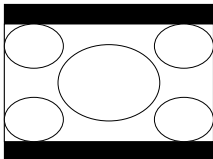
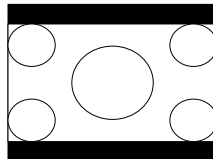
コンピューターの映像を投写しているとき

各アスペクトモードに切り替えたときの投写例は以下のとおりです。

EB-W12の場合

アスペクトモード	入力信号	
	XGA 1024X768(4:3)	WXGA 1280X800(16:10)
[ノーマル]		
[16:9]		
[フル]		
[ズーム]		
[リアル]		

EB-X14/EB-X12/EB-S12の場合

アスペクトモード	入力信号	
	XGA 1024X768(4:3)	WXGA 1280X800(16:10)
[ノーマル]		
[4:3]		
[16:9]		



投写映像が欠けてすべてが投写できないときは、お使いのコンピューターのパネルサイズに合わせて環境設定メニューの[入力解像度]を[ワイド]または[ノーマル]に設定してください。

🖱️ [映像]-[入力解像度] [p.68](#)



便利な機能

ここでは、プレゼンテーションなどに効果的な機能と、セキュリティー機能について説明しています。

コンピューターを使わずに投写する(スライドショー)

USBメモリーやUSBハードディスクなどのUSBストレージを本機に装着して、保存されているファイルをコンピューターを使わずに投写できます。この機能をスライドショーといいます。



- セキュリティ機能が付いているUSBストレージは、使用できないことがあります。
- スライドショーで投写時は、操作パネルの【凸】【凹】ボタンを押しても台形補正できません。

スライドショーで投写できるファイルの仕様

種類	ファイルタイプ (拡張子)	備考
画像	.jpg	以下の場合は投写できません。 ・ CMYKカラーモード形式 ・ プログレッシブ形式 ・ 解像度が8192x8192を超えるもの JPEGファイルの特性上、圧縮率が高いと画像がきれいに投写されないことがあります。
	.bmp	解像度が1280x800を超えるものは投写できません。
	.gif	・ 解像度が1280x800を超えるものは投写できません。 ・ アニメーションGIFは投写できません。
	.png	解像度が1280x800を超えるものは投写できません。



- USB対応のハードディスクを接続して使用する際は、必ずハードディスクに付属のACアダプターを接続してください。
- 一部のファイルシステムに対応できないことがありますので、Windows上でフォーマットしたメディアをお使いください。
- メディアはFAT16/32でフォーマットしてください。

スライドショーの利用例

USBストレージに保存した画像を投写する



☛ 「選択した画像を投写する」 [p.48](#)

☛ 「フォルダー内の画像ファイルを連続投写する（スライドショー）」 [p.49](#)

スライドショーの操作方法

以降、リモコンで操作を行ったときを例に説明していますが、操作パネルでも同様の操作を行えます。

起動する

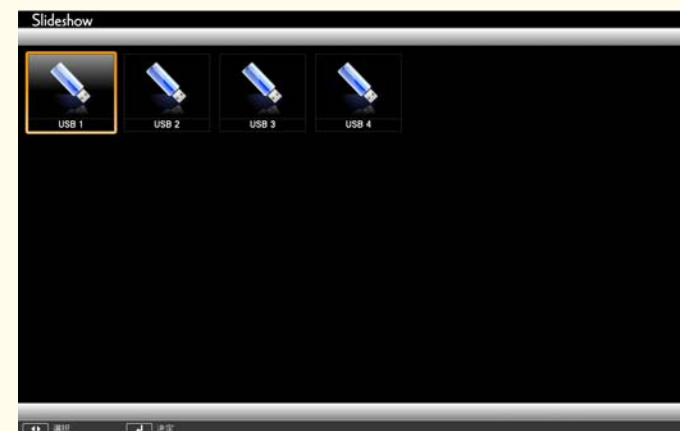
- 1 入力ソースをUSBに切り替えます。
 ☛ 「リモコンで目的の映像に切り替える」 p.29
- 2 プロジェクターに、USBストレージまたはデジタルカメラをセットします。
 ☛ 「USB機器の接続」 p.24
 スライドショーが起動して、ファイル一覧画面が表示されます。
 - JPEGファイルはサムネイル表示(ファイルの内容が小さい画像で表示)されます。
 - それ以外のファイルとフォルダーは次表のようにアイコンで表示されます。

アイコン	ファイル	アイコン	ファイル
	JPEGファイル※		BMPファイル
	GIFファイル		PNGファイル

※ サムネイル表示できない場合は、アイコンで表示されます。



- USBカードリーダーにメモリーカードをセットして本機に接続することができます。ただし、市販のUSBカードリーダーには本機で使用できないものもあります。
- 以下の画面(ドライブの選択画面)が表示されたときは、【】【】【】ボタンを押して使用するドライブを選択し、【】ボタンを押します。



- ドライブの選択画面を表示するには、ファイル一覧画面上部の「ドライブの選択」にカーソルを合わせて【】ボタンを押します。

投写する

- 1 【】【】【】【】ボタンを押して、操作の対象となるファイルまたはフォルダーを選択します。



 現在表示中の画面にすべてのファイルやフォルダーが表示されていない場合は、リモコンの【】ボタンを押すか、画面下部の[次のページ]にカーソルを合わせて【】ボタンを押します。

前の画面に戻る場合は、リモコンの【】ボタンを押すか、画面上部の[前のページ]にカーソルを合わせて【】ボタンを押します。

- 2 【】ボタンを押します。

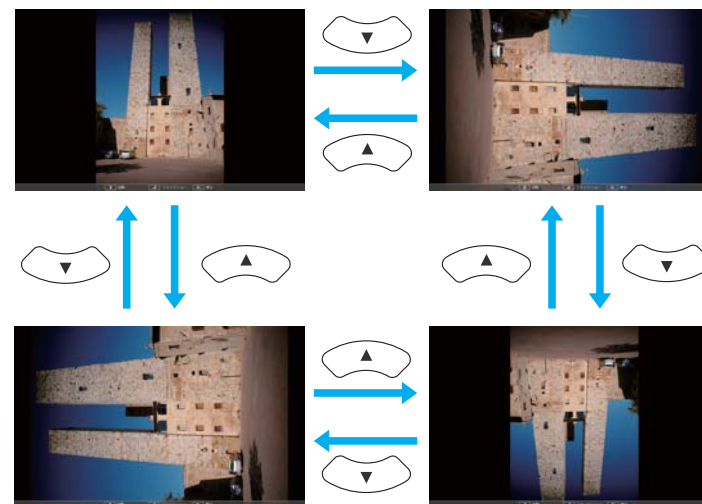
選択した映像が表示されます。

フォルダーを選択したときは、フォルダー内のファイルが表示されます。フォルダーを開いた画面で、[上へ戻る]を選択して【】ボタンを押すとフォルダーを開く前の画面に戻ります。

画像を回転する

再生した画像を90°単位で回転できます。スライドショー実行時に再生される画像も回転できます。

- 1 画像を再生するか、スライドショーを実行します。
- 2 画像が再生されたら、【】ボタンまたは【】ボタンを押します。



終了する

スライドショーを終了するには、接続しているUSB機器を本機のUSB端子から取り外します。デジタルカメラやハードディスクなどは、各機器の電源をオフにしてから取り外してください。

選択した画像を投写する

注意

USBストレージにアクセス中はUSBストレージの接続を外さないください。
スライドショーに異常が発生する場合があります。

- 1 スライドショーを起動します。
ファイル一覧画面が表示されます。
☞「起動する」 p.46
- 2 【】【】【】【】ボタンを押して、投写する画像ファイルを選択します。



- 3 【】ボタンを押します。
画像を再生します。



画像を再生中に【】【】ボタンを押すと、画像ファイルの送り/戻しができます。

- 4 【戻る】ボタンを押すと、ファイル一覧画面に戻ります。

フォルダー内の画像ファイルを連続投写する(スライドショー)

フォルダー内の画像ファイルを順番に1つずつ投写できます。この機能をスライドショーと呼びます。以下の手順でスライドショーを実行します。



スライドショーでファイルを自動的に切り替えて表示するには、スライドショーの[オプション]で[表示時間設定]を[なし]以外に設定してください。初期設定は3秒に設定されています。

☞ 「画像ファイルの表示設定とスライドショーの動作設定」
p.50

- 1** スライドショーを起動します。
ファイル一覧画面が表示されます。
☞ 「起動する」 p.46
- 2** 【】【】【】【】ボタンを押して、スライドショーを実行するフォルダーにカーソルを合わせ【】ボタンを押します。

- 3** ファイル一覧画面の下部で[スライドショー]を選択して、【】ボタンを押します。

スライドショーが実行され、自動的にフォルダー内の画像ファイルが順次1つずつ投写されます。

最後まで投写すると、自動的にファイル一覧表示に戻ります。オプション画面で[繰り返し再生]を[オン]に設定しているときは、最後まで投写すると最初から投写を繰り返します。

☞ 「画像ファイルの表示設定とスライドショーの動作設定」
p.50

スライドショー投写中は次画面に送る、前画面に戻す、再生を中止することができます。



オプション画面で[表示時間設定]を[なし]に設定している場合、スライドショー再生を実行しても自動的にファイルが切り替わりません。【】ボタン、【】ボタンまたは【】ボタンを押して、次のファイルを投写します。

次の機能はスライドショーで画像ファイルを投写しているときも同様に使えます。

- 静止
☞ 「映像を停止させる（静止）」 p.51
- A/Vミュート
☞ 「映像と音声を一時的に消す（A/Vミュート）」 p.51
- Eズーム
☞ 「映像を部分的に拡大する（Eズーム）」 p.53

画像ファイルの表示設定とスライドショーの動作設定

ファイルの表示順序やスライドショーの動作をオプション画面で設定できます。

1     ボタンを押して、表示条件を設定するフォルダーにカーソルを合わせ【戻る】ボタンを押します。表示されたサブメニューから【オプション】を選択して【】ボタンを押します。

2 次のオプション画面が表示されますので、各項目を設定します。変更したい項目の設定にカーソルを合わせて【】ボタンを押すと、設定が有効になります。

各項目の詳細は次の表のとおりです。



表示順序設定	表示するファイルの順序を、[ファイル名順]、[更新日付順]から選択します。
ソート方向	ファイルの並び替え方向を、[昇順]、[降順]から選択します。
繰り返し再生	繰り返しスライドショーを実行するかを設定します。

表示時間設定	スライドショー再生で、1つのファイルを表示する時間を設定します。[なし](0)～60秒までの設定ができます。[なし]に設定したときは、自動送りは無効となります。
画面切替効果	スライドを切り替えるときの画面効果を設定します。

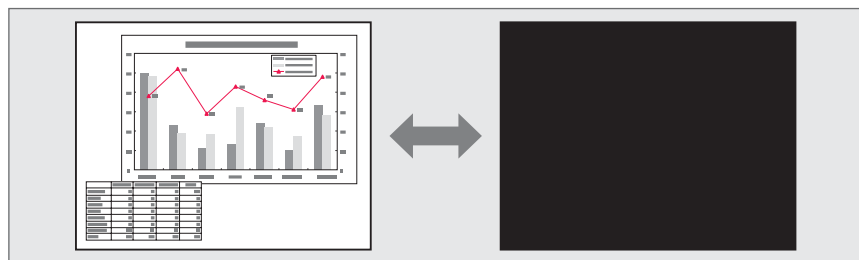
3     ボタンを押して【OK】にカーソルを合わせて、【】ボタンを押します。

設定が適用されます。

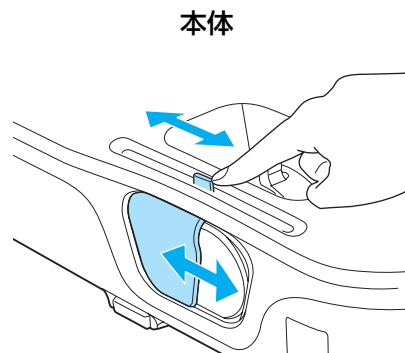
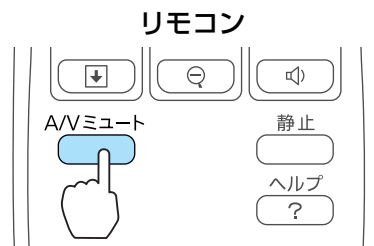
設定を適用したくない場合は、[キャンセル]にカーソルを合わせて、【】ボタンを押します。

映像と音声を一時的に消す(A/Vミュート)

スクリーンの映像を消して聴衆を話に集中させたいときや、ファイルの切り替え操作などを見せたくないときに使います。



【A/Vミュート】ボタンを押す、またはレンズカバーを閉/開するたびにA/Vミュートが実行/解除されます。

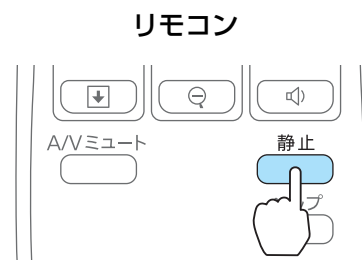


- 動画の場合は、A/Vミュート中も映像と音声は進んでいますので、遮断したときの場面からは再開できません。
- 【A/Vミュート】ボタンを押したときに表示される画面は、環境設定メニューから選択できます。
 ● [拡張設定]-[表示設定]-[A/Vミュート] p.71
- レンズカバーを閉じた状態が約30分続くとレンズカバータイマーが機能し、自動的に電源がオフになります。レンズカバータイマーを機能させたくないときは、[レンズカバータイマー]を[オフ]にします。
 ● [拡張設定]-[動作設定]-[レンズカバータイマー] p.71
- A/Vミュート中もランプは点灯しているので、ランプ点灯時間に累積されます。

映像を停止させる(静止)

静止を実行したときの画面が投写されたままになりますので、動画の一場面を静止画で投写できます。また、ファイル切り替えの前に静止を実行すれば、操作内容を投写せずに操作できます。

【静止】ボタンを押すたびに静止が実行/解除されます。

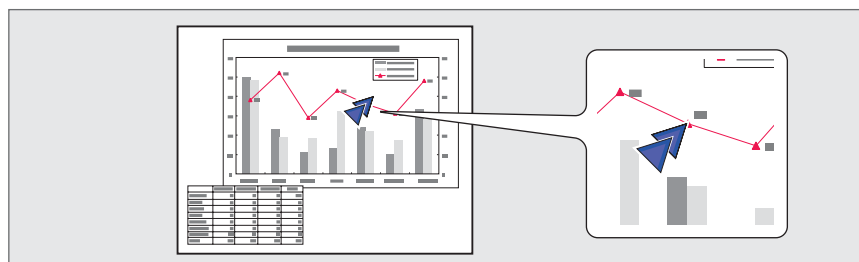




- ・音声は停止しません。
- ・動画の場合は、停止している間も映像は進んでいますので、静止したときの場面からは再開できません。
- ・環境設定メニューやヘルプを表示中に【静止】ボタンを押すと、表示中のメニュー・ヘルプは消去されます。
- ・Eズーム実行中も、静止機能で停止できます。

説明箇所を指し示す(ポインター)

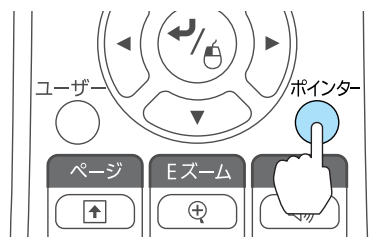
ポインターで映像を指し示し、どこを説明しているかを明確にしたり、注目させるときに使用します。



1 ポインターを表示します。

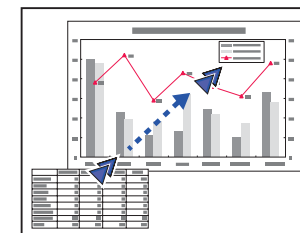
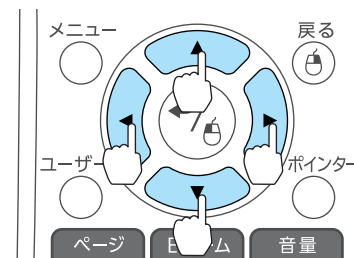
【ポインター】ボタンを押すたびに表示/非表示が切り替わります。

リモコン



2 ポインターアイコン(➡)を移動します。

リモコン



隣り合う【△】【▽】【○】【◇】ボタンを組み合わせると斜め方向にも移動することができます。

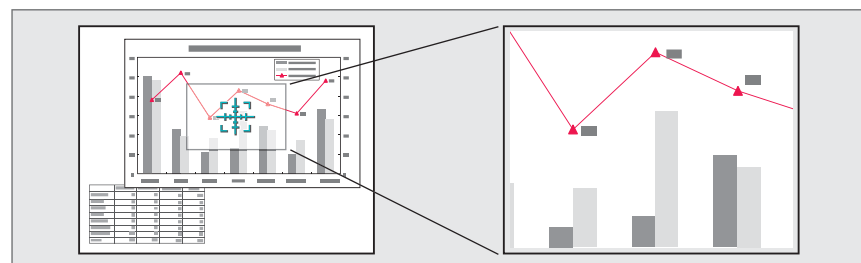


ポインターアイコンの形状は環境設定メニューから設定できます。

🖱️ 【設定】-【ポインター形状】 p.69

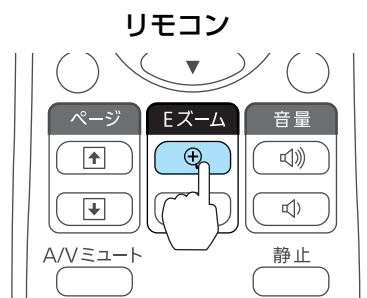
映像を部分的に拡大する(Eズーム)

グラフや表の細目などを拡大して見せたいときに便利です。

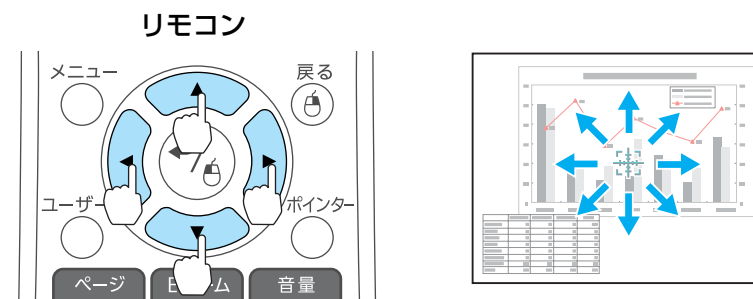


1 Eズームを開始します。

【⊕】ボタンを押すと、ターゲットスコープ(🎯)が表示されます。

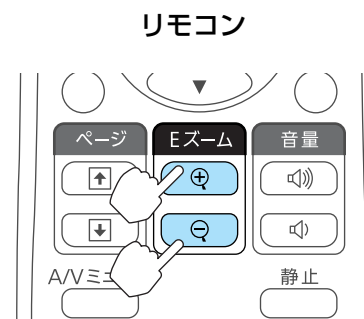


2 拡大表示したい部分にターゲットスコープ(🎯)を移動させます。



隣り合う【△】【▽】【○】【●】ボタンを組み合わせると斜め方向にも移動することができます。

3 拡大します。



【⊕】ボタン：押すたびに拡大されます。ボタンを押し続けると、すばやく拡大できます。

【⊖】ボタン：拡大した結果を縮小します。

【戻る】ボタン：Eズームを解除します。



- 画面上に倍率が表示されます。1～4倍まで、25段階で拡大できます。
- 拡大投写中に【△】【▽】【○】【●】ボタンを押すと、映像をスクロールできます。

リモコンでマウスポインターを操作する(ワイヤレスマウス)

本機のリモコンでコンピューターのマウスポインターを操作できます。
この機能をワイヤレスマウスと呼びます。

ワイヤレスマウスの対応OSは以下の通りです。

	Windows	Mac OS
OS	Windows 98	Mac OS X 10.3.x
	Windows 98SE	Mac OS X 10.4.x
	Windows Me	Mac OS X 10.5.x
	Windows 2000	Mac OS X 10.6.x
	Windows XP	
	Windows Vista	
	Windows 7	

※ OSのバージョンによりワイヤレスマウス機能を使用できない場合があります。

ワイヤレスマウスを実行するには、以下の設定をします。

1 本機とコンピューターをUSBケーブルで接続します。

☛ 「コンピューターの接続」 p.21

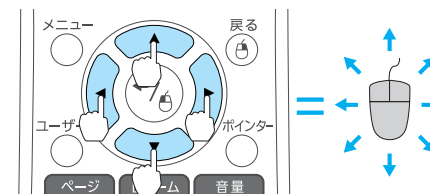
2 入力ソースを以下のいずれかに切り替えます。

- USB Display
- コンピューター
- HDMI

☛ 「リモコンで目的の映像に切り替える」 p.29

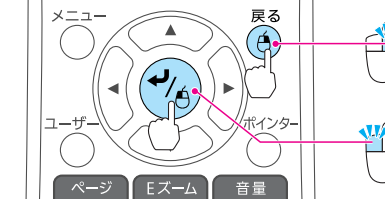
設定した後はマウスポインターを次のように操作できます。

マウスポインターの移動



【】【】【】【】ボタン：
マウスポインターを移動します。

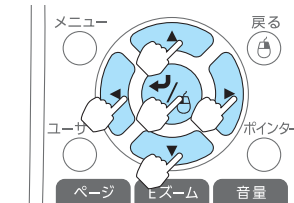
マウスクリック



【戻る】ボタン：マウスの右クリックの動きをします。

【】ボタン：マウスの左クリックの動きをします。ダブルクリックのときはすばやく2回押します。

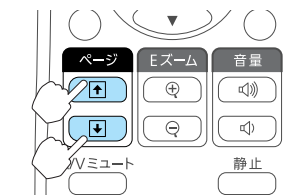
ドラッグ&ドロップ



【】ボタンを押したまま、【】
【】【】【】ボタンを押してドラッグします。

任意の場所で【】ボタンを離すと、ドロップします。

ページの送り/戻し



【】ボタン：ページを戻します。

【】ボタン：ページを送ります。



- 隣り合う【】【】【】【】ボタンを組み合わせると斜め方向にも移動することができます。
 - コンピューターでマウスボタンの左右を逆に設定している場合は、リモコンでの操作も逆になります。
 - 以下のときは、ワイヤレスマウス機能は動作しません。
 - ・環境設定メニューやヘルプを表示しているとき
 - ・ワイヤレスマウス以外の機能を実行しているとき(音量調整など)
- ただし、E ズームやポインター機能を使用しているときは、ページの送り/戻しのみ操作できます。

ユーザーロゴの登録

現在表示している映像をユーザーロゴとして登録します。

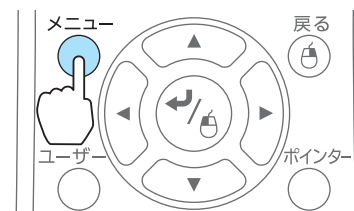


ユーザーロゴは一度登録すると、初期設定状態には戻せません。

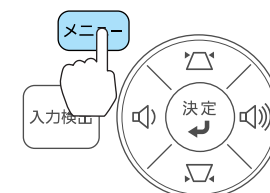
1 ユーザーロゴとして登録したい映像を投写し、【メニュー】ボタンを押します。

☞「環境設定メニューの操作」 p.64

リモコンの場合



操作パネルの場合



2 【拡張設定】から【ユーザーロゴ】を選びます。



【戻る】:戻る 【】:選択 【】:決定 【メニュー】:終了



- [パスワードプロテクト]で[ユーザーロゴ保護]を[オン]に設定しているときは、メッセージが表示され操作することはできません。[ユーザーロゴ保護]を[オフ]にしてから操作してください。
- 「利用者を管理する（パスワードプロテクト）」 p.57
- 台形補正、Eズーム、アスペクト、ズーム調整を行っているときに[ユーザーロゴ]を選択すると、実行している機能は一時的に解除されます。

- 3** 「現在投写されている映像の一部をユーザーロゴとして使いますか？」と表示されるので、[はい]を選択します。

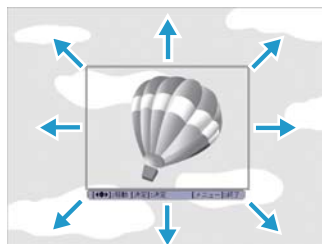
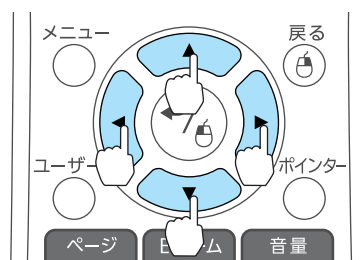


リモコンまたは操作パネルの【↶】ボタンを押すと、映像信号の実際の解像度に切り替わるため、信号によっては画面サイズが変わることがあります。

- 4** 登録する映像と選択枠が表示されるので、ユーザーロゴとして使う位置を選択します。

プロジェクターの操作パネルでも同様の操作を行えます。

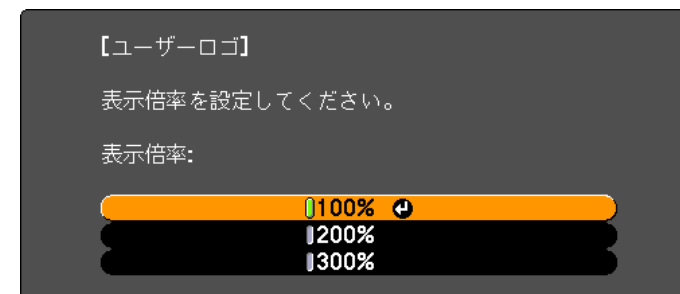
リモコン



登録できるサイズは400x300ドットです。

- 5** 【↶】ボタンを押すと「この映像を使用しますか？」と表示されるので、[はい]を選択します。

- 6** 表示倍率設定画面で倍率を選択します。



- 7** 「この映像を保存しますか？」とメッセージが表示されるので、[はい]を選択します。

映像が保存されます。保存が終了すると「ユーザーロゴの設定が終了しました。」とメッセージが表示されます。



- ユーザーロゴの登録を実行すると、先に登録されているユーザーロゴは消去されます。
- 保存にはしばらく時間がかかります。保存している間は、本機や接続している機器を操作しないでください。故障の原因になります。

本機には、次の充実したセキュリティ機能が備わっています。

- パスワードプロテクト
本機を使用する人を制限・管理できます。
- 操作ボタンロック
本機の設定を無断で変更されたり、いたずらされるのを防止できます。
☛ 「操作を制限する（操作ボタンロック）」 [p.60](#)
- 盗難防止用ロック
本機には機器そのものを持ち出されないように、盗難防止の機構が備わっています。
☛ 「盗難防止用ロック」 [p.61](#)

利用者を管理する(パスワードプロテクト)

パスワードプロテクト機能を有効にすると、電源を入れてもパスワードを知らない人は投写できません。さらに、電源を入れたときに表示される社名ロゴ等を変更できなくなります。この結果、本機を持ち出しても使用できないため、盗難等の防止につながります。ご購入時は、パスワードプロテクト機能は無効になっています。

パスワードプロテクトの種類

本機のパスワードプロテクトは利用シーンに応じて次の2種類の設定ができます。

- [電源投入時]
[電源投入時]を[オン]にすると、電源ケーブルで本機とコンセントを接続後、最初に電源を入れたとき(ダイレクトパワーオンも同様)に、事前に設定してあるパスワードの入力が要求されます。正しいパスワードを入力しないと、投写を開始しません。

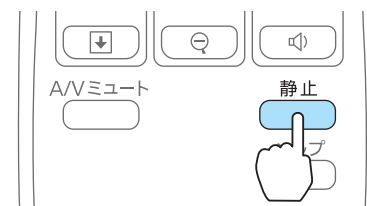
- [ユーザーロゴ保護]
せっかくプロジェクターの所有者を明示するためにユーザーロゴを登録していても、ロゴ表示を変更されては意味がありません。[ユーザーロゴ保護]を[オン]にすると、ユーザーロゴに関する次の設定変更を禁止できます。
 - ユーザーロゴのキャプチャー
 - [表示設定]の[背景表示]、[スタートアップスクリーン]、[A/Vミュート]の設定
☛ [拡張設定]-[表示設定] [p.71](#)

パスワードプロテクトの設定方法

パスワードプロテクトの設定は、下記の手順で行います。

- 1 投写中に【静止】ボタンを約5秒間押し続けます。
パスワードプロテクト設定メニューが表示されます。

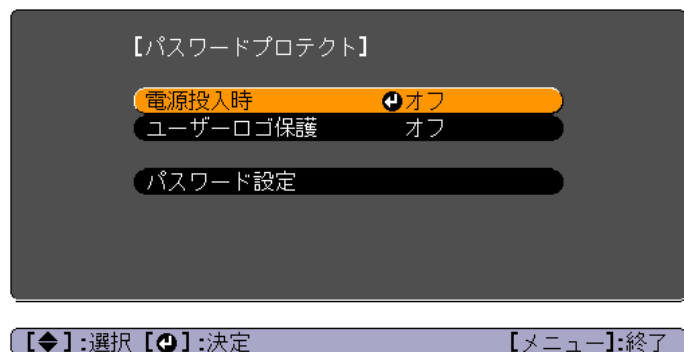
リモコン





- すでにパスワードプロテクトが有効になっていると、パスワードの入力が要求されます。パスワードを正しく入力するとパスワードプロテクト設定メニューが表示されます。
☞ 「パスワードの認証」 p.59
- パスワード設定をしたときは、盗難防止の効果をさらに高めるためにパスワードプロテクトシールを本機のお好きな位置に貼ってください。
☞ 『パスワードプロテクトシール』

2 設定したいパスワードプロテクトの種類を選択し、【↵】ボタンを押します。

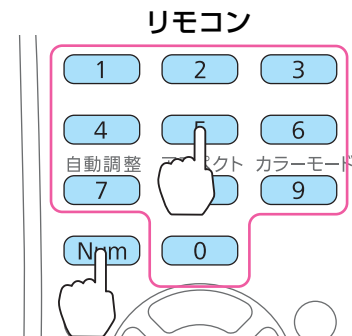


3 【オン】を選択し、【↵】ボタンを押します。 【戻る】ボタンを押して、手順2の画面に戻ります。

4 パスワードを設定します。

- (1) 「パスワード設定」を選択し、【↵】ボタンを押します。
- (2) 「パスワードを変更しますか？」と表示されるので、【はい】を選択し、【↵】ボタンを押します。初期設定でパスワードは「0000」に設定されています。必ず任意のパスワードに変更してください。【いいえ】を選択すると、手順2の画面に戻ります。

- (3) 【Num】ボタンを押したまま、テンキー部の数字のボタンで4桁の数字を入力します。入力したパスワードは「****」と表示されます。4桁目を入力すると、確認画面に切り替わります。

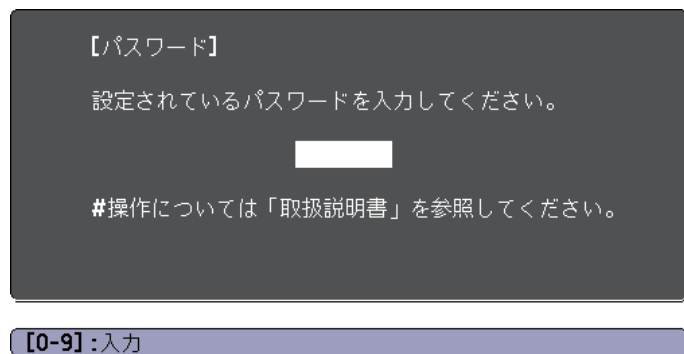


- (4) 入力したパスワードを再度入力します。「パスワード設定が終了しました。」とメッセージが表示されます。間違えてパスワードを入力した場合は、メッセージが表示されますのでパスワード設定をやり直してください。

パスワードの認証

パスワードの入力画面が表示されたら、設定してあるパスワードをリモコンで入力します。

【Num】ボタンを押したまま、テンキー部の数字のボタンを押してパスワードを入力します。



正しいパスワードを入力すると、一時的にパスワードプロテクトが解除されます。

注意

- パスワードに関してお問い合わせいただいた際は、お客様のお名前や連絡先などをお聞きし、お客様から返送いただいた『お客様情報＋正式保証書発行カード』と照合しで本人様であることを確認させていただきます。同梱の『お客様情報＋正式保証書発行カード』に必要事項を記入して、必ず返送してください。
- 間違ったパスワードを続けて3回入力した場合は、「プロジェクターの動作を停止します。」と、メッセージが約5分間表示され、本機がスタンバイ状態になります。この場合は、電源プラグを抜いて差し直し、本機の電源を入れます。パスワードの入力を求める画面が表示されますので、パスワードを正しく入力してください。
- 万一、パスワードを忘れてしまったときは、画面に表示されている問い合わせコード：xxxxxの番号を控えて、プロジェクターインフォメーションセンターにご連絡いただき、その指示に従ってください。
☎『[お問い合わせ先](#)』
- 上記の操作を繰り返し、間違ったパスワードを続けて30回入力した場合は、次のメッセージが表示されパスワード入力もできなくなります。「プロジェクターの動作を停止します。各修理窓口へ修理を依頼してください。」
☎『[お問い合わせ先](#)』

操作を制限する(操作ボタンロック)

次のどちらかを選んで本機の実作パネルのボタンをロックできます。

• 全ロック

操作パネルのボタンをすべてロックします。操作パネルからは電源のオン/オフを含めまったく操作できなくなります。

• 操作ロック

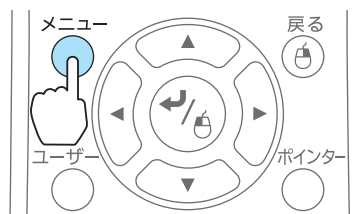
操作パネルの【】ボタンを除くすべてのボタンをロックします。

イベントやショーなどで投写中に本機の実作をできないようにしたり、学校などで操作できるボタンを制限したいときに便利です。リモコンからは通常どおり操作できます。

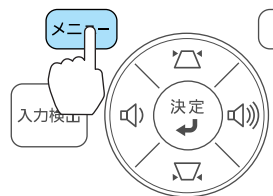
1 投写中に【メニュー】ボタンを押します。

☛「環境設定メニューの操作」 p.64

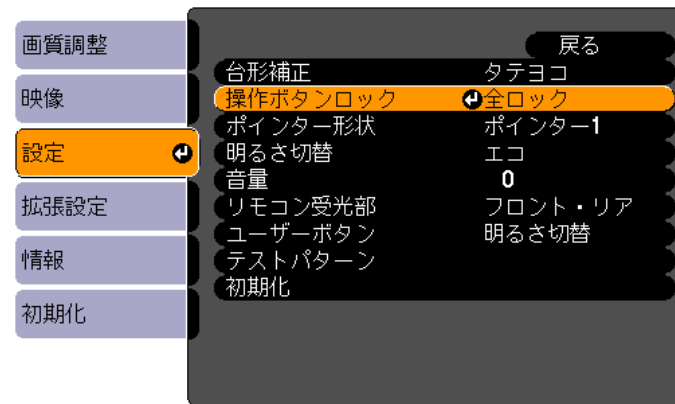
リモコンの場合



操作パネルの場合



2 【設定】から【操作ボタンロック】を選びます。



【戻る】:戻る 【】:選択 【】:決定 【メニュー】:終了

3 目的に応じて、[全ロック]または[操作ロック]を選択します。



【戻る】:戻る 【】:選択 【】:決定 【メニュー】:終了

4 確認のメッセージが表示されるので、[はい]を選びます。

設定に従い、操作パネルのボタンがロックされます。



操作パネルのボタンロックを解除するには、次の2通りの方法があります。

- [操作ボタンロック]で[オフ]を選びます。
☛ [設定]-[操作ボタンロック] p.69
- 操作パネルの【↵】ボタンを約7秒間押し続けると、メッセージが表示され、ロックが解除されます。

盗難防止用ロック

本機には機器そのものを持ち出されないように、次の機構が備わっています。

- セキュリティスロット

Kensington社製のマイクロサーバーセキュリティシステムに対応したセキュリティスロットです。

マイクロサーバーセキュリティシステムについての詳細は、以下をご覧ください。

☛ <http://www.kensington.com/>

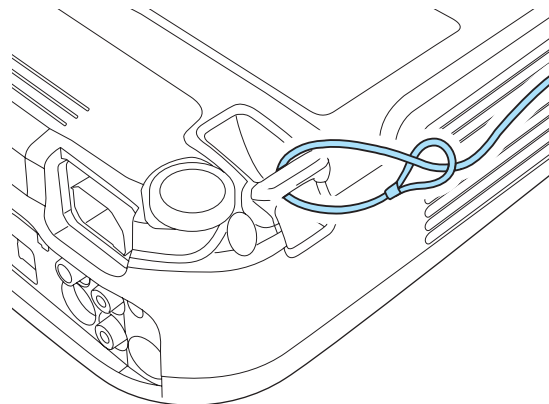
- セキュリティーケーブル取付け部

市販の盗難防止用ワイヤーロックなどを通して、机や柱などに固定できます。

ワイヤーロックの取り付け方

盗難防止用ワイヤーロックのワイヤーを通します。

ワイヤーロックの施錠方法は、ワイヤーロックに添付の取扱説明書をご覧ください。



ESC/VP21コマンド

ESC/VP21を使うと本機を外部機器から制御できます。

始める前に

- 1** お使いのコンピュータに**USB通信ドライバー(EPSON USB-COM Driver)**をインストールします。EPSON USB-COM Driverは以下のWebサイトからダウンロードできます。
<http://www.epson.jp/download/>
- 2** 拡張設定で**[USB Type B]**を**[Link 21L]**に設定します。
☛ [拡張設定]-[USB Type B] [p.71](#)
- 3** コンピューターの**USB端子**と本機の**USB(TypeB)端子**を**USBケーブル**で接続します。
2回目以降は手順2から始めます。

コマンドリスト

本機に電源オンのコマンドを送信すると、電源が入りウォームアップ状態になります。本機は電源オンの状態になったときにコロン ‘:’ (3Ah) を返信します。

このように本機はコマンドを受け取ると、そのコマンドを実行後 ‘:’ を返信し、次のコマンドを受け付けます。

異常終了のときは、エラーメッセージを出力した後に ‘:’ を返信します。

主な内容は以下のとおりです。

項 目			コマンド
電源のオン/オフ	オン		PWR ON
	オフ		PWR OFF
信号切り替え	コンピューター	オート	SOURCE 1F
		RGB	SOURCE 11
		コンポーネント	SOURCE 14
	HDMI(EB-X14/EB-W12/EB-X12のみ)		SOURCE 30
	ビデオ		SOURCE 41
	S-ビデオ		SOURCE 42
	USB Display		SOURCE 51
A/Vミュート機能のオン/オフ	オン		MUTE ON
	オフ		MUTE OFF

各コマンドの最後に、復帰(CR)コード(0Dh)を追加して送信してください。

詳細はお買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

☛ [『お問い合わせ先』](#)

通信プロトコル

- ボーレート基準速度：9600bps
- データ長：8bit
- パリティ：なし
- ストップビット：1bit
- フロー制御：なし



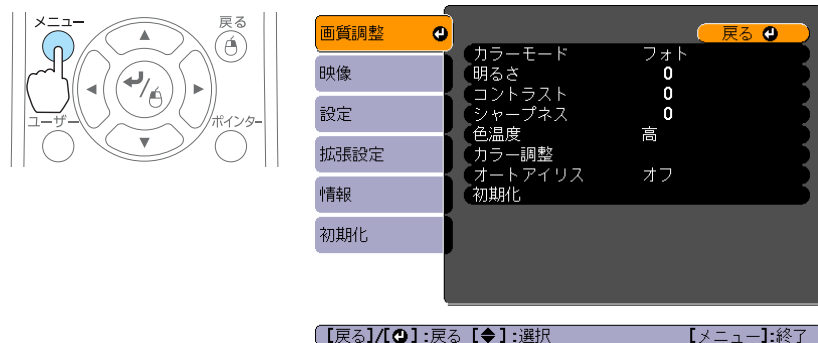
環境設定メニュー

ここでは、環境設定メニューの機能と操作方法について説明しています。

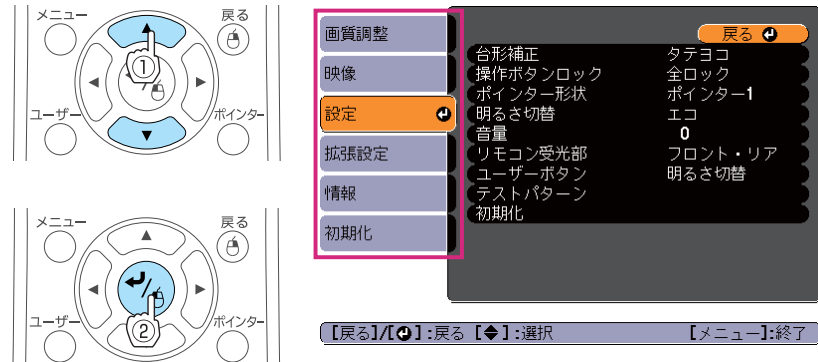
環境設定メニューの操作方法を説明します。

リモコンで操作を行ったときを例に説明していますが、操作パネルでも同様の操作を行えます。使用できるボタンと操作はメニューの下に表示されるガイドでご確認ください。

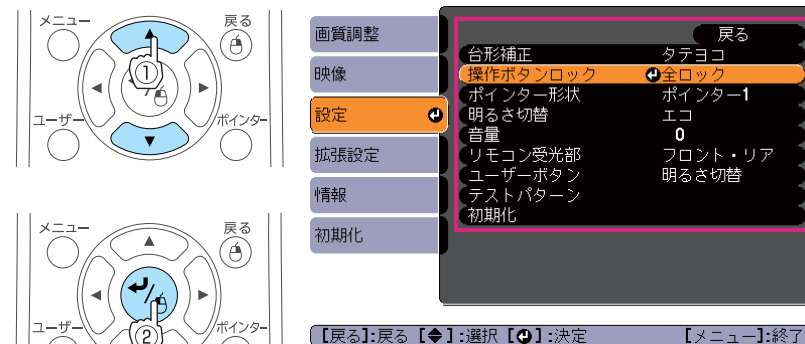
1 環境設定メニュー画面を表示します。



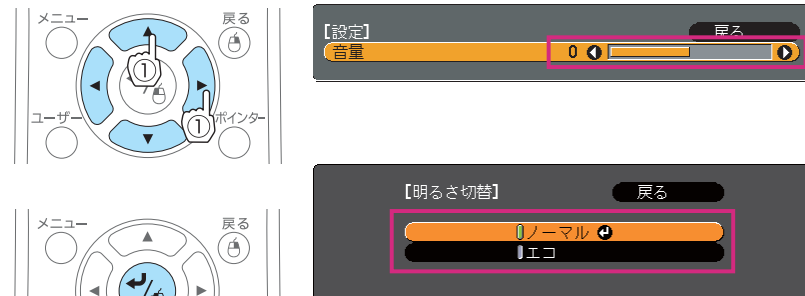
2 トップメニュー項目を選択します。



3 サブメニュー項目を選択します。



4 設定を変更します。



5 【メニュー】ボタンを押して、設定を終了します。

環境設定メニュー一覧

お使いの機種、現在投写している映像信号や入力ソースにより設定できる項目が異なります。

トップメニュー名	サブメニュー名	項目または設定値
画質調整メニュー 🖱️ p.67	カラーモード	ダイナミック、プレゼンテーション、シアター、フォト、スポーツ、sRGB、黒板、ホワイトボード
	明るさ	-24～24
	コントラスト	-24～24
	色の濃さ	-32～32
	色合い	-32～32
	シャープネス	-5～5
	色温度	高、中、低
	カラー調整	赤：-16～16 緑：-16～16 青：-16～16
	オートアイリス	オン、オフ
	オートアイリス	オン、オフ
映像メニュー 🖱️ p.68	自動調整	オン、オフ
	入力解像度	オート、ワイド、ノーマル
	トラッキング	-
	同期	0～31
	表示位置	上、下、左、右
	プログレッシブ変換	オン、オフ、ビデオ、フィルム/オート
	ノイズリダクション	オフ、NR1、NR2
	HDMI ビデオレベル	オート、通常、拡張
	入力信号方式	オート、RGB、コンポーネント

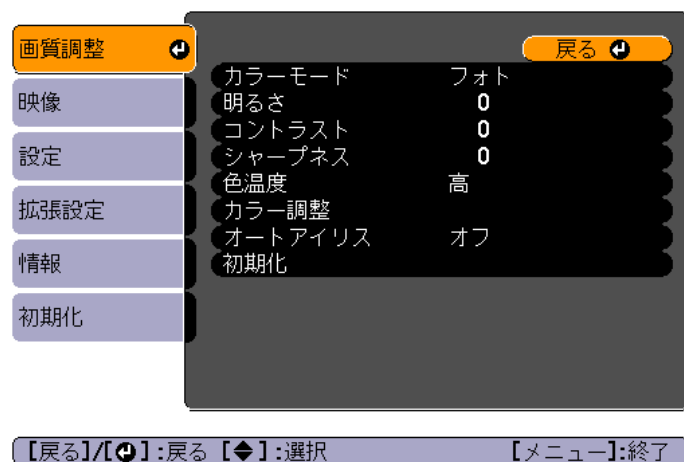
トップメニュー名	サブメニュー名	項目または設定値
	ビデオ信号方式	オート、NTSC、NTSC4.43、PAL、M-PAL、N-PAL、PAL60、SECAM
	アスペクト	ノーマル、オート、4:3、16:9、フル、ズーム、リアル
	オーバースキャン	オート、オフ、4%、8%
設定メニュー 🖱️ p.69	台形補正	タテヨコ、Quick Corner
	ズーム	-
	操作ボタンロック	全ロック、操作ロック、オフ
	ポインター形状	ポインター1、2、3
	明るさ切替	ノーマル、エコ
	音量	0～10
	リモコン受光部	フロント・リア、フロント、リア、オフ
	ユーザーボタン	明るさ切替、情報、プログレッシブ変換、テストパターン、入力解像度
	テストパターン	-
拡張設定メニュー 🖱️ p.71	表示設定	メッセージ表示、背景表示、スタートアップスクリーン、AVミュート
	ユーザーロゴ	-
	設置モード	フロント、フロント・天吊り、リア、リア・天吊り
	動作設定	ダイレクトパワーオン、スリープモード、スリープモード時間、レンズカバータイマー、高地モード
	待機モード	通信オン、通信オフ
	USB Type B	USB Display、Link 21L
	USB Type B	USB Display、Link 21L

トップメニュー名	サブメニュー名	項目または設定値
	言語	15言語
情報メニュー ☛ p.72	ランプ点灯時間	-
	入力ソース	-
	入力信号	-
	入力解像度	-
	ビデオ信号方式	-
	リフレッシュレート	-
	同期情報	-
	ステータス	-
	シリアル番号	-
初期化メニュー ☛ p.73	全初期化	-
	ランプ点灯時間初期化	-

画質調整メニュー

現在投写している映像信号や入力ソースにより設定できる項目が異なります。設定した内容は映像信号ごとに保持されます。

☛ 「入力信号を自動検出して切り替える（入力検出）」 [p.28](#)



サブメニュー	機能
カラーモード	使用シーンに応じて、画質を選択できます。 ☛ 「映り具合を選ぶ（カラーモードの選択）」 p.40
明るさ	映像の明るさを調整します。
コントラスト	映像の明暗の差を調整します。
色の濃さ	映像の色の濃さを調整します。
色合い	（コンポーネントビデオ信号入力時に調整可能。コンポジットビデオ/S-ビデオ信号入力時は、NTSC系の信号入力時のみ調整可能） 映像の色合いを調整します。
シャープネス	映像のシャープ感を調整します。

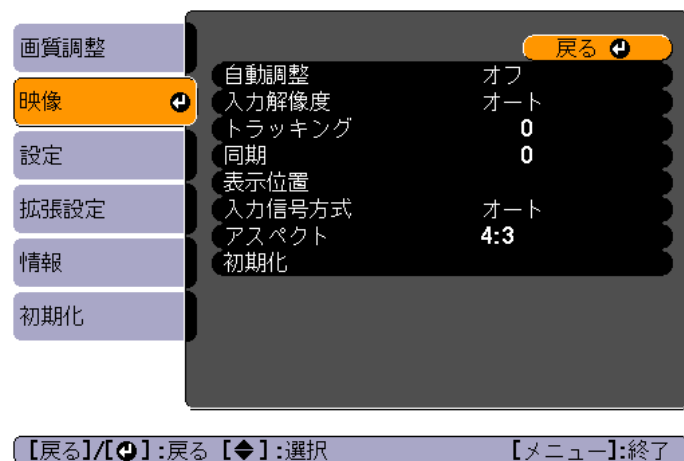
サブメニュー	機能
色温度	（[カラーモード]をsRGB▶に設定しているときは設定不可） 映像全体の色合いを調整します。[高]、[中]、[低]の3段階で調整することができます。[高]を選択すると青みがかった映像になり、[低]を選択すると赤みを帯びた映像になります。
カラー調整	（[カラーモード]をsRGB▶に設定しているときは設定不可） [赤]、[緑]、[青]の色の強さを個別に調整します。
オートアイリス	（[カラーモード]を[ダイナミック]または[シアター]に設定しているときのみ設定可能） [オン]にすると、映像に合わせて最適な光量に調整します。 設定値はカラーモードごとに保存されます。 ☛ 「オートアイリス（自動絞り）を設定する」 p.41
初期化	[画質調整]メニューの調整値を初期値に戻します。全メニュー項目の設定を初期値に戻すときは以下を参照してください。 ☛ 「初期化メニュー」 p.73

映像メニュー

現在投写している映像信号や入力ソースにより設定できる項目が異なります。設定した内容は映像信号ごとに保持されます。

入力ソースがUSB Display/USBのときは映像メニューの設定は行えません。

☛ 「入力信号を自動検出して切り替える（入力検出）」 p.28

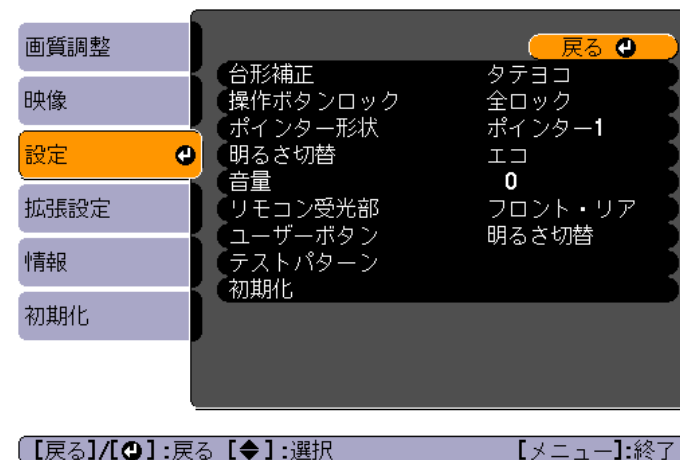


サブメニュー	機能
自動調整	[オン]にすると、入力信号が切り替わったときに、トラッキング・同期・表示位置を最適な状態に自動調整します。
入力解像度	[オート]にすると、入力信号の解像度を自動で判別します。[オート]に設定していて投写映像が欠けるときは、接続しているコンピューターに合わせてワイド画面は[ワイド]に、4:3や5:4画面は[ノーマル]に設定してください。
トラッキング	映像に縦の縞模様が出るときに調整します。
同期	映像にちらつき、ぼやけ、横ノイズが出るときに調整します。

サブメニュー	機能
表示位置	映像の一部が欠けているときに表示位置を上下左右に移動し映像がすべて投写されるように調整します。
プログレッシブ変換	(コンポーネントビデオ/RGBビデオ信号入力時は、480i/576i/1080i信号入力時のみ設定可能。デジタルRGB信号入力時は設定不可。) インターレース▶▶ (i)信号をプログレッシブ▶▶ (p)信号に変換します。(IP変換) - EB-X14/EB-W12/EB-X12の場合 [オフ]: 動きの大きい映像に適しています。 [ビデオ]: 一般のビデオ映像に適しています。 [フィルム/オート]: 映画フィルムやCG、アニメーション映像に適しています。 - EB-S12の場合 [オン]: 静止画に適しています。 [オフ]: 動きの大きい映像に適しています。
ノイズリダクション (EB-X14/EB-W12/EB-X12のみ)	(デジタルRGB信号入力時、またはインターレース信号表示中で[プログレッシブ変換]が[オフ]のときは設定不可) 映像のざらつきを抑えます。モードを2つ用意しています。お好みの設定でご覧ください。DVDなど映像ソースにノイズが少ないときは[オフ]に設定してご覧ください。
HDMIビデオレベル (EB-X14/EB-W12/EB-X12のみ)	本機のHDMI入力端子とDVDプレーヤーなどを接続しているときに、DVDプレーヤーのビデオレベルの設定に合わせて本機のビデオレベルを設定します。
入力信号方式	コンピューター入力端子からの入力信号を選択します。 [オート]にすると、接続機器に応じて自動的に入力信号を設定します。 [オート]に設定していて、色が正しく表示されないときは、接続している機器の信号に応じて適切な信号を選択してください。

サブメニュー	機能
ビデオ信号方式	ビデオ入力端子からの入力信号を選択します。[オート]にすると、ビデオ信号を自動認識します。[オート]に設定していて、映像にノイズが入ったり、映像が映らないなどのトラブルが起きるときは、接続している機器の信号に応じて適切な信号を選択してください。
アスペクト	映像の アスペクト比 ▶を設定します。  「投写映像のアスペクト比を切り替える」 p.41
オーバースキャン	出画率(投写する映像の範囲)を変更します。トリミングする範囲の設定を、[オフ]、[4%]、[8%]のいずれかに変更できます。入力ソースがHDMIのときは[オート]が選択できるようになります(EB-X14/EB-W12/EB-X12のみ)。[オート]を選択すると入力信号に応じて自動的に[オフ]あるいは[8%]に切り替わります。
初期化	[映像]メニューのうち、[入力信号方式]を除くすべての調整値を初期値に戻します。 全メニュー項目の設定を初期値に戻すときは以下を参照してください。  「初期化メニュー」 p.73

設定メニュー



サブメニュー	機能
台形補正	台形にゆがんだ画面を補正します。 • [タテヨコ]選択時： [タテ補正]、[ヨコ補正]を調整して縦・横方向のゆがみを補正します。 また、自動タテ補正とスライド式ヨコ補正の[オン]・[オフ]を設定します。 • [Quick Corner]選択時： 投写映像の4つの角を選んで補正します。  「Quick Corner」 p.35
ズーム (EB-S12のみ)	投写映像のサイズを調整します。
操作ボタンロック	本機操作パネルの操作制限を設定します。  「操作を制限する(操作ボタンロック)」 p.60

サブメニュー	機能
ポインター形状	ポインターの形状を選択します。 ポインター1：  ポインター2：  ポインター3：  ☛「説明箇所を指し示す（ポインター）」 p.52
明るさ切替	ランプの明るさを2段階で切り替えることができます。 暗い部屋で投写したり小さなスクリーンに映す場合に、投写映像が明るすぎるときは[エコ]に設定します。[エコ]で使用すると、投写中の消費電力、ランプ寿命が次のように変わり、ファン回転音も低下します。 消費電力：約17.5%減、ランプ寿命：約1.25倍 高地や高温な場所で本機を使うと、自動的に[エコ]の設定になる場合があります。このとき、[明るさ切替]はグレーアウトされ、変更できません。
音量	音量を調整します。設定した内容は入力ソースごとに保持されます。
リモコン受光部	リモコンからの操作信号の受信を制限します。 [オフ]に設定すると、リモコンからの操作ができなくなります。リモコンから操作したいときは、リモコンの【メニュー】ボタンを15秒以上押して、設定を初期値に戻してください。
ユーザーボタン	リモコンの【ユーザー】ボタンに割り当てる環境設定メニューの項目を選択します。【ユーザー】ボタンを押すと割り当てたメニュー項目の選択/調整画面が直接表示されるのでワンタッチで設定/調整の変更が行えます。【ユーザー】ボタンに割り当てることのできるのは以下の項目です。 [明るさ切替]、[情報]、[プログレッシブ変換]、[テストパターン]、[入力解像度]

サブメニュー	機能
テストパターン	本機を設置する際に、機器を接続せずに投写状態を調整できるようにテストパターンを表示します。テストパターン表示中はズーム調整、フォーカス調整、台形補正が行えます。テストパターンの表示を解除するときは、リモコンまたは操作パネルの【戻る】ボタンを押します。 注意 長時間パターンを表示していると投写映像に残像が残ることがあります。
初期化	[設定]メニューのうち、[ズーム](EB-S12のみ)と[ユーザーボタン]を除くすべての調整値を初期値に戻します。全メニュー項目の設定を初期値に戻すときは以下を参照してください。 ☛「初期化メニュー」 p.73

拡張設定メニュー



サブメニュー	機能
表示設定	本機の表示に関する設定を行います。 [メッセージ表示]：[オフ]に設定すると、次の表示がされなくなります。 入力ソースやカラーモード、アスペクト比を切り替えたときの項目名の表示、映像信号が入力されていないときなどのメッセージの表示、高温警告などの警告表示。 [背景表示]※1：映像信号が入力されていないときなどの画面の状態を[黒]、[青]、[ロゴ]のいずれかで設定します。 [スタートアップスクリーン]※1：[オン]にすると、投写開始時に[ユーザーロゴ]を表示します。 [A/Vミュート]※1：リモコンの【A/Vミュート】ボタンを押したときに表示する画面を[黒]、[青]、[ロゴ]のいずれかで設定します。
ユーザーロゴ※1	背景表示、A/Vミュート時などに表示するユーザーロゴを変更します。 ☛ 「ユーザーロゴの登録」 p.55

サブメニュー	機能
設置モード	本機の設置状態に合わせて次の中から設定します。 [フロント]、[フロント・天吊り]、[リア]、[リア・天吊り] リモコンの【A/Vミュート】ボタンを約5秒間押し続けると、天吊りの設定を次のように切り替えることができます。 [フロント] ↔ [フロント・天吊り] [リア] ↔ [リア・天吊り] ☛ 「いろいろな設置方法」 p.18
動作設定	[ダイレクトパワーオン]：[オン]にすると、電源プラグを差し込むだけで本機の電源が入ります。 停電復旧時などにコンセントに電源プラグが差し込まれた状態になっていると本機の電源がオンになりますので、注意してください。 [スリープモード]：[オン]に設定すると、映像信号が未入力のまま、なにも操作しないときに自動で電源を切ります。 [スリープモード時間]：[スリープモード]を[オン]にしたときに、自動で電源を切るまでの時間を1～30分の範囲で設定します。 [レンズカバータイマー]：[オン]に設定するとレンズカバーを閉めてから約30分後に自動で電源を切ります。 初期値は[オン]に設定されています。 [高地モード]：標高約1500m以上でお使いの場合は[オン]にします。
待機モード	[通信オン]に設定すると、本機がスタンバイ状態のときでも、コンピューターから本機を監視・制御できます。 ☛ 「監視と制御」 p.62
USB Type B	[USB Display]：USBディスプレイが有効になります。 ☛ 「USBディスプレイで投写する」 p.29 [Link 21L]：ESC/VP21コマンドが有効になります。 ☛ 「ESC/VP21コマンド」 p.62
言語	メッセージやメニューに表示する言語を設定します。

サブメニュー	機能
初期化	[拡張設定]メニューのうち、[表示設定]※1、[動作設定]※2の調整値を初期値に戻します。 全メニュー項目の設定を初期値に戻すときは以下を参照してください。 ☛「初期化メニュー」 p.73

※1 [パスワードプロテクト]の[ユーザーロゴ保護]を[オン]にしていると、ユーザーロゴに関する設定の変更はできません。[ユーザーロゴ保護]を[オフ]にしてから設定を変更してください。

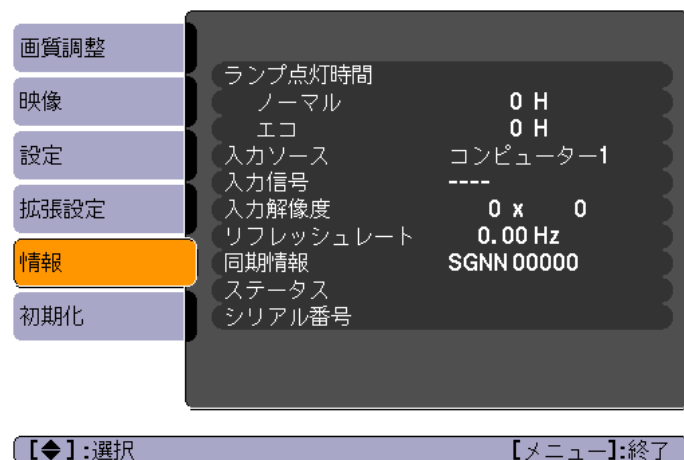
☛「利用者を管理する（パスワードプロテクト）」 p.57

※2 高地モードは除く。

情報メニュー(表示のみ)

投写している映像信号や本機の状態を確認できます。現在投写している入力ソースにより表示される項目が異なります。お使いの機種により対応していない入力ソースもあります。

☛「入力信号を自動検出して切り替える（入力検出）」 p.28



サブメニュー	機能
ランプ点灯時間	ランプの累積使用時間※を表示しています。ランプ寿命警告時間に達すると、文字が黄色に変わります。
入力ソース	現在投写中の機器を接続している入力ソース名を表示しています。
入力信号	[映像]メニューの[入力信号方式]の設定内容を入力ソースに応じて表示しています。
入力解像度	入力解像度を表示しています。
リフレッシュレート	リフレッシュレート▶▶を表示しています。
同期情報	映像信号の情報を表示しています。お問い合わせ時に、この値を確認することがあります。
ビデオ信号方式	[映像]メニューの[ビデオ信号方式]の設定内容を表示しています。
ステータス	本機に発生した異常についての情報です。お問い合わせ時に、この値を確認することがあります。
シリアル番号	本機のシリアル番号を表示します。

※ 累積使用時間が0～10時間までは「0H」と表示されます。10時間以上は「10H」、「11H」と1時間単位で表示されます。

初期化メニュー



サブメニュー	機能
全初期化	環境設定メニューの全項目を初期設定に戻します。 [入力信号方式]、[ユーザーロゴ]、[ランプ点灯時間]、 [言語]、[パスワード]、[ズーム](EB-S12のみ)、[ユー ザーボタン]は初期値に戻りません。
ランプ点灯時間 初期化	ランプ点灯時間の累積をクリアします。ランプを交換し たときに行ってください。



困ったときに

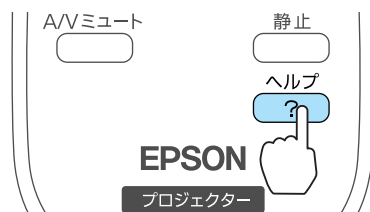
ここでは、想定されるトラブルと、その対処法などについて説明しています。

トラブル発生時の解決方法を投写映像に表示できます。質問に答えていくと適切な状態に設定することもできます。

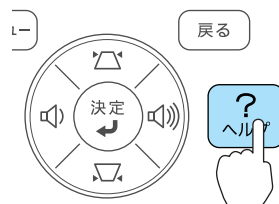
1 【ヘルプ】ボタンを押します。

ヘルプ画面が表示されます。

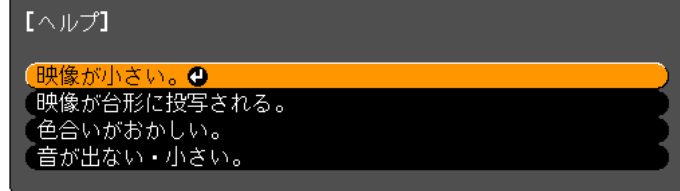
リモコンの場合



操作パネルの場合



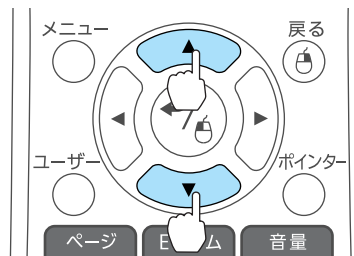
2 項目を選択します。



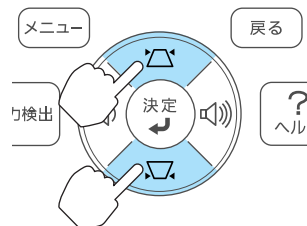
【◆】:選択 【⏏】:決定

【ヘルプ】:終了

リモコンの場合

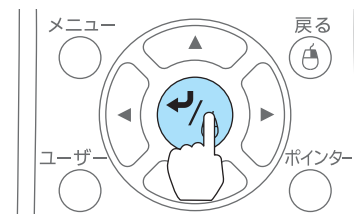


操作パネルの場合

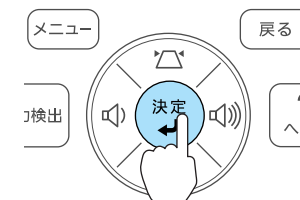


3 項目を決定します。

リモコンの場合

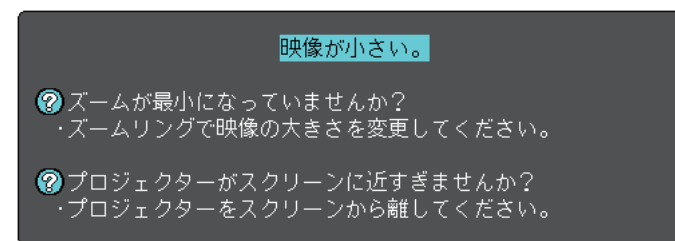


操作パネルの場合



以下の画面のように質問と対処法が表示されます。

【ヘルプ】ボタンを押すとヘルプは解除されます。



【戻る】:戻る

【ヘルプ】:終了



ヘルプ機能を使ってもわからないときは、以下をご覧ください。

☞「故障かなと思ったら」 [p.76](#)

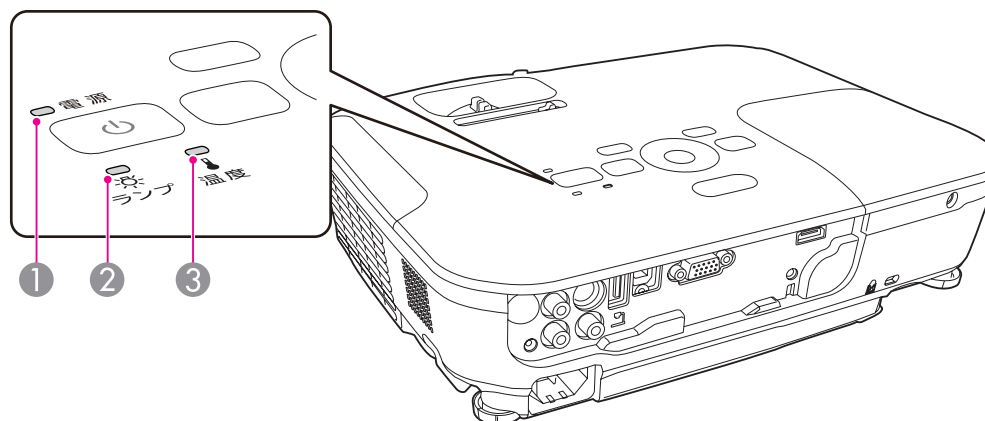
故障かな？と思ったら、まず本機のインジケータをご覧になり下記の「インジケータの見方」で本機の状態をご確認ください。

インジケータをご覧になってもわからないときは、以下をご覧ください。

👉 「インジケータを見てもわからないとき」 [p.79](#)

インジケータの見方

本機には、次の3種類のインジケータがあり本機の状態をお知らせします。



① 電源インジケータ

動作状態をお知らせします。

-  スタンバイ状態
この状態で【⏻】ボタンを押すと投写を開始します。
-  USB通信またはシリアル接続による監視準備中、または、クールダウン中
点滅中はすべてのボタン操作ができません。
-  ウォームアップ中
ウォームアップの時間は約30秒です。ウォームアップ終了後、緑色の点灯に変わります。
ウォームアップ中は【⏻】ボタンを押しても、機能しません。
-  投写中

② ランプインジケータ

ランプの状態をお知らせします。

③ 温度インジケータ

内部温度の状態をお知らせします。

インジケータの状態とその対処方法については、次の表を参照してください。

インジケータがすべて消灯している場合は、電源ケーブルが正しく接続されていないか、または電気が供給されていません。

電源ケーブルを抜いても【】インジケータがしばらく点灯したままになることがあります。故障ではありません。

 : 点灯  : 点滅  : 消灯  : 本機の状態により異なる場合

状態	原因	処置または状態
     	内部異常	ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依頼してください。 ☞『お問い合わせ先』
     	ファン異常 センサー異常	ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依頼してください。 ☞『お問い合わせ先』
     	内部高温異常 (オーバーヒート)	ランプが自動的に消灯し、投写できなくなります。約5分間は、そのままの状態待ちます。約5分後、スタンバイ状態になりますので、次の2点を確認してください。 • エアフィルター・排気口がふさがれていないか、壁際に設置されていないか確認します。 • エアフィルターが目詰まりしているときは、掃除または交換をします。 ☞「エアフィルターの掃除」 p.89, 「エアフィルターの交換」 p.94 上記を確認後もエラーになるとき: ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依頼してください。 ☞『お問い合わせ先』 標高1500m以上の場所でお使いのときは、[高地モード]を[オン]にしてください。 ☞「拡張設定メニュー」 p.71
     	ランプ異常 ランプ点灯失敗	次の2点を確認してください。 • ランプを取り出してランプが割れていないか確認します。 ☞「ランプの交換」 p.90 • エアフィルターを掃除します。 ☞「エアフィルターの掃除」 p.89

状態	原因	処置または状態
		割れていないとき：ランプを再セットして、電源を入れます。 それでもエラーになるとき：新しいランプに交換してから電源を入れます。 それでもエラーになるとき：ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依頼してください。 ☞『お問い合わせ先』
		割れているとき：お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください(ランプを交換しないと映像を投写することはできません)。 ☞『お問い合わせ先』
		標高1500m以上の場所でお使いのときは、[高地モード]を[オン]にしてください。 ☞「拡張設定メニュー」p.71
  	オートアイリス異常 電源系異常	ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依頼してください。 ☞『お問い合わせ先』
  	高温警告	(異常ではありません。ただし、さらに高温になると投写を自動停止します。) - エアフィルター・排気口がふさがれていないか、壁際に設置されていないか確認してください。 - エアフィルターが目詰まりしている場合は、掃除または交換をしてください。 ☞「エアフィルターの掃除」p.89、「エアフィルターの交換」p.94
  	ランプ交換勧告	新しいランプに交換してください。 ☞「ランプの交換」p.90 交換時期を超えて使い続けると、ランプが破裂する可能性が一段と高くなります。すみやかに新しいランプと交換してください。



- インジケータは異常を示してないのに、投写映像が異常のときは、以下をご覧ください。
- ☞「インジケータを見てもわからないとき」[p.79](#)
- 各インジケータがこの表にない状態のときは、ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依頼してください。
- ☞『お問い合わせ先』

インジケータを見てもわからないとき

まず、下記をご覧になりどのトラブルに該当するかを確認し、参照先で詳細な内容をご覧ください。

映像に関するトラブル

• 映像が表示されない 投写を開始しない・真っ黒の映像になる・青い映像になる	 p.80
• 動画が表示されない コンピューターで再生する動画が黒くなり映像が投写されない。	 p.81
• 自動的に投写が消える	 p.81
• 「この信号は本プロジェクターでは受けられません。」と表示される	 p.81
• 「映像信号が入力されていません。」と表示される	 p.81
• ぼやける、ピントが合わない、ゆがむ	 p.82
• ノイズが入る、乱れる	 p.83
• 映像が切れる(大きい)、小さい、アスペクト比が合っていない 映像の一部分しか投写されない、映像の縦横の比率が正しくない	 p.83
• 色合いが違う 全体が赤紫がかっている・緑色がかっている・モノクロになる・色がくすむ	 p.84
• 暗い	 p.85

投写開始時のトラブル

• 電源が入らない	 p.85
-----------	--

その他のトラブル

• 音が出ない・小さすぎる	 p.86
---------------	--

• リモコンで操作できない	 p.86
• メッセージやメニューの言語を変更したい	 p.87
• スライドショーで画像ファイル名が正しく表示されない	 p.87

映像に関するトラブル

映像が表示されない

確認	対処法
【 ⏻ 】ボタンを押しましたか？	【 ⏻ 】ボタンを押して電源を入れます。
インジケーターがすべて消灯していませんか？	電源ケーブルが正しく接続されていない、または電気が供給されていません。 本機に電源ケーブルを正しく接続してください。 ☛「設置から投写までの流れ」 p.27 または、電気が供給されるようにブレーカーなどを確認してください。
A/Vミュートの状態になっていませんか？	リモコンの【A/Vミュート】ボタンを押してA/Vミュートを解除します。 ☛「映像と音声を一時的に消す（A/Vミュート）」 p.51
レンズカバーが閉じていませんか？	レンズカバーを開けます。 ☛「前面/上面」 p.10
環境設定メニューの設定で間違っているものはありませんか？	全初期化してみてください。 ☛「[初期化] - [全初期化]」 p.73
入力映像そのものが真っ黒になっていませんか？ （コンピューター投写時のみ）	スクリーンセーバーなどで入力映像が真っ黒になっていることがあります。
映像の信号形式の設定は合っていますか？ （ビデオ機器投写時のみ）	接続している機器の信号に応じて適切な設定にします。 ☛「[映像] - [ビデオ信号方式]」 p.68
USBケーブルが正しく接続されていますか？ （USBディスプレイ投写時のみ）	USBケーブルが正しく接続されているかを確認します。接続されていなかったり間違っていて接続されているときは、接続し直します。
Windows Media Centerを全画面表示にしていますか？ （USBディスプレイ投写時のみ）	Windows Media Centerを全画面で表示すると、USBディスプレイで投写できません。縮小画面表示にしてください。
WindowsのDirectX機能を使用するアプリケーションを表示していませんか？ （USBディスプレイ投写時のみ）	WindowsのDirectX機能を使用するアプリケーションは、正しく表示されない可能性があります。

動画が表示されない(動画の部分だけが黒くなる)

確認	対処法
コンピュータ映像信号が外部と液晶画面の両方に出力されていませんか？ (ノートや液晶一体型タイプのコンピュータ投写時のみ)	コンピュータ側の映像信号を外部のみの出力に切り替えます。コンピュータに添付の取扱説明書、あるいはお使いのコンピュータのメーカーにお問い合わせください。

自動的に投写が消える

確認	対処法
[スリープモード]を[オン]にしていますか？	【⏻】ボタンを押して電源を入れます。スリープモードを働かせないときは設定を[オフ]にしてください。 ☛ [拡張設定] - [動作設定] - [スリープモード] p.71

「この信号は本プロジェクターでは受けられません。」と表示される

確認	対処法
映像の信号形式の設定は合っていますか？ (ビデオ機器投写時のみ)	接続している機器の信号に応じて適切な設定にします。 ☛ [映像] - [ビデオ信号方式] p.68
映像信号の解像度やリフレッシュレートが対応するモードですか？ (コンピュータ投写時のみ)	コンピュータから出力されている映像信号の解像度・リフレッシュレートの変更は、コンピュータの取扱説明書などでご確認ください。 ☛ 「対応解像度一覧」 p.102

「映像信号が入力されていません。」と表示される

確認	対処法
ケーブル類が正しく接続されていますか？	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。 ☛ 「設置から投写までの流れ」 p.27
接続した入力端子を正しく選択していますか？	リモコンか操作パネルの【入力検出】ボタンを押して映像を切り替えます。 ☛ 「入力信号を自動検出して切り替える (入力検出)」 p.28
接続されたコンピュータやビデオ機器の電源は入っていますか？	それぞれの機器の電源を入れます。

確認	対処法
プロジェクターに映像信号が出力されていますか？ (ノートや液晶一体型タイプのコンピューター投写時のみ)	映像信号がコンピューターの液晶モニターや付属モニターにだけ出力されている場合は、外部にも出力するように切り替えてください。外部に映像信号を出力すると、液晶モニターや付属モニターに映像が出せないモデルもあります。 本機やコンピューターの電源を入れた状態で接続を行うと、コンピューターの映像信号を外部に切り替えるFnキー(ファンクションキー)が働かないことがあります。本機およびコンピューターの電源を入れ直してください。 ☛ 「設置から投写までの流れ」 p.27 ☛ コンピューターの取扱説明書など

ぼやける、ピントが合わない、ゆがむ

確認	対処法
[自動タテ補正]を[オフ]に設定していませんか？	[オン]に設定すると自動タテ補正が機能します。 ☛ [設定]-[台形補正]-[タテヨコ]-[自動タテ補正] p.69 オフのまま使用する場合は、手動で投写映像を調整してください。 ☛ 「手動で補正する」 p.34
ピントは正しく調整されていますか？	フォーカスリングでピントを合わせます。 ☛ 「ピントのズレを補正する」 p.39
投写距離は最適ですか？	投写距離の推奨範囲を外れていませんか？ 推奨範囲内で設置してください。 ☛ 「スクリーンサイズと投写距離」 p.98
台形補正の調整値を大きくしていませんか？	投写角度を小さくして台形補正の調整値を小さくしてください。 ☛ 「映像の高さを調整する」 p.38
レンズが結露していませんか？	寒い部屋から急に暖かい部屋に持ち込んだり急激に暖房したときなど、レンズの表面が結露して映像がぼやけることがあります。お使いになる1時間くらい前に使用する部屋に本機を設置するようにします。結露してしまったときは、電源を切ってしばらくそのまま放置してください。

ノイズが入る、乱れる

確認	対処法
映像の信号形式の設定は合っていますか？ (ビデオ機器投写時のみ)	接続している機器の信号に応じて適切な設定にします。 ☛ [映像] - [ビデオ信号方式] p.68
ケーブル類は正しく接続されていますか？	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。 ☛ 「接続する」 p.21
ケーブルを延長していませんか？	ケーブルを延長するとノイズが入ることがあります。同梱のケーブルを接続して確認してください。
解像度の選択は正しいですか？ (コンピューター投写時のみ)	本機に対応する信号にコンピューターを合わせてください。 ☛ 「対応解像度一覧」 p.102 ☛ コンピューターの取扱説明書など
同期▶・トラッキング▶は正しく調整されていますか？ (コンピューター投写時のみ)	リモコンの【自動調整】ボタンまたは操作パネルの【↶】ボタンを押して、自動調整を行います。自動調整を行っても調整しきれないときは、環境設定メニューから調整することもできます。 ☛ [映像] - [トラッキング]、[同期] p.68
[レイヤードウィンドウの転送]にチェックマークが入っていませんか？ (USBディスプレイ投写時のみ)	コンピューターで[すべてのプログラム] - [EPSON Projector] - [Epson USB Display] - [Epson USB Display Vx.xx の設定]の順にクリックして、[レイヤードウィンドウの転送]のチェックを外します。

映像が切れる(大きい)、小さい、アスペクトが合っていない

確認	対処法
ワイドパネルのコンピューター映像を投写していますか？ (コンピューター投写時のみ)	接続している機器の信号に応じて適切な設定にします。 ☛ [映像] - [入力解像度] p.68
Eズームで拡大したままになっていませんか？	リモコンの【戻る】ボタンを押してEズーム機能を解除します。 ☛ 「映像を部分的に拡大する (Eズーム)」 p.53
表示位置は正しく調整されていますか？	(コンピューター入力端子から入力しているアナログRGB信号の投写時のみ) リモコンの【自動調整】ボタンまたは操作パネルの【↶】ボタンを押して、表示位置を調整します。 表示位置は環境設定メニューからも調整できます。 ☛ [映像] - [表示位置] p.68

確認	対処法
デュアルディスプレイの設定をしていませんか？ (コンピューター投写時のみ)	接続しているコンピューターのコントロールパネルの[画面のプロパティ]でデュアルディスプレイの設定をしていると、コンピューター画面の映像が半分くらいしか投写されません。コンピューター画面の映像をすべて投写するときは、デュアルディスプレイの設定を解除します。 ☛ コンピューターのビデオドライバーの取扱説明書
解像度の選択は正しいですか？ (コンピューター投写時のみ)	本機に対応する信号にコンピューターを合わせてください。 ☛ 「対応解像度一覧」 p.102 ☛ コンピューターの取扱説明書など

色合いが違う

確認	対処法
入力信号の設定が接続機器の信号と合っていますか？	以下のとおり接続している機器の信号に応じて適切な設定にします。 • コンピューター入力端子に接続した機器の映像のとき ☛ [映像] - [入力信号方式] p.68 • ビデオ/S-ビデオ入力端子に接続した機器の映像のとき ☛ [映像] - [ビデオ信号方式] p.68
映像の明るさは正しく調整されていますか？	環境設定メニューの[明るさ]を調整してください。 ☛ [画質調整] - [明るさ] p.67
ケーブル類が正しく接続されていますか？	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。 ☛ 「接続する」 p.21
<u>コントラスト</u> ▶▶は正しく調整されていますか？	環境設定メニューの[コントラスト]を調整してください。 ☛ [画質調整] - [コントラスト] p.67
適切なカラー調整に設定されていますか？	環境設定メニューの[カラー調整]を調整してください。 ☛ [画質調整] - [カラー調整] p.67
色の濃さ、色合いは正しく調整されていますか？ (ビデオ機器投写時のみ)	環境設定メニューの[色の濃さ]、[色合い]を調整してください。 ☛ [画質調整] - [色の濃さ]、[色合い] p.67

暗い

確認	対処法
映像の明るさは正しく設定されていますか？	環境設定メニューから[明るさ]や[明るさ切替]を設定してください。 ☛ [画質調整] - [明るさ] p.67 ☛ [設定] - [明るさ切替] p.69
<u>コントラスト</u> ▶▶は正しく調整されていますか？	環境設定メニューから[コントラスト]を調整してください。 ☛ [画質調整] - [コントラスト] p.67
ランプの交換時期ではありませんか？	ランプの交換時期が近づくと映像が暗くなったり、色合いが悪くなります。新しいランプと交換してください。 ☛ 「ランプの交換」 p.90
高地や高温な場所で本機を使っていますか？	高地や高温な場所で本機を使うと、明るさ切替の設定が自動的に[エコ]になり、画面が暗くなる場合があります。この明るさの設定は変更できません。

投写開始時のトラブル

電源が入らない

確認	対処法
【⏻】ボタンを押しましたか？	【⏻】ボタンを押して電源を入れます。
インジケーターがすべて消灯していませんか？	電源ケーブルが正しく接続されていない、または電気が供給されていません。 電源ケーブルを抜いて差し直してください。 ☛ 「設置から投写までの流れ」 p.27 または、電気が供給されるようにブレーカーなどを確認してください。
電源ケーブルを触ると、インジケーターが点いたり消えたりしませんか？	電源ケーブルが接触不良を起こしているか、電源ケーブルが故障している可能性があります。電源ケーブルを差し直してください。それでも直らないときは、ご使用をやめ電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。 ☛ 『お問い合わせ先』
[操作ボタンロック]が[全ロック]になっていませんか？	リモコンの【⏻】ボタンを押します。[操作ボタンロック]を働かせないときは設定を[オフ]にしてください。 ☛ [設定] - [操作ボタンロック] p.69

確認	対処法
リモコン受光部の設定は正しいですか？	環境設定メニューの[リモコン受光部]の設定を確認してください。 ☛ [設定] - [リモコン受光部] p.69

その他のトラブル

音が出ない・小さすぎる

確認	対処法
オーディオケーブルは正しく接続されていますか？	音声入力端子からケーブルを抜いて差し直してください。
音量調整が最小になっていませんか？	聞こえる音量に調整してください。 ☛ [設定]-[音量] p.69 ☛ 「音量を調整する」 p.39
A/Vミュートの状態になっていませんか？	リモコンの【A/Vミュート】ボタンを押してA/Vミュートを解除します。 ☛ 「映像と音声を一時的に消す（A/Vミュート）」 p.51
オーディオケーブルの仕様は「抵抗なし」となっていますか？	市販のオーディオケーブルを使う場合は「抵抗なし」と表記されているものをお使いください。
HDMIケーブルで接続していますか？ (EB-X14/EB-W12/EB-X12のみ)	HDMIケーブルで接続していて音が出ないときは、接続先の機器の設定をPCM出力にしてください。
[音声をプロジェクターで出力する]にチェックマークが入っていますか？ (USBディスプレイ投写時のみ)	コンピューターで[すべてのプログラム] - [EPSON Projector] - [Epson USB Display] - [Epson USB Display Vx.xx の設定]で、[音声をプロジェクターで出力する]にチェックを入れます。

リモコンで操作できない

確認	対処法
リモコンの発光部を本機のリモコン受光部に向けて操作していますか？	リモコン受光部に向かって操作してください。 ☛ 「リモコンの操作可能範囲」 p.16
本機から離れすぎていませんか？	操作可能距離は、約6mです。 ☛ 「リモコンの操作可能範囲」 p.16

確認	対処法
リモコン受光部に直射日光や蛍光灯の強い光が当たっていませんか？	強い光などがリモコン受光部に当たる場所を避けて設置してください。または、環境設定メニューの[リモコン受光部]で光の影響を受けている方の受光部を[オフ]にしてください。 ☛ [設定] - [リモコン受光部] p.69
[リモコン受光部]の設定は正しいですか？	環境設定メニューの[リモコン受光部]の設定を確認してください。 ☛ [設定] - [リモコン受光部] p.69
乾電池が消耗していたり、乾電池の向きを間違えてセットしていませんか？	新しい乾電池を正しい向きにセットします。 ☛ 「リモコンの電池交換」 p.16

メッセージやメニューの言語を変更したい

確認	対処法
言語の設定を変更します。	環境設定メニューの言語で目的の言語を選択してください。 ☛ [拡張設定] - [言語] p.71

スライドショーで画像ファイル名が正しく表示されない

確認	対処法
ファイル名が長すぎませんか？	ファイル名に使用できる文字数は8文字までです。それより長いファイル名は、後半を省略して表示します。
ファイル名に2バイト文字が使われていませんか？	ファイル名に使用できる文字は英数字と記号のみです。それ以外の文字は「?」に置き換えて表示します。



メンテナンス

ここでは、メンテナンス方法など、本機を今後も長くお使いいただくための補足的な知識について説明しています。

本機が汚れたり、映像の映りが悪くなったら掃除をしてください。

注意

掃除をするときは、本機の電源をオフにしてから行ってください。

本機の掃除

本機の汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。

汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布をひたしてかたくしぼり、軽くふき取ってから乾いた布で仕上げてください。

注意

ワックス、ベンジン、シンナーなど揮発性のものは使わないでください。ケースが変質、変色することがあります。

レンズの掃除

レンズの汚れは、市販のメガネ拭きなどで軽くふき取ってください。

警告

レンズに付着したゴミ・ホコリの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。本機内部ではランプが高温になっているため、引火による火災の原因となります。

注意

レンズの表面は傷つきやすいので、かたいものでこすったり、たたいたりしないでください。

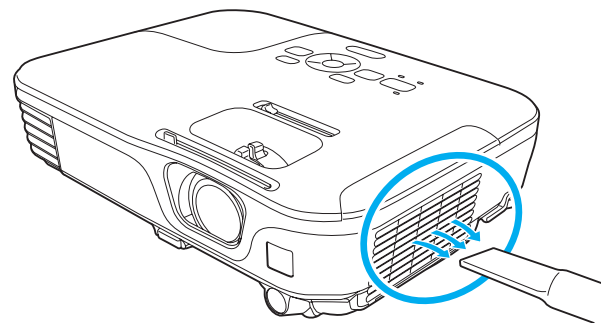
エアフィルターの掃除

下記のメッセージが表示されたらエアフィルターや吸気口の掃除をしてください。

「内部温度が上昇しています。吸排気口付近の障害物を取り除き、エアフィルターの掃除、または交換をしてください。」

注意

- エアフィルターにホコリがたまると、本機内部の温度が上昇して故障や光学部品の早期劣化の原因となります。メッセージが表示されたらすみやかにエアフィルターを掃除してください。
- エアフィルターは水洗いできません。洗剤や溶剤も使わないでください。



- 掃除をしても頻繁にメッセージが表示される場合は交換時期です。新しいエアフィルターに交換してください。
 ➡「エアフィルターの交換」 p.94
- 約3ヶ月に一度は掃除を行うことをお奨めします。ホコリの多い環境でお使いの場合は、より短い周期で掃除を行ってください。

ここでは、ランプ、エアフィルターの交換方法について説明します。

ランプの交換

ランプの交換時期

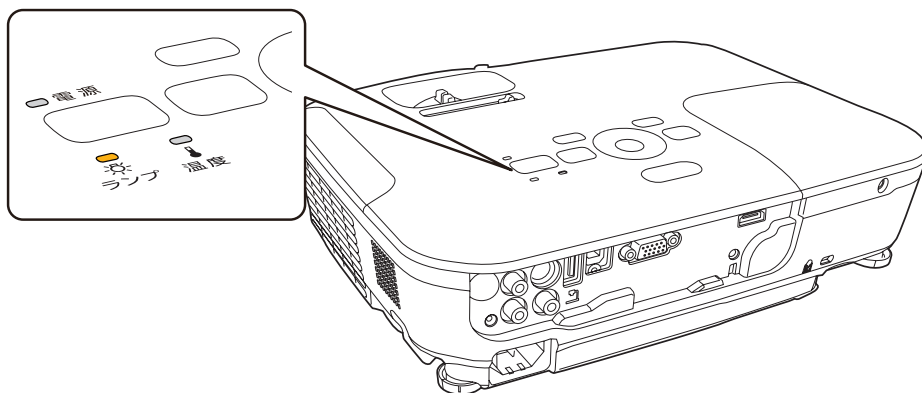
次の場合は、ランプを交換してください。

- 以下のメッセージが表示されたとき
「ランプの交換時期です。交換用ランプの情報につきましては取扱販売店にお問い合わせいただくか、www.epson.jpをご覧ください。」



メッセージは30秒経過すると消えます。

- ランプインジケータがオレンジ色に点滅したとき



- 初期に比べ、明るさや画質が落ちたとき

注意

- 交換メッセージは、初期の明るさや画質を維持するため、次の時間に表示されます。
[明るさ切替]：[ノーマル]で使い続けた場合：約3900時間
[明るさ切替]：[エコ]で使い続けた場合：約4900時間
☛ [設定]-[明るさ切替] [p.69](#)
- 交換時期を超えて使い続けると、ランプが破裂する可能性が一段と高くなります。ランプ交換のメッセージが表示されたら、まだランプが点灯する状態でも、すみやかに新しいランプと交換してください。
- 電源オフ直後に電源をオンにする操作を繰り返さないでください。頻繁に電源オフ/オンを繰り返すと、ランプ寿命が短くなるおそれがあります。
- 個々のランプの特性や使用条件などで、メッセージが表示される前に暗くなったり、点灯しなくなるものがあります。交換用ランプをあらかじめ準備しておくことをお勧めします。

ランプの交換方法

本機は天吊り設置したままでもランプの交換ができます。

警告

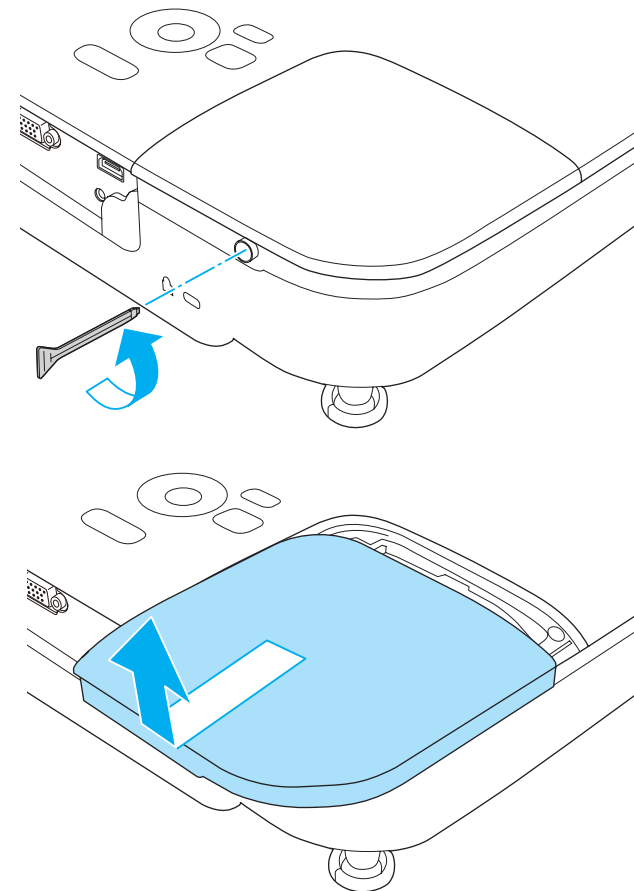
- ランプが点灯しなくなり交換するときは、ランプが割れている可能性があります。本機を天吊り設置していてランプ交換を行うときは、ランプが割れていることを想定しランプカバーの真下に立たずに横から作業してください。また、ランプカバーをそっと取り外してください。
- ランプの分解・改造は、絶対にしないでください。分解・改造したランプをセットして本機を使用すると、火災・感電・事故の原因となります。

注意

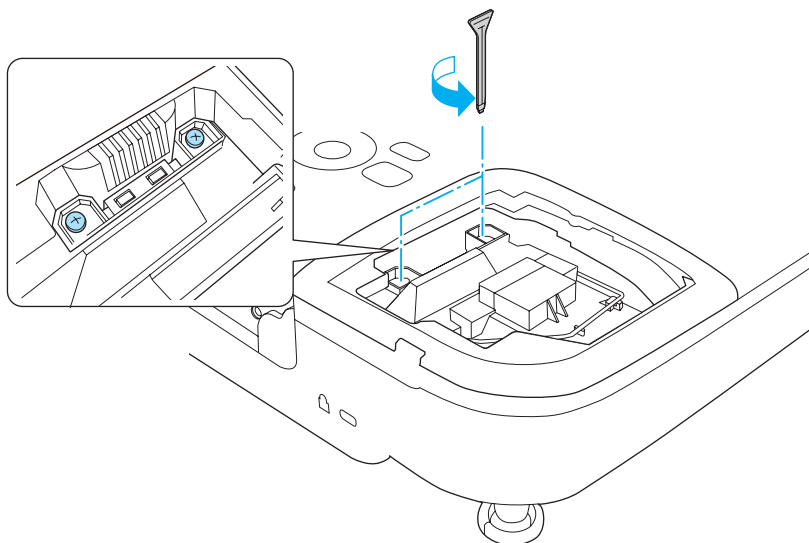
ランプが十分冷えてからランプカバーを外してください。熱で、やけど・けがの原因となることがあります。ランプが十分冷えるには、電源を切ってから約1時間必要です。

- 1 本機の電源を切り、「ピッピッ」と終了音が鳴ってから電源ケーブルを外します。

- 2 ランプが十分冷えてから、本機上面のランプカバーを外します。ランプカバーの固定ネジを交換用ランプに同梱のドライバー、または+のドライバーでゆるめます。ランプカバーをまっすぐスライドさせて、持ち上げて外します。



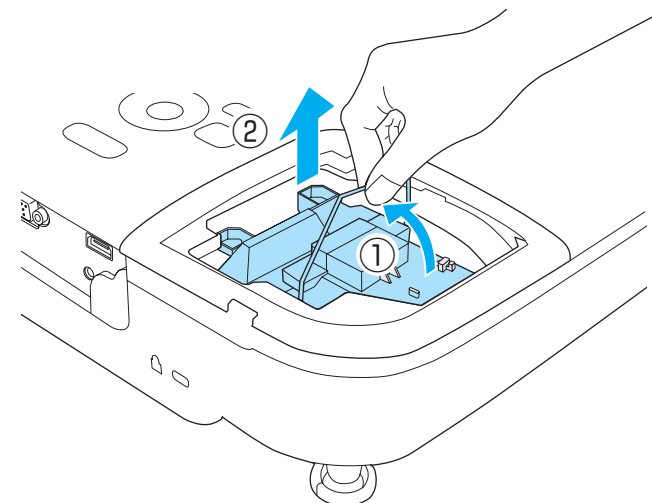
3 ランプ固定ネジ2本をゆるめます。



4 古いランプを取っ手をつまんで取り出します。

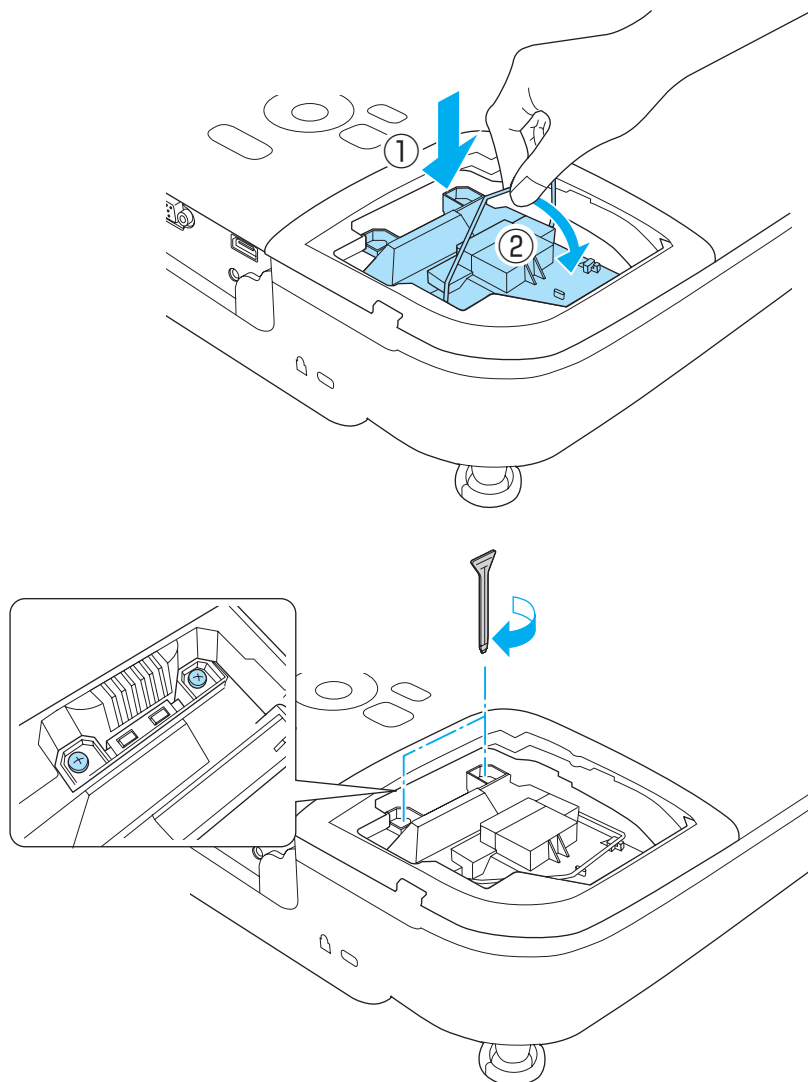
ランプが割れているときは、お買い上げの販売店または「お問い合わせ先」に記載の連絡先にご相談ください。

☎ [『お問い合わせ先』](#)

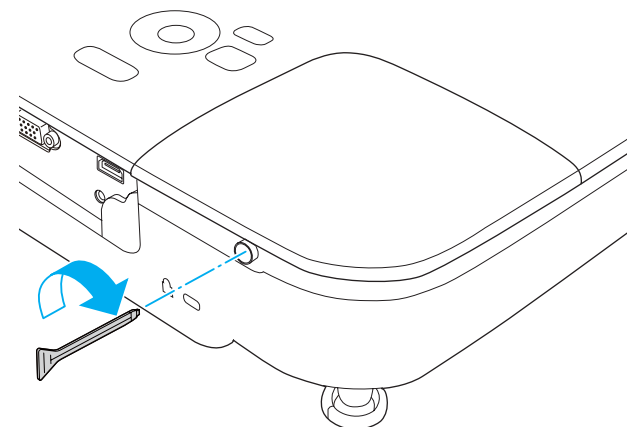


5 新しいランプを取り付けます。

ランプを収納部の形に合う向きでガイドレールに沿って入れ、しっかりと押し込み、ランプ固定ネジ2本を締めます。



6 ランプカバーを取り付けます。



注意

- ランプは確実に取り付けてください。本機は安全のため、ランプカバーを外すと自動的に電源がオフになります。ランプやランプカバーの取り付けが不十分だと電源が入りません。
- ランプには水銀が含まれています。使用済みのランプは、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。会社等でお使いのときは、会社の廃棄ルールに従ってください。

ランプ点灯時間の初期化

本機はランプ点灯時間を記憶し、累計が交換時間に達するとメッセージやインジケーターでお知らせします。ランプ交換を実施した後は、初期化メニューでランプ点灯時間の累計を初期化してください。

☛ [初期化]-[ランプ点灯時間初期化] [p.73](#)



ランプ点灯時間の初期化は、ランプを交換したとき以外には行わないでください。ランプの交換時期が正しく表示されなくなります。

エアフィルターの交換

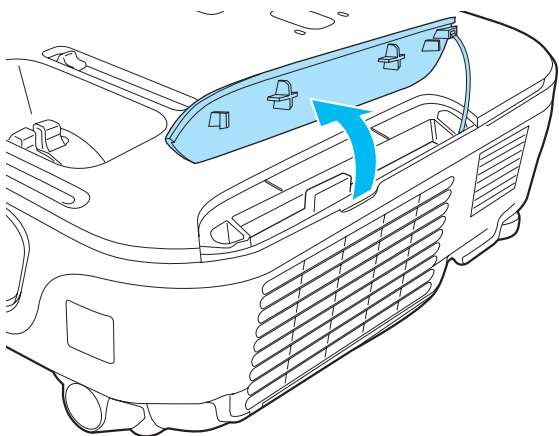
エアフィルターの交換時期

エアフィルターの掃除をしても頻繁にメッセージが表示される場合は、エアフィルターを交換してください。

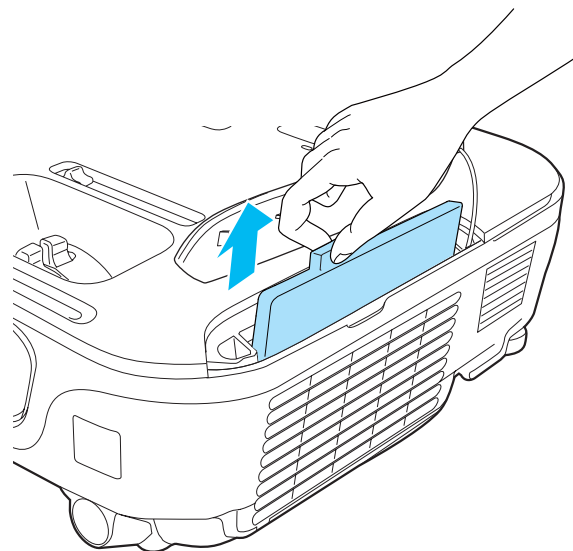
エアフィルターの交換方法

本機は天吊り設置したままでもエアフィルターの交換ができます。

- 1** 本機の電源を切り、「ピッピッ」と終了音が鳴ってから電源ケーブルを外します。
- 2** エアフィルターカバーを開けます。

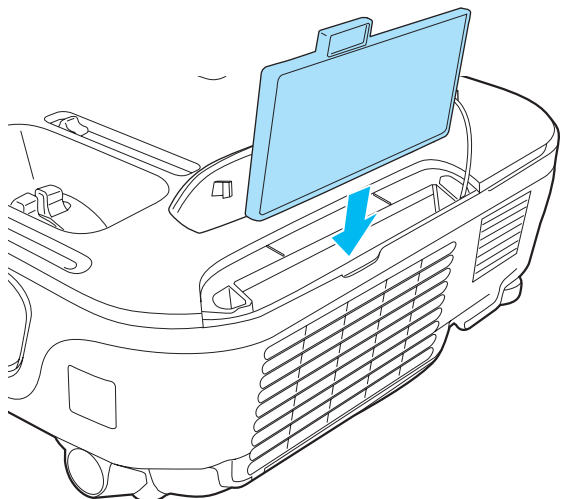


- 3** エアフィルターを取り外します。
エアフィルターのタブに指をかけて、まっすぐ引き出します。



4 新しいエアフィルターを取り付けます。

外側からエアフィルターをスライドさせて差し込み、カチッと音がするまで押し込みます。



5 エアフィルターカバーを閉めます。



使用済みのエアフィルターは、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。会社等でお使いのときは、会社の廃棄ルールに従ってください。

フィルター枠：ABS

フィルター：ポリウレタンフォーム



付録

下記のオプション・消耗品を用意しています。用途に合わせてお買い求めください。これらのオプション類は2011年5月現在のものです。予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

オプション

インタラクティブユニット ELP IU02

投写面上でコンピューター画面の操作をするときに使います。

書画カメラ ELPDC06/ELPDC11

書籍やOHP原稿、スライドを投写するときなどに使います。

携帯スクリーン(50型) ELPSC32

持ち運びに便利なコンパクトスクリーンです。(アスペクト比▶▶4:3)

60型スクリーン ELPSC27

80型スクリーン ELPSC28

100型スクリーン ELPSC29

携帯型ロールスクリーンです。(アスペクト比4:3)

70型スクリーン ELPSC23

80型スクリーン ELPSC24

90型スクリーン ELPSC25

携帯型ロールスクリーンです。(アスペクト比16:10)

53型スクリーン ELPSC30

64型スクリーン ELPSC31

携帯型マグネットスクリーンです。(アスペクト比4:3)

コンピューターケーブル ELPKC02

(ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin用1.8m)

コンピューターケーブル ELPKC09

(ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin用 3m)

コンピューターケーブル ELPKC10

(ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin用 20m)

D端子ケーブル ELPKC22

(ミニD-Sub 15pin/D端子用 3m)

映像機器のD端子と接続するときに使います。

コンポーネントビデオケーブル ELPKC19

(ミニD-Sub 15pin/RCAオス×3用 3m)

コンポーネントビデオ▶▶を投写するときに使います。

パイプ450(450mm)※ ELPFP13

パイプ700(700mm)※ ELPFP14

高天井および化粧天井に取り付けるときに使います。

天吊り金具※ ELPMB23

本機を天井に取り付けるときに使います。

※ 天吊り設置には特別な技術が必要となります。お買い求めいただいた販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

☞ [『お問い合わせ先』](#)

消耗品

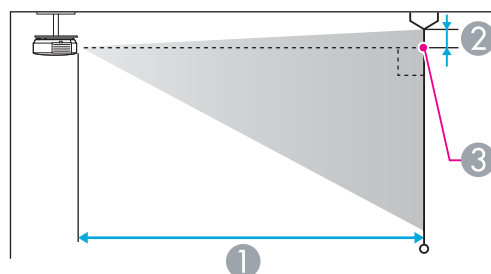
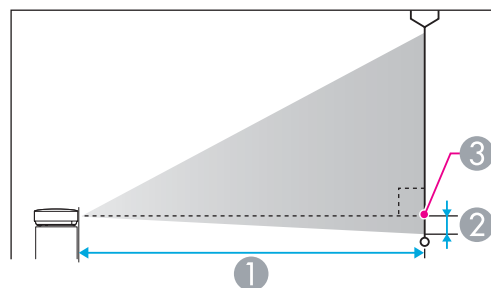
交換用ランプ ELPLP67

使用済みランプと交換します。

エアフィルター ELPAF32

使用済みエアフィルターと交換します。

EB-W12の投写距離表



- ① 投写距離
- ② レンズ中心からスクリーン下端
(天吊りの場合はスクリーン上端)までの高さ
- ③ レンズ中心

単位：cm

4:3スクリーンサイズ		① 最短(ワイド)～最長(テレ)	②
30型	61x46	94 ~ 113	-7
40型	81x61	126 ~ 152	-9
50型	100x76	158 ~ 190	-11

4:3スクリーンサイズ		① 最短(ワイド)～最長(テレ)	②
60型	120x91	190 ~ 229	-13
70型	142x107	222 ~ 267	-15
80型	160x120	255 ~ 306	-17
100型	200x150	319 ~ 383	-22
150型	300x230	480 ~ 577	-33
200型	410x300	641 ~ 770	-44
280型	570x430	898 ~ 1079	-61

単位：cm

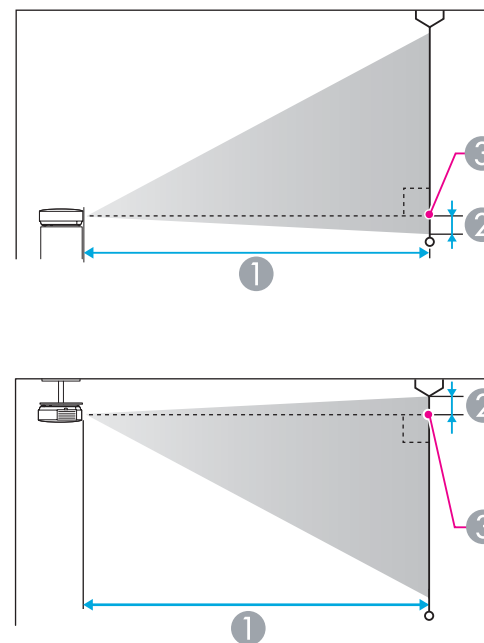
16:9スクリーンサイズ		① 最短(ワイド)～最長(テレ)	②
35型	78x44	99 ~ 120	-4
40型	89x50	114 ~ 137	-5
50型	110x62	143 ~ 172	-6
60型	130x75	172 ~ 208	-8
70型	155x87	202 ~ 243	-9
80型	180x100	231 ~ 278	-10
100型	220x120	289 ~ 348	-13
150型	330x190	435 ~ 523	-19
200型	440x250	582 ~ 699	-26
310型	690x390	903 ~ 1084	-40

単位：cm

16:10スクリーンサイズ		① 最短(ワイド)～最長(テレ)	②
35型	76x47	97 ~ 117	-7

16:10スクリーンサイズ		① 最短(ワイド)～最長(テレ)	②
40型	86x54	111 ~ 134	-8
50型	110x67	139 ~ 168	-10
60型	130x81	168 ~ 202	-12
80型	170x110	225 ~ 270	-15
100型	220x130	281 ~ 338	-19
150型	320x200	424 ~ 509	-29
200型	430x270	566 ~ 680	-38
320型	690x430	907 ~ 1089	-62

EB-X14/EB-X12の投写距離表



- ① 投写距離
- ② レンズ中心からスクリーン下端
(天吊りの場合はスクリーン上端)までの高さ
- ③ レンズ中心

単位：cm

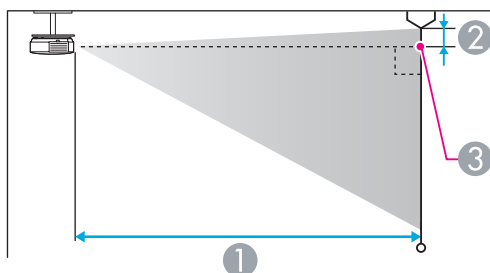
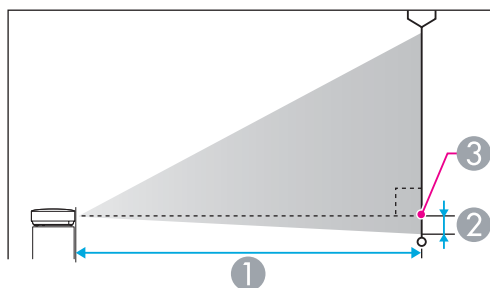
4:3スクリーンサイズ		① 最短(ワイド)～最長(テレ)	②
30型	61x46	89 ~ 107	-5
40型	81x61	119 ~ 143	-7
50型	100x76	150 ~ 180	-8

4:3スクリーンサイズ		①	②
		最短(ワイド)～最長(テレ)	
60型	120x91	180 ～ 217	-10
80型	160x120	241 ～ 290	-14
100型	200x150	302 ～ 363	-17
150型	300x230	454 ～ 546	-25
200型	410x300	607 ～ 729	-34
250型	510x380	759 ～ 912	-42
300型	610x460	912 ～ 1095	-51

単位：cm

16:9スクリーンサイズ		①	②
		最短(ワイド)～最長(テレ)	
30型	66x37	97 ～ 117	1
40型	89x50	130 ～ 156	1
50型	110x62	163 ～ 196	1
60型	130x75	196 ～ 236	1
80型	180x100	263 ～ 316	2
100型	220x120	329 ～ 396	2
150型	330x190	495 ～ 595	3
200型	440x250	661 ～ 794	5
250型	550x310	827 ～ 994	6
275型	610x340	910 ～ 1093	6

EB-S12の投写距離表



- ① 投写距離
- ② レンズ中心からスクリーン下端
(天吊りの場合はスクリーン上端)までの高さ
- ③ レンズ中心

単位：cm

4:3スクリーンサイズ		① 最短(ワイド)～最長(テレ)	② (ワイド)
30型	61x46	88 ~ 119	-5
50型	100x76	147 ~ 200	-8
60型	120x91	177 ~ 240	-10

4:3スクリーンサイズ		① 最短(ワイド)～最長(テレ)	② (ワイド)
70型	142x107	207 ~ 280	-12
80型	160x120	237 ~ 321	-13
100型	200x150	297 ~ 401	-17
150型	300x230	446 ~ 603	-25
200型	410x300	595 ~ 805	-33

単位：cm

16:9スクリーンサイズ		① 最短(ワイド)～最長(テレ)	② (ワイド)
30型	66x37	96 ~ 130	1
50型	110x62	161 ~ 218	1
60型	130x75	193 ~ 262	2
70型	155x87	226 ~ 306	2
80型	180x100	258 ~ 349	2
100型	220x120	323 ~ 437	3
150型	330x190	486 ~ 657	4
200型	440x250	649 ~ 877	5

対応解像度

コンピューター映像(アナログRGB)

EB-X14/EB-W12/EB-X12の場合

信号	リフレッシュレート(Hz)	解像度(ドット)
VGA	60/72/75/85	640x480
SVGA	56/60/72/75/85	800x600
XGA	60/70/75/85	1024x768
WXGA	60	1280x768
	60	1360x768
	60/75/85	1280x800
WXGA+	60/75/85	1440x900
SXGA	70/75/85	1152x864
	60/75/85	1280x1024
	60/75/85	1280x960
SXGA+	60/75	1400x1050
WSXGA+※1,2	60	1680x1050
UXGA	60	1600x1200
MAC13"	67	640x480
MAC16"	75	832x624
MAC19"	75	1024x768
	59	1024x768

信号	リフレッシュレート(Hz)	解像度(ドット)
MAC21"	75	1152x870

※1 EB-W12のみ。

※2 環境設定メニューの[入力解像度]で[ワイド]を選択しているときに限り対応します。

EB-S12の場合

信号	リフレッシュレート(Hz)	解像度(ドット)
VGA	60/72/75/85	640x480
SVGA	56/60/72/75/85	800x600
XGA	60/70/75/85	1024x768
WXGA	60	1280x768
	60	1360x768
	60/75	1280x800
WXGA+	60	1440x900
SXGA	70/75	1152x864
	60	1280x1024
	60	1280x960
SXGA+	60	1400x1050
MAC13"	67	640x480
MAC16"	75	832x624
MAC19"	75	1024x768
	59	1024x768
MAC21"	75	1152x870

上記以外の信号が入力された場合でも、映像を投写できることがあります。ただし、この場合、機能が制限されることがあります。

コンポーネントビデオ

信号	リフレッシュレート(Hz)	解像度(ドット)
SDTV(480i)	60	720x480
SDTV(576i)	50	720x576
SDTV(480p)	60	720x480
SDTV(576p)	50	720x576
HDTV(720p)	50/60	1280x720
HDTV(1080i)	50/60	1920x1080

信号	リフレッシュレート(Hz)	解像度(ドット)
SDTV(576i/576p)	50	720x576
HDTV(720p)	50/60	1280x720
HDTV(1080i)	50/60	1920x1080
HDTV(1080p)	24/30/50/60	1920x1080

コンボジットビデオ

信号	リフレッシュレート(Hz)	解像度(ドット)
TV(NTSC)	60	720x480
TV(SECAM)	50	720x576
TV(PAL)	50/60	720x576

HDMI入力端子からの入力信号(EB-X14/EB-W12/EB-X12のみ)

信号	リフレッシュレート(Hz)	解像度(ドット)
VGA	60	640x480
SVGA	60	800x600
XGA	60	1024x768
WXGA	60	1280x800
SXGA	60	1280x960
	60	1280x1024
SXGA+	60	1400x1050
UXGA	60	1600x1200
SDTV(480i/480p)	60	720x480

本機仕様

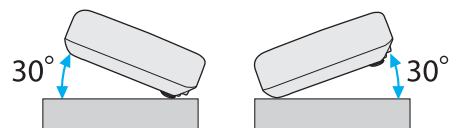
商品名		EB-X14	EB-W12	EB-X12	EB-S12
外形サイズ		幅295x高さ79x奥行き228mm			
液晶パネルサイズ		0.55型	0.59型ワイド	0.55型	0.55型
表示方式		ポリシリコンTFT アクティブマトリクス			
画素数		786,432個 XGA(横1024x縦768ドット)x3	1024,000個 WXGA(横1280x縦800ドット)x3	786,432個 XGA(横1024x縦768ドット)x3	480,000個 SVGA(横800x縦600ドット)x3
フォーカス調整		手動			
ズーム調整		手動(1-1.2)	手動(1-1.2)	手動(1-1.2)	デジタル(1-1.35)
ランプ		UHEランプ 定格200W 型番：ELPLP67			
音声最大出力		2W			
スピーカー		1個			
電源		100-240V AC±10% ,50/60Hz 2.9-1.3A			
消費電力	100-120Vエリア	定格消費電力：283W 待機時消費電力(通信オン)：2.9W 待機時消費電力(通信オフ)：0.36W			
	220-240Vエリア	定格消費電力：270W 待機時消費電力(通信オン)：3.3W 待機時消費電力(通信オフ)：0.47W			
動作高度		標高 0～2286m			
動作温度範囲		5～+35℃(結露しないこと)			
保存温度範囲		-10～+60℃(結露しないこと)			
質量		約2.3kg			

接続端子	コンピューター入力端子	1系統	ミニD-Sub 15pin(メス)
	ビデオ入力端子	1系統	RCAピンジャック
	S-ビデオ入力端子	1系統	ミニDIN 4pin
	音声入力端子	1系統	RCAピンジャック×2
	HDMI入力端子※1	1系統	HDMI(音声はPCMにのみ対応)
	USB(TypeA)端子※2	1系統	USBコネクタ(Aタイプ)
	USB(TypeB)端子※2	1系統	USBコネクタ(Bタイプ)

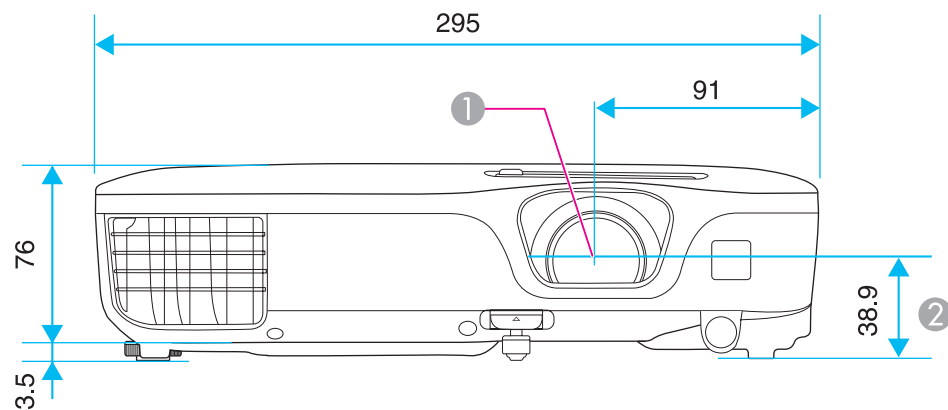
※1 (EB-X14/EB-W12/EB-X12のみ)

※2 USB2.0に対応しています。ただし、USB対応機器すべての動作を保証するものではありません。

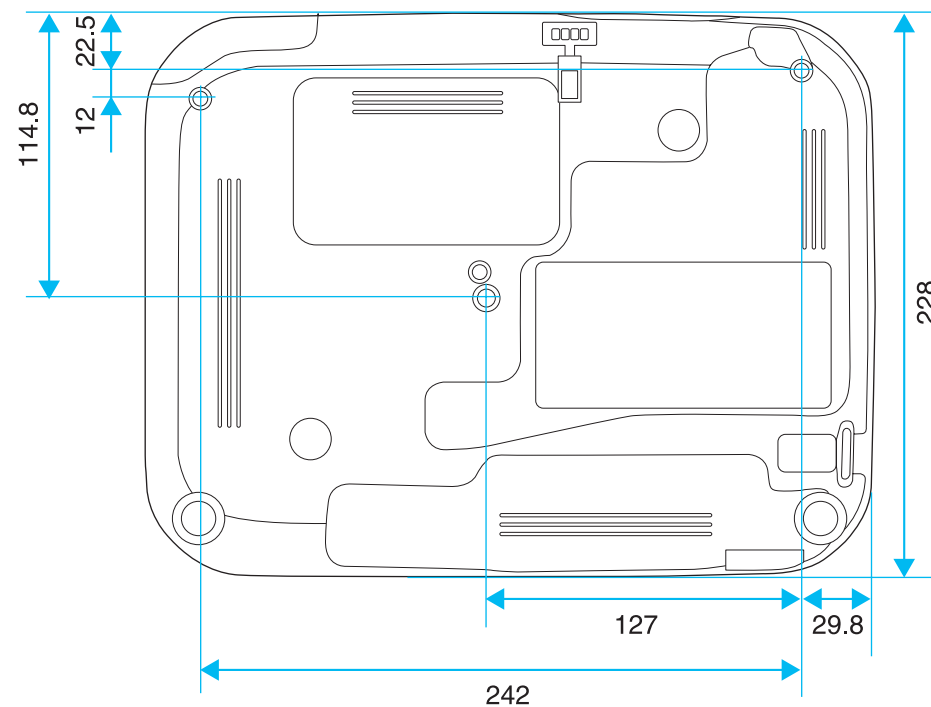
傾斜角度



30°以上傾けてお使いになると、故障や事故の原因となります。



- ① レンズ中心
- ② レンズ中心から天吊り固定部までの寸法



単位：mm

本書で使用している用語で、本文中に説明がないものや難しいものを簡単に説明します。詳細は市販の書籍などでご確認ください。

HDCP	High-bandwidth Digital Content Protectionの略でDVIやHDMI端子を経由して送受信するデジタル信号を暗号化し、不正なコピーを防止する著作権保護技術です。本機のHDMI入力端子はHDCPに対応しているためHDCP技術で保護されたデジタル映像を投写できます。ただし、HDCPの規格変更等が行われたときは、変更後の規格で保護されたデジタル映像を投写できなくなる場合があります。
HDTV	High-Definition Televisionの略で、次の条件を満たす高精細なシステムに適用されます。 • 垂直解像度720p、1080i以上(pはプログレッシブ走査、iはインターレース走査) • 画面のアスペクト比は16:9
S-ビデオ	映像信号を輝度信号(Y)や色信号(C)に分離して伝送する方式です。
SDTV	Standard Definition Televisionの略で、 HDTV の条件を満たさない標準テレビ放送のことです。
sRGB	各画像装置が表現する色をコンピューターのオペレーティングシステム(OS)やインターネットで簡単に扱うために規定された色空間に関する国際標準です。接続している機器にsRGBモードがある場合、本機と接続機器の両方ともsRGBに設定します。
SVGA	画面サイズの規格で横800ドットx縦600ドットのことを呼びます。
SXGA	画面サイズの規格で横1,280ドットx縦1,024ドットのことを呼びます。
VGA	画面サイズの規格で横640ドットx縦480ドットのことを呼びます。
XGA	画面サイズの規格で横1,024ドットx縦768ドットのことを呼びます。
アスペクト比	画面の横と縦の比率をいいます。横：縦の比率が16：9の、HDTVなどの画面をワイド画面といいます。SDTVや、一般的なコンピューターのディスプレイのアスペクト比は4：3です。
インターレース	1つの画面を作り出す情報を上から下へ1つ飛ばしに伝送します。1フレームの表示が1ラインおきとなるため、ちらつき(フリッカー)が出やすくなります。
コントラスト	色の明暗の差を強くしたり弱くしたりすることにより、文字や絵がハッキリ見えたり、ソフトに見えたりすることです。この調整をコントラストの調整といいます。
コンポーネントビデオ	映像信号を、輝度信号(Y)や青色差信号(CbまたはPb)と赤色差信号(CrまたはPr)に分離して伝送する方式です。
コンポジットビデオ	映像信号の輝度信号や色信号を、1本のケーブルで伝送する方式です。
同期	コンピューターから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。その周波数にプロジェクターの周波数を合わせないときれいな映像になりません。信号の位相(山のずれ)を合わせることを同期を合わせるといいます。同期が合っていないと映像にちらつき、ぼやけ、横方向のノイズが出ます。
トラッキング	コンピューターから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。その周波数に本機の周波数を合わせないときれいな映像になりません。信号の周波数(山の数)を合わせることをトラッキングを合わせるといいます。トラッキングが合っていないと映像に幅広の縦の縞模様が出ます。
プログレッシブ	1つの画面を作り出す情報を一度で映し出して1フレーム分の映像を表示します。そのため走査線の本数が同じでもインターレースと比べて時間あたりの情報量が2倍になるためちらつきが少ない映像になります。

リフレッシュレート

ディスプレイの発光体は、その明るさと色をごく短時間保持します。そのため発光体をリフレッシュするために1秒間に何度も画像を走査しなければなりません。その速度をリフレッシュレートと呼び、ヘルツ(Hz)で表します。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
- (4) 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5) 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者(「お問い合わせ先」参照)以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6) エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品、交換部品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (7) 本書中のイラストや画面図は実際と異なる場合があります。

使用限定について

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認のうえ、ご判断ください。

本機を日本国外へ持ち出す場合の注意

電源ケーブルは販売国の電源仕様にに基づき同梱されています。本機を販売国以外でお使いになるときは、事前に使用する国の電源電圧や、コンセントの形状を確認し、その国の規格に適合した電源ケーブルを現地にてお求めください。

瞬低(瞬時電圧低下)基準について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。

JIS C 61000-3-2適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

表記について

Microsoft® Windows® 98 operating system
Microsoft® Windows® Me operating system
Microsoft® Windows® 2000 operating system
Microsoft® Windows® XP operating system
Microsoft® Windows Vista® operating system
Microsoft® Windows® 7 operating system

本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、「Windows 98」、「Windows Me」、「Windows 2000」、「Windows XP」、「Windows Vista」、「Windows 7」と表記しています。また、Windows 98、Windows Me、Windows 2000、Windows XP、Windows Vista、Windows 7を総称する場合はWindows、複数のWindowsを併記する場合はWindows 98/Me/2000/XP/Vistaのように、Windowsの表記を省略することがあります。

Mac OS X 10.3.x
Mac OS X 10.4.x
Mac OS X 10.5.x
Mac OS X 10.6.x

本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、「Mac OS X 10.3.9」、「Mac OS X 10.4.x」、「Mac OS X 10.5.x」、「Mac OS X 10.6.x」と表記しています。またこれらを総称する場合は「Mac OS」と表記します。

商標について

IBM、DOS/V、XGAは、International Business Machines Corp.の商標または登録商標です。

Macintosh、Mac、Mac OS、iMacは、Apple Inc.の商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT、Windows Vista、PowerPoint、Windows □
ゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

HDMIとHigh-Definition Multimedia InterfaceはHDMI LicensingLLCの商標、または登録商標です。 

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

©SEIKO EPSON CORPORATION 2011. All rights reserved.

数字・アルファベット

A/Vミュート	51
ESC/VP21	62
Eズーム	53
HDMI入力端子	11
HDMIビデオレベル	68
Quick Corner	69
sRGB	40
S-ビデオ入力端子	11
USB Type B	71
USB(TypeA)端子	11
USB(TypeB)端子	11

ア

明るさ	67
明るさ切替	70
アスペクト	41, 69
色合い	67
色温度	67
色の濃さ	67
インジケーター	76
エアフィルター・吸気口の掃除	89
エアフィルターの交換時期	94
エアフィルターの交換方法	94
映像メニュー	68
オートアイリス	41, 67
オーバーヒート	77
オプション品	97
温度インジケーター	76
音量	70

カ

解像度	102
拡張設定メニュー	71
各部の名称と働き	10
画像を回転	47
画質調整メニュー	67
カラー調整	67
カラーモード	40, 67
環境設定メニュー	64
繰り返し	50
言語	71
高地モード	71
黒板	40
故障かなと思ったら	76
コントラスト	67
コンピューター入力端子	11

サ

シアター	40
自動タテ補正	69
自動調整	68
シャープネス	67
仕様一覧	104
情報メニュー	72
消耗品	97
書画カメラ	97
初期化メニュー	73
ズーム	69
ズームリング	10
スクリーンサイズ	98
スタートアップスクリーン	71
スポーツ	40
スライド式ヨコ補正	8, 34

スライドショー	46, 49
スリープモード	71
静止	51
設置モード	71
設定メニュー	69
全初期化	73
全ロック	60
操作パネル	13
操作ボタンロック	60, 69
掃除	89

タ

ターゲットスコープ	53
対応解像度	102
待機モード	71
台形補正	69
ダイナミック	40
ダイレクトパワーオン	71
テストパターン	70
電源端子	11
電源投入時	57
電池の交換方法	16
天吊り	18, 71
天吊り固定部	12
問い合わせコード	59
同期	68
同期情報	72
動作温度範囲	104
動作設定	71
投写距離	98
ドライブの選択	46
トラッキング	68

ナ

入力解像度	72
入力検出	13, 28
入力信号	72
入力信号方式	68
入力ソース	72
ノイズリダクション	68

ハ

排気口	10
背景表示	71
パスワードプロテクト	57
パスワードプロテクトシール	58
パワーインジケーター	76
ビデオ信号方式	69, 72
ビデオ入力端子	11
表示位置	68
表示時間設定	50
表示順序設定	50
表示設定	50, 71
フォーカスリング	10
フォト	40
フットレバー	10
プレゼンテーション	40, 45
プログレッシブ変換	68
フロント	18, 71
フロントフット	10
ヘルプ機能	75
ポインター	52
ポインター形状	70
保存温度範囲	104
ボリュームボタン	13
ホワイトボード	40

本機の掃除	89
-------------	----

マ

マウスポインター	54
メッセージ表示	71
メニュー	64

ヤ

ユーザーボタン	70
ユーザーロゴ	55
ユーザーロゴ保護	57
ヨコ補正スライダー	34

ラ

ランプインジケーター	76
ランプカバー	10
ランプ点灯時間	72
ランプ点灯時間の初期化	73, 93
ランプの交換時期	90
ランプの交換方法	91
リア	18, 71
リアスクリーン	18
リアフット	12
リフレッシュレート	72
リモコン	14
リモコン受光部	10, 11
レンズカバータイマー	71

ワ

ワイヤレスマウス機能	54
------------------	----